# 第4章　地域放送局

「地域放送番組編集計画」（⇒p539）

## Ⅰ．地域放送番組の編成

全国の放送局は，地域の豊かな自然，暮らし，人と人との温かなつながりを情報番組やドラマなどさまざまなジャンルの番組で描き，発信した。また，雇用，教育，医療，福祉，農業などの分野で，地域の優れた取り組みや課題をニュース・報道番組で深く掘り下げたほか，人口減少など全国共通の問題については、先進的な成功事例を広く紹介した。さらに，番組と連動させながらイベントを展開し，視聴者からより親しまれる身近な放送局としての存在感を高めた。

### １．地域の実情に応じた放送サービスの充実

17年度も各放送局は，それぞれ地域の実情に応じた放送に取り組んだ。

夕方のニュース・情報番組では『Newsかいドキ』（山梨県域），『やままる』（山形県域）を新設した。

金曜夜間では，地域の課題と向き合い，解決の糸口を探る番組など，多様な番組を放送した。地域別に挙げると，『北海道スペシャル』「“鉄路縮小”の衝撃～私たちは何を選ぶのか～」（北海道地方），『どんとこい！人口減少～仕事がないってホント？～』（東北地方），『金曜イチから』「どうなる都政！？　都議選始まる」（関東甲信越地方），『ナビゲーションスペシャル』「身近に危機が！“異常豪雨”」（中部地方），『かんさい熱視線』「“障害者大量解雇”社会参加をどう進めるか」（近畿地方），『ふるさとの逆襲』「過疎が終わる！？田舎に人が逆流」（中国地方），『Discover四国』「“リノベーション”でまちが変わる」（四国地方），『なるほど実感報道ドドド！』「被災地　それぞれの“葛藤”～九州北部豪雨から３か月～」（九州・沖縄地方）などである。また，地域の関心の高いスポーツ中継を随時，放送した。

ラジオにおいては，第１放送で，災害時の機能強化等を目的に『しず☆ラジ！』（静岡県域），『あわ☆メロR』（徳島県域），『まんで香川きっきょん！？』（香川県域）を新設した。

### ２．地域発全国放送番組の充実

地域を舞台に地域放送局が制作した地域発ドラマとしては，『ガタの国から』（佐賀局），『GO！GO！フィルムタウン』（北九州局），『あったまるユートピア』（神戸局），『越谷サイコー』（さいたま局），『真夜中のスーパーカー』（名古屋局）をBSプレミアムで放送した。

地域からの全国発信枠として，総合テレビでは，『ひるブラ』『うまいッ！』『ドキュメント72時間』などを継続して放送したほか，新番組『ぐるっとにっぽん』では，地域の課題に向き合う番組，地域で暮らす人々の営みや魅力に迫る番組など，地域放送局が制作した番組を全国に発信した。

## Ⅱ．地域放送局の組織

### １．地域拠点局

本部を除く53の放送局のうち，大阪，名古屋，広島，福岡，仙台，札幌，松山の７つの放送局を地域拠点局と位置づけ，域内各放送局の支援・調整機能を持たせている。

地域拠点局の組織・業務体制は，放送部（大阪と名古屋は編成部，制作部，報道部），技術部，広報・事業部（大阪は広報部，事業部），営業推進部，企画総務部である。なお，これに加えて，大阪には考査部が，また，大阪には３か所，名古屋には２か所，札幌には４か所の営業センターがある。

地域拠点局は，各組織が連携しながら全局を挙げて視聴者本位の地域サービス充実のための業務運営を推進している。

### ２．放送局

放送局の組織・業務体制は，企画編成部，放送部，技術部，営業部の各部が連携しながら全局を挙げて視聴者本位の地域サービス充実のための業務運営を推進している。

# 北　海　道

## Ⅰ．放　送

### １．放送の概要

北海道では７つの放送局が連携しながら広大な地域を取材し，一体となって地域放送サービスを行っている。

JR北海道が路線見直しを発表して半年後の６月，『北海道スペシャル』「“鉄路縮小”の衝撃～私たちは何を選ぶのか～」を放送。JR北海道社長，北海道知事，沿線自治体首長らが出演し，対象路線の最新の動き，欧州の事例，世論調査結果やTwitterやメールによる視聴者からの意見を活用し，生放送で討論した。

７月の寒冷前線の影響による大雨や９月の台風18号，３月の暴風雪，大雪など自然災害に際し，特設ニュースや逆L字画面による情報提供で防災・減災につながる報道を行った。

８，９月，北朝鮮の弾道ミサイルが北海道上空を通過した際は，自治体の対応や交通機関の影響，漁業者の不安など道内各地の様子を，全国向け，道内向けの特設ニュースで伝えるとともに，『北海道クローズアップ』「北朝鮮ミサイル“新たな脅威”に私たちは」（9.22）でも詳しく伝えた。松前町沖に北朝鮮の木造船が漂着し乗組員が窃盗で逮捕された際は，『北海道クローズアップ』「緊急報告　北朝鮮木造船～日本の海で何が～」（12.15）で即応し漂着が相次ぐ背景を伝えた。

10月の衆議院選挙に際し，政党の枠組みが流動化する中，各候補者の公約をニュース企画やウェブで詳しく伝えたほか，『北海道クローズアップ』では「激戦！衆院選2017」として放送した。開票速報では選挙結果や今後の焦点を解説。独立データ放送では初めて「北海道小選挙区の各候補の主張」を放送した。

２月，11人が死亡した札幌市の共同住宅火災では，発生直後から情報を随時伝えたほか，共同住宅に身を寄せるしかない高齢者や低所得者が多数いる現状を『北海道クローズアップ』「誰もが安全に暮らすために～札幌　共同住宅火災から１か月～」でも伝えた。

NHKワールドTVの番組『Wild Hokkaido!』で北海道の大自然の魅力を世界に発信したほか，日本語字幕版も制作し北海道向けにも放送した。

北海道の魅力を地域に暮らす人々とともに再発見し地域を盛り上げていく地元応援キャンペーン“I LOVE JIMOTO　北海道”を引き続き行い，“地元で頑張る”を応援する「ひと、まち、ファイト！」のスポットを放送した。

BS1で放送されたワールドカップのピョンチャンオリンピック女子代表決定戦は，道内の高い関心に応えるため，代表が決まる試合を北海道ブロック向けに地上波でも放送した。

### ２．地域放送番組

#### （１）定時番組

**『NHKニュース　おはよう北海道』　G**

月～金　7:45～ 8:00

**『NHKニュース　おはよう北海道　土曜プラス』　G**　土　7:30～ 8:00

第１回93.4.5／北海道ブロック／北海道の最新ニュースと詳しい気象情報を丁寧にまとめた地域密着のニュース情報番組。北海道の今を映し出すリポート・中継や暮らしに役立つ生活情報，知って得する天気企画など情報満載に伝えた。地域で活躍する魅力的な人物や，道内で活躍するスポーツ選手を取り上げ，地域を盛り上げる話題を伝えた。土曜は30分の『土曜プラス』としてタイムリーなテーマを深く掘り下げる特集や，リポーターが道内各地の魅力を訪ね歩く「ぶらりみてある記」などの人気コーナーで，地域の話題を多彩に伝えた。

**『つながる@きたカフェ』　G**

月～金　11:30～11:50

第１回10.4.2／北海道ブロック／道内各地の情報や季節の話題を紹介する生放送番組。“I LOVE JIMOTO 北海道”のコーナーでは道内各地の放送局から地元の魅力を紹介した。お金の悩みに応える“あんしん家計術”や子育て中の主婦に向けたトピック“いく育サロン”など生活に役立つ情報を伝えた。金曜は，全道向けに週末のお出かけ情報を伝えた。

**『ほっとニュース北海道』　G**

月～金　18:10～18:59

第１回14.3.31／北海道ブロック／北海道内７局のネットワークを生かして，道内隅々から集めたニュースを伝えた。旬の現場からの中継や各局リポーターが伝える地域ならではの話題，減災・防災に役立つ気象情報を放送。スポーツコーナーでは，「北海道日本ハムファイターズ」「北海道コンサドーレ札幌」などプロスポーツだけでなく，将来有望なアスリートたちにもスポットを当て伝えた。

**『ほっとニュース845』　G**

月～金　20:45～21:00

第１回14.3.31／北海道ブロック／北海道の１日のニュースを伝えるニュース番組。午後７時以降の新たなニュースや，きめ細かい気象情報を分かりやすく伝えた。

**『ニュース北海道645』　G**

土・日　18:45～18:59

第１回13.4.6／北海道ブロック／土・日曜の北海道のニュースを伝えるニュース番組。ニュース，気象情報を伝えた。

**『北海道クローズアップ』　G**

金　19:30～19:55

㊫日　8:00～ 8:25

第１回93.4.1／北海道ブロック／北海道の“いま”を見つめ，“これから”を問う番組。道内７局のネットワークを生かし，北海道の課題と向き合い課題解決のヒントを探った。／主な内容:「仕事を続けたい　～働く世代と　がん～」「命を絶つ若者たち　“見えない孤立”からどう救うか」「ニセコ　地価上昇の裏で」「子どもたちを守りたい～医療的ケア　支援の現場から～」「イカが消えた！？～水産王国･北海道に迫る危機～」「動き出した　アイヌ遺骨問題」「釧路湿原　驚異の防災力」「執念～三船遭難事件から72年～」「異常気象にどう備えるか～連続台風から１年～」「樺太　悲しみの大地　72年目の遺骨収集」「若者大流出～空前の“売り手市場”の陰で～」など

**『北海道スペシャル』　G**

金　20:00～20:43

㊫土　10:05～10:48

第１回14.4.4／北海道ブロック／北海道が直面する課題に向き合う大型番組や，豊かな自然，スポーツ番組など，視聴者の関心の高いテーマを放送した。

「“鉄路縮小”の衝撃～私たちは何を選ぶのか～」　6. 2／19:30～20:43

「大谷翔平の決断～“二刀流”　夢への挑戦～」　10.20

「知られざるシャチの楽園～知床羅臼～」11. 3

「拓銀破綻から20年～あれから、私たちは～」　11.17

**『北海道中ひざくりげ』　G**

金　19:30～19:55

第１回87.4.9／北海道ブロック／アナウンサーが北海道各地の旅を通して人々と出会い，その土地の風土や自然を伝えた。放送開始30年。

「春待ち望む　桜の里～松前町～」　4.28

「カメラで残す　わが故郷～東川町～」　6.23

「芽吹きを守る実りの大地～芽室町～」　9.15

「故郷つなぐ　SLのまち～安平町～」　10.13

「木のぬくもり　いつまでも～北見市　留辺蘂（るべしべ）町～」　12.15／20:00～20:25

「“鉄路”のあとに宝あり～旧標津線沿線～」　1.26

**『I LOVE JIMOTO　なるほど物語』　G**

金　19:57～20:00ほか

第１回16.4.22／北海道ブロック／北海道民ならよく知っているはずの名所や名物の意外な事実，裏話を発掘して紹介するミニ番組。

**『いくぞ～！北の出会い旅』　G**

金　19:30～20:43

第１回10.4.23／北海道ブロック／歌手の吉幾三さんがゲストとともに北海道の美しい風景，豊かな食，人情に出会うぶっつけ本番の紀行番組。

「春到来！活気づくオロロンラインを行く」　6.30

「大人気の観光エリア“とんがりロード”を行く！」　10. 6

「頑張ろう北海道！　吉幾三が再び被災地を訪ねる」　11.24

**『北海道LOVEテレビ』　G**

土　10:05～10:55ほか

第１回16.4.10／北海道ブロック／知られざる北海道の穴場をツイッターなど，視聴者からの情報を頼りに旅をする『穴場ハンター』や地域の魅力を掘り下げる特集番組，北海道に関するアーカイブス番組を放送した。

**『穴場ハンター』　G**　土　10:40～11:00ほか

第１回11.5.13／北海道ブロック／17年度は小樽市，松前町，長沼町，東川町，恵庭市，芽室町，安平町，北見市留辺蘂町から放送した。

**『おはよう　もぎたてラジオ便』　R1**

月～土　7:40～ 8:00

第１回02.4.1／北海道ブロック／ニュース，気象情報，空の便情報など，北海道の朝を伝えるラジオ番組。各地の道の駅便りや自然情報など，暮らしに役立つ道内各地の話題を紹介した。

**『トゥデイ・リポート北海道』　R1**

月～金　19:30～19:40

第１回95.4.3／北海道ブロック／道内のニュースを分かりやすく，気象情報をきめ細かく伝えた。

**『北海道まるごとラジオ』　R1**

木　17:00～18:00

第１回13.4.4／北海道ブロック／北海道ゆかりのレギュラーゲストの専門分野を生かした情報コ

ーナーや，安全安心につなげる防災関連情報を伝えた。また「祝！J1残留コンサドーレスペシャル」「ピョンチャンオリンピック・パラリンピック特集」「ファイターズ　スペシャル！」などスポーツ特集も放送した。

**（２）特集番組**

〔北海道ブロック〕

『北の大地コンサート2017』　G
札幌局　7.28／19:30～20:43

『軽音甲子園～音楽が僕らを変えた～』　G
札幌局　6.17／10:05～10:48

『北海道中ひざくりげ30周年スペシャル』「南こうせつが奏でる天売島　希望の歌いつまでも」　G
札幌局　7.15／10:05～10:48

『やってみようよ！女子キャン』　G
札幌局　9.23／10:05～10:48

『ぶらりみてある記スペシャル～北海道ってすばらしい！～』　G
札幌局　12.16／10:05～10:48

『北の文芸館』　G
札幌局　1. 6／10:05～11:00

『札響×NHK「10代とつくるコンサート」』　G
札幌局　1.27／10:05～11:10

『水がうるおす命の楽園～門脇麦がゆく釧路湿原～』　G
釧路局　3. 3／10:05～10:48

『アイデア対決　全国高等専門学校　ロボットコンテスト2017』　G
札幌局　11.23／10:05～10:59

『～北海道新幹線・開業１周年～青函対抗歌合戦！』　R1（北海道ブロック・青森単）
札幌局　4. 8／12:15～12:55

『北海道に耳をすませ！輝け、未来のイケボスター！』　FM
札幌局　4.29／22:00～23:00

『輝け！軽音甲子園』　FM
札幌局　6.25／14:00～15:50

『札響FMコンサート』　FM
「第600回定期演奏会」
札幌局　7. 2／14:00～16:00
「第604回定期演奏会」
札幌局　11.26／14:00～15:50

『きらり！軽音ライブショー～2017新人大会～』　FM
札幌局　11.19／16:00～17:00

『PMF2017オーケストラ演奏会』　FM
札幌局　12.17／14:00～15:50

『北の文芸館』　FM
札幌局　1.14／14:00～15:50

〔各局単〕

〔函館単〕

『NHKのど自慢　予選会　in　知内町』　G
8.26／16:50～18:00

〔旭川単〕

『NHKのど自慢予選会in上富良野町』　G
12.10／13:50～15:00

〔帯広単〕

『とかち防災ラジオ』　FM
8.18／12:30～12:55

『ピョンチャンオリンピック応援放送～夢を追え！十勝から～』　FM
2.19／18:00～18:50

〔釧路単〕

『生誕90年「朗読　原田康子の世界」』　R1
2. 3／ 9:05～ 9:55

『タンチョウらじお～好きな道東・未来の道東～』　FM
3. 3／16:00～18:50

〔室蘭単〕

『NHKのど自慢予選会　in　伊達市』　G
4.30／13:35～14:55

『朗読ひろば　北海道の物語』　FM
3.31／11:00～11:55

〔各局共通〕

『第84回NHK全国学校音楽コンクール』
「北海道ブロックコンクール」　E
札幌局　9.23／14:00～17:00
「札幌、小樽・後志、空知地区大会　高等学校の部」　FM
札幌局　8.26／ 9:00～11:50
「札幌、小樽・後志、空知地区大会　中学校の部」　FM
札幌局　8.27／ 7:20～11:50
「札幌、小樽・後志、空知地区大会　小学校の部」　FM
札幌局　8.27／14:00～15:50
「道南地区大会」　FM
函館局　8.26／ 9:00～11:00
「道北地区大会」　FM
旭川局　8.27／14:00～17:00
「十勝地区大会」　FM
帯広局　8.27／16:00～17:00
「釧根地区大会」　FM
釧路局　8.27／14:00～15:50

「北見地区大会」　FM
北見局　8.27／14:00～15:50
「室蘭地区大会」　FM
室蘭局　8.27／14:00～15:50

### ３．スポーツ中継

〔北海道ブロック〕
〔高校野球〕
第99回全国高校野球選手権大会　北北海道大会
準決勝　G・E・R1　7.21
決勝　G・R1　7.22
第99回全国高校野球選手権大会　南北海道大会
準決勝　G・E・R1・FM　7.22
決勝　G・E・R1　7.23
第70回秋季北海道高校野球大会
準決勝　R1・FM　10. 8
決勝　G・E・R1　10. 9
〔プロ野球〕
「楽天」対「日本ハム」　G　4.14
「日本ハム」対「広島」　G　6. 8
「日本ハム」対「巨人」　G　6. 9
「中日」対「日本ハム」　G　6.15
「ソフトバンク」対「日本ハム」　G　6.29
「日本ハム」対「楽天」　G　9.29
「日本ハム」対「ソフトバンク」　R1　4.13
「日本ハム」対「ソフトバンク」　R1　5.26
「日本ハム」対「ソフトバンク」　R1　8.31
〔Jリーグ〕
「北海道コンサドーレ札幌」
対「川崎フロンターレ」　G　4.16
「北海道コンサドーレ札幌」
対「清水エスパルス」　G　7. 1
「北海道コンサドーレ札幌」
対「アルビレックス新潟」　G　9.23
〔その他のスポーツ〕
Fリーグ「エスポラーダ北海道」対「バルドラール浦安」　E　10.15
Bリーグ「レバンガ北海道」対「名古屋ダイヤモンドドルフィンズ」　G　12. 9
第35回知事杯全道サッカー選手権大会（第98回天皇杯全日本サッカー選手権代表決定戦）ー決勝ー
G　8.27
カーリング　ピョンチャンオリンピック　女子日本代表決定戦　第３～４戦　G　9. 9～10
第32回NHK室蘭杯高校アイスホッケー大会ー決勝ー「駒大苫小牧」対「苫小牧東」　G　11.19
アジアリーグアイスホッケー「日本製紙クレインズ」対「王子イーグルス」　G　12.10
第70回北海道高校アイスホッケー選手権ー決勝ー
「清水」対「白樺学園」　G　12.22
ジャンプ女子ワールドカップ　第８戦　札幌大会
G　1.13
〔帯広単〕
第57回全十勝小中学校選抜スピードスケート選手権大会　小学校決勝　G　2.26
〔釧路単〕
第49回NHK杯アイスホッケー大会　決勝
小学校の部・中学校の部・高校の部　G　10.29
アジアリーグアイスホッケー「日本製紙クレインズ」対「東北フリーブレイズ」　R1　12.24
〔室蘭単〕
第32回NHK室蘭杯中学アイスホッケー大会ー決勝ー　G　11.19

## Ⅱ．技　術

### １．地域放送番組の充実

『さわやか自然百景』（12本）や『コズミック☆フロント　10min.』「北海道　陸別町　日本一寒い天文台」，『北海道LOVEテレビ』「水がうるおす命の楽園～門脇麦がゆく釧路湿原～」を４K･２K一体制作し，雄大な北海道の自然と神秘的な星空の魅力を高精細な映像で捉え魅力ある番組を発信した。

プロ野球「日本ハム」やJ1サッカー「北海道コンサドーレ札幌」，バスケットボールBリーグ「レバンガ北海道」や高校野球など北海道の視聴者に関心の高いスポーツ中継を数多く行った。特に「ピョンチャン五輪・パラリンピック」の前哨戦として注目が集まったカーリング女子代表決定戦（9.8～10）やNHK杯ジャンプ大会（11.5），FISジャンプワールドカップ女子（1.13）などのウインタースポーツ中継を始め，オリンピック・パラリンピック本大会にも北海道から12人の要員を現地に派遣し，道内出身のアスリートの活躍を中心に国内外に発信した。

台風･暴風雪による広域的な気象被害報道では，L字放送や特設ニュース，ライフライン放送やラジオ上乗せなどを行い，防災・減災に関する情報を提供した。特にL字放送画面に台風の進路図やレーダーアメダスなどの小画面を重ねて送出できる設備を整備し気象情報を分かりやすく伝えた。また，北海道で想定される広域災害・事件事故などに備え日頃から報道訓練を実施した。

第48回衆議院議員選挙の開票速報（10.22）で

は解散から投開票日まで短期間となる中で，札幌局第１スタジオから正確・迅速な選挙速報を実施し，視聴者の信頼に応えた。

### ２．事件・事故・災害報道への対応

緊急報道実施件数は43件。旭川市鉄工所炉爆発（４月），北斗市自衛隊機不明（５月），安平町震度５弱，大樹町民間宇宙ロケット打ち上げ（７月），十勝清水バス転落，釧路港北朝鮮ミサイル（８月），釧路港・襟裳岬北朝鮮ミサイル，台風18号，中標津町北方領土航空機墓参（９月），衆議院選挙（10月），国土交通省札幌航空交通管制部通信トラブル（11月），函館北朝鮮船員逮捕（12月），札幌高齢者施設火災11人死亡（１月），ピョンチャン五輪関連（２月），暴風雪関連（３月）など緊急報道の中継･伝送対応を数多く実施した。

### ３．データ放送コンテンツの開発

視聴者がリモコンボタンを押して参加する番組として，川柳の人気投票を行う『つながる@きたカフェ』「川柳さろん」（10回）や，プロ野球中継での「応援合戦」（4.14，6.8，15），「クイズ合戦」（9.29），投票数に応じて番組の進行が変わる『知っとく北海道』（3.3）に取り組んだ。

視聴者が投稿するツイッターやメールを紹介する番組として，テレビでは時事問題をテーマにした『北海道スペシャル／北海道クローズアップ』（５回），ラジオでは『北海道まるごとラジオ』（３回）で取り組んだ。

また，全国標準仕様の「道路交通情報」（6.5～）に独自コンテンツ「一般道通行止め情報」（8.7～），「主要峠の状況」（12.2～5.24）を追加したほか，北海道の価値や魅力を発信する「北海道ヒストリー　北の縄文」（～9.29），「北海道150年」（3.22～）等の独立データ放送を行った。

### ４．放送設備の整備

放送の安定送出・電波確保では，02年に整備したテレビ回線網の老朽化設備更新を実施し５月に運用を開始（5.21）したほか，ニュース台本システムの更新（12.4）やデータ放送の基幹ネットワークの機器更新（８月），16年度に札幌発番組の配信サービスを開始した「らじる★らじる」の設備更新を実施（9.3）した。

また，20年運用開始を目指した札幌新放送会館の建築工事を８月から開始した。

防災報道の充実として，北朝鮮ミサイルに備えて自衛隊地対空誘導弾を監視するIPカメラを函館市内に整備した。また，全国ニュースに札幌局からスタジオ参加するための光伝送回線を更新した。新回線では，東京直下地震を想定した札幌局から本部放送センターと大阪局への同時伝送機能や４Kファイルの伝送機能も追加された。

放送機能の維持として，２年間におよそ200回の夜間工事を伴った江別第１ラジオ放送所の支線更新工事では，江別第２ラジオ放送所設備を活用し，放送を休止することなく無事故で完遂した。また，釧路FM放送所の移転のほか，網走テレビ放送所と測量山FM放送所の送信アンテナや網走ラジオ放送所のR2放送機の更新整備を実施した。老朽化したNHK共同受信施設９施設を光化更新した。

### ５．視聴者とのふれあい活動

２月のピョンチャン五輪期間でスーパーハイビジョンの受信公開を道内７局で実施した。

伊達市（4.9），知内町（7.30），上富良野町（11.12）の『のど自慢』予選会において，出場者が自分の歌唱映像を20分後に見ることができる「時差再生上映」や「出場者写真プレゼント」「カメラマン体験」などを実施した。

『穴場ハンター』では，小樽市（4.8），松前町（5.6），長沼町（6.3），東川町（7.1），恵庭市（8.5），芽室町（10.7），安平町（11.4），北見市（1.13）から公開生放送を実施し多くの視聴者とふれあい，地域を応援する番組を発信した。

## Ⅲ．視聴者

### １．広　報

#### （１）広報活動＜経営広報・番組広報など＞

北海道の７局が一体となった地域応援活動「I LOVE JIMOTO　北海道」キャンペーンを17年度も継続。放送やイベント，営業など各部署と密に連携してさまざまな広報活動を実施し，視聴者サービスの充実や一層の地域貢献に取り組んだ。

17年度から，高輝度60インチの可搬型デジタルサイネージを６台導入。新たな広報ツールとして全道での運用を開始した。公開イベントの会場等でタイムリーに展開するだけでなく，大型商業施設や道の駅など集客力の高い場所に常設し，番組やイベントPR，防災キャンペーン等の独自コンテンツを上映した。また，各地の大学や自動車学校で受信料家族割引のスポットを上映するなど，営業と連携したフレッシャーズ対策にも活用し

た。

18年２月から３月に開催されたピョンチャンオリンピック・パラリンピックでは道内各地でパブリックビューイングを実施し，地元と一体となって北海道ゆかりの選手を応援した。札幌局では，札幌市と連携した関連イベントやパブリックビューイング等を札幌駅地下街などで期間中毎日，多面的に展開。３会場（２K･８K）で約５万人が来場した。

また，外国からの観光客が多い北海道ならではの国際発信のPRにも努めた。新たに国際放送で始まった札幌局制作の自然・観光情報番組『Wild Hokkaido!』を，道内の宿泊施設に集中的に周知したほか，北海道庁が主催する東南アジアでの北海道PRイベントに連動して周知するなど，国内外で積極的に広報展開した。

加えて，『Wild Hokkaido!』デザインの特製封筒や印刷物を作成し，道内向けのBS勧奨DMとしてPR展開したほか，郵便局にある受信契約住所変更と転出届が一緒に行えるハガキによる届け出を促す文言を載せた番宣ポスターを作成して道内の主要な郵便局28か所へ通年で掲出し，更なる営業支援に努めた。

新たな動きとして，北海道命名150年目に当たる18年に向けて北海道庁（北海道150年事業室）が実施する「北海道150年事業」に，札幌局は「パートナー」として登録。道内各局と連携しつつ，番組やイベントを通して事業に参加・協力していくこととなった。

**（２）視聴者ふれあい活動**

「スーパーハイビジョン（４K･８K）」試験放送受信公開では一層の周知を図り，「大相撲」「NHK杯フィギュアスケート」の際は受信公開時間を延長するなど，臨場感あふれる映像で来場者の期待に応えた。また，ロビーに設置した大型４Kモニターでは札幌局や道内局で新たに制作した４Kコンテンツを追加するなどソフトの充実を図るとともに，利用者が見たいコンテンツを簡単に選択できるように，タブレット端末を活用したタッチパネル方式で自由に映像を選べるようにした。

また，毎年恒例の「カルチャーナイト」や「さっぽろ雪まつり」における会館公開も実施し，公共放送を身近に感じてもらう取り組みを続けた。

**（３）地域の特色ある視聴者活動・広報展開**

函館局では，４月の「函館月間」の広報として市電・市バスでのポスター掲出や観光客でにぎわう函館山ロープウェイ乗り場へのデジタルサイネージ設置などを行い，函館局の取り組みを紹介した。また，５～６月のフレッシャーズ展開では，青森局と連携し，それぞれの大学生が出演するスポットを青函相互で編成。青函地域を意識した広報展開を行った。３月に実施した「JOMONカックウFes」ではイベントと連動して，地域で縄文文化の盛り上げに取り組む若い世代を紹介するスポット放送やホームページ，サイネージなど幅広い広報展開を行い，世界遺産登録を目指す地域の取り組みに寄与した。

旭川局では，市内の大学の新入生を対象に，６回目となる「学生自主組織“はしっくす”」とのコラボレーション企画「旭川・道北の魅力プレゼンテーション（学生が選ぶ「ワタシの好きな旭川･道北」BEST20）」を実施した。また11月には，ブログをリニューアル，「旬あさひかわ」と題して，キャスター・アナウンサーだけでなく，各部の職員からも旬の情報を発信した。２月には，ピョンチャンオリンピック期間中，JR旭川駅構内で８Kパブリックビューイングを実施，9,208人が来場した。

帯広局では，３月に東営業センターと連動して管内の事業所や大学を対象にしたフレッシャーズ番組を制作し，放送とホームページで効果的に展開して新入生を迎える４月の営業対策に備えた。自然・歴史・文化など十勝の魅力に引き付けられて移住した人たちを紹介するミニ番組『十勝に魅せられて』を７月から制作して放送とホームページで展開し，視聴者に十勝の魅力を伝えるとともに，帯広局のステーションイメージの向上を図った。２月のピョンチャンオリンピックでは管内幕別町出身の髙木姉妹が出場するスピードスケートのパブリックビューイングを町内で実施したほか，帯広局で８Kパブリックビューイングを，帯広市役所で全開催期間のパブリックビューイングを実施した。併せて360°カメラで撮影したVR（バーチャルリアリティー）映像を独自制作し，選手目線で競技が体感できる最先端のVRサービスを多くの人に提供した。VR映像は札幌局と旭川局のイベントでも利用された。

釧路局では，フレッシャーズキャンペーン2017「盛り上がってるとこ，伝えます」と題して，大学・短大生から10秒程度のミニ動画の投稿を募り，３月から５月にかけて放送およびホームページで紹介したほか，大学内で行われた新入生歓迎イベントで時間をもらってNHKについて説明するなどして，若い世代への理解浸透を図った。また，18年２月に開局80周年を迎えたことを機に，

全局体制で記念番組やイベント等を実施し，「釧路・根室とともに」をアピールした。記念番組ではFM特番『タンチョウらじお』を３月３日に約３時間にわたって生放送し，「好きな道東・未来の道東」をテーマに投稿を募って，視聴者とともに地域の魅力を再確認した。また，１分ミニ番組『ヒット曲と映像でつづる釧路放送局開局80年』を20本ほど制作し，18年秋までの予定で放送している。

北見局では，ピョンチャンオリンピック女子カーリング競技のパブリックビューイングを実施し，銅メダルを獲得した地元出身「LS北見」の活躍を地域と一体になって応援した。パブリックビューイングは，北見市などと連携して北見局第１スタジオなどで実施し，９月の代表決定戦は300人，オリンピック期間中は745人が来場した。また，４Kミニ番組『オホーツク心の風景』を８本制作，流氷のドローン空撮や，美幌峠から見る星空をタイムラプス撮影するなど，多様な映像表現を用いてオホーツク地方の風景を４K収録した。このミニ番組は，放送のほか，スーパーハイビジョンのPR活動として公開番組やイベント会場でも上映した。

室蘭局では，四季折々の風景や魅力的な人たちを紹介する『I LOVE JIMOTO いぶりひだか』を放送するとともに，ホームページや東室蘭駅に設置しているデジタルサイネージでも紹介し，地元応援に努めた。また「がんを防ごう」キャンペーンを継続し，さまざまながんに対する情報を１分スポットやホームページで紹介し，向き合うきっかけを作った。10～11月の室蘭局集中月間では，胆振・日高を舞台にした番組を集め，各自治体や観光施設等へ幅広くPRを行った。ピョンチャンオリンピックの期間中は，苫小牧市で女子アイスホッケーの熱戦をパブリックビューイングで伝えた。

## ２．イベント事業

オランダのファン・ゴッホ美術館と日本初の共同企画として「ゴッホ展　巡りゆく日本の夢」を北海道立近代美術館で開催（８～10月）。日本を愛したゴッホ，そしてゴッホに憧れた日本人という相互関係を紹介する展示で，同館歴代３位となる約20万人の入場者数を記録した。関連イベントとしてEテレ『びじゅチューン！』と連動した子ども向け鑑賞ガイドの配布や，展示作品を題材とした塗り絵を楽しむ「レッツゴー！花魁ぬりえ」などを実施したほか，『ほっとニュース北海道』をはじめとした管中番組で30回にわたり紹介するなど，放送と連動した展開を行った。営業部とも連携のうえ，道内向けの口座振替およびBS勧奨用DMへの割引券封入（25万部）や，札幌市内周辺ホテルへの割引券設置を行うなど，集客に結び付ける展開を行った。

### （１）公共放送ならではの活動強化

『NHKのど自慢』『新・BS日本のうた』などの全国放送公開番組を道内で27本実施し約２万3,000人が来場した。

防災の取り組みとして，旭川局が各防災機関と連携し実施した「たいけん！！はっけん！！防サイキッズパーク！」（７月，旭川市）を実施。釧路局では，釧路市消防本部等と連携し「防災ワンデー釧路防災講演会2018」（１月，釧路市）を実施し，北海道大学の研究者が津波災害に関する防災・減災の最新事情について講演した。札幌局では北海道や札幌市などと連携し「ほっかいどう防災ひろばinチ・カ・ホ」（１月，札幌市）を実施した。また，火山をテーマとした「どーもくんとみんなの火山防サイ劇場」を継続し，自治体・気象台等と連携しながら，釧路局では弟子屈町，北見局では清里町（３月）で実施した。

福祉では，「NHK歳末・海外たすけあい」のほか，「第22回NHKハート展」を，さっぽろ地下街オーロラプラザで６月に開催し，１万2,000人が来場した。また「NHK介護百人一首2017パネル展」（９月，新冠町）を室蘭局で公開番組実施に併せて開催した。

スポーツでは，北海道ゆかりの選手が多数出場した「ピョンチャンオリンピック・パラリンピック」のパブリックビューイングを道内各地で実施。札幌局第１スタジオに８Kシアターを設置するなど，スーパーハイビジョンの臨場感あふれる映像でも競技を楽しんでもらい，約５万人が来場した。また「NHKジュニアスポーツ教室」を札幌，函館，釧路，北見の４局（７月，留寿都村／8月，奥尻町／6月，釧路町／12月，紋別市）で実施。奥尻町の卓球教室ではロンドン五輪銀メダリストの平野早矢香さんを講師に招くなど，東京2020に向けて地域のスポーツ文化の向上に寄与した。

### （２）地域視聴者との結び付きを強める活動

３年目となったダンスパフォーマンスイベント「We Love Dance オドッチャオ！」は，全ての投稿動画をホームページに掲載するなどデジタル展開を積極的に進めたほか，11月に札幌市でフェスティバルを開催。また，新たに地方自治体から

のご当地PR動画も募集し，「I LOVE JIMOTO 北海道」キャンペーンの柱として，若い世代を中心に幅広い層へのアプローチを図った。札幌交響楽団との共同企画「10代とつくるコンサート」（１月，札幌市）を継続し，NHK全国学校音楽コンクールの参加者との共演でステージを構成し，全道向けに放送した（G，1.27）。２月の「さっぽろ雪まつり」に併せ，「NHKゆきんこフェスタ」を実施。８Kスーパーハイビジョンシアターやスポーツコンテンツの体験コーナー，NHKアニメブース，キャラクターステージを展開した。

函館局では，北海道唯一の国宝である中空土偶の話題を中心に，縄文の新しい楽しみ方を考える「JOMONカックウFes」（３月，函館市）を開催し，ラジオ（R1，4.14，道南地域向け）で放送した。「はこだて国際科学祭2017」会場で「NHK体験サイエンス」（８月，函館市）を実施し，「アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2017北海道地区大会」（10月，函館市）のPRを行った。

旭川局では，ピョンチャンオリンピックの８Kパブリックビューイングに併せ，JR旭川駅で元フィギュアスケート選手によるフィギュアスケート男子シングルフリーの中継解説を実施した（２月，旭川市）。また『真打ち競演』（11月，南富良野町）を，16年の大雨災害の改修が完了した南富良野町保健福祉センターで実施した。

帯広局では，18年の北海道150年を見据え，北海道の名付け親と呼ばれる松浦武四郎やアイヌ文化を学ぶ「ラン×スタ北加伊道inとかち」（７月，音更町）を実施し，多くの親子が参加した。

釧路局では，開局80周年を迎え，NHKが保存していた映像を中心に，かつて道東に存在していた簡易軌道から開拓の歴史をたどり，地域の歩みを振り返る企画展「映像でよみがえる簡易軌道と道東開拓のあゆみ」（１～２月，釧路市）を開催。また，１月に釧路ゆかりの作家をテーマにした『生誕90年「朗読　原田康子の世界」』を釧路局スタジオで実施し，ラジオ（R1，2.3，釧路・根室地域向け）で放送した。10月に恒例の「会館公開・くしろDEどーも」を釧路市消防本部と連携して実施した。

北見局では，『今夜も生でさだまさし』（６月，網走市）の生放送を博物館網走監獄で実施。NHK交響楽団メンバーが小学校を訪れる「NHKこども音楽クラブ」(10月，大空町）を実施。また，地域の災害と向き合う「ストップ！暴風雪被害キャンペーン」を継続し，イベントと放送，ホームページと連動した啓蒙活動を行った。

室蘭局では，「がんを防ごうキャンペーン」の一環としてシンポジウム「がんと生きる～支えあう人々の思い～」（９月，室蘭市）を実施。また，北海道150年に合わせ「朗読ひろば　北海道の物語」（３月，室蘭市）を実施。ピアノ演奏を交え胆振・日高にゆかりの作品を朗読し，そのもようをラジオ（FM，3.31，胆振・日高地域向け）で放送した。

**（３）受信料制度の理解を深める活動強化**

『NHKのど自慢』の３会場（４月，伊達市／７月，知内町／11月，上富良野町）で「予選会記念写真サービス」「カメラマン体験」，予選会映像の時差再生などのCS活動を展開。また，受信料支払者限定イベント「ガラピコぷ～小劇場」を道内８会場・16公演行い，受信料公平負担に向けた理解促進活動を行った。11月には札幌市でCATVとの共催で「NHKカジュアルクラシックコンサート」を開催した。

## ３．営　業

15～17年度の３か年経営計画の最終年度として，支払率と衛星契約割合の向上を目指すうえで必要な訪問要員の確保に向けて，年間を通して募集・採用活動を展開した。

併せて大学生協・不動産会社・公益企業との連携を強化し，契約取り次ぎの拡大に努めた。更には面接困難者に対する対応を強化するため，訪問以外の契約取り次ぎ対策としてDM対策の拡充や，新たな手法の試行にも取り組んだ。

ピョンチャンオリンピックでは，衛星契約の増加に向けてブロック独自に番組・イベントと連動した大規模な契約勧奨DM対策を展開する等，全局体制による営業活動を展開し，受信料制度の理解促進と営業業績の確保に努めた。

# 東　　北

## Ⅰ．放　送

### １．放送の概要

東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故から７年となる17年度の東北地方の各放送局は，複雑化する震災の課題を丁寧にすくい上げ，解決策を探るとともに，震災の記憶の風化を防ぐ放送に力を注いだ。また，根強い風評被害等により他の地域と比べ遅れている観光振興に貢献するため，16年度から継続している「大好き♡東北」キャンペーンの取り組みにも力を入れた。知られざる東北の魅力を掘り起こす新感覚紀行番組『みちたん～ああ！すばらしきセカイ～』を特集番組として随時放送したほか，世界各国のアーティストが宮城県に集まり，食や芸術に関するイベントを展開した「リボーンアート・フェスティバル2017」と連携した特集番組を放送するなど，生まれ変わろうとする被災地の姿を全国に発信した。さらにインバウンド需要を掘り起こすため，４月には「NHKワールドTV」を通じて被災地の商店街が水産資源の販路を海外に拡大するたくましい姿を中継で世界に発信したほか，６月からは台湾の放送局と提携した情報発信を開始するなど，海外からの観光客誘致にも力を入れた。

各局の午後６時台のニュース・情報番組では，各地域が抱える課題を迅速かつ深く掘り下げて伝えたほか，８月には各県を代表する祭りのもようを連日生中継し，東北の華やかな夏の風景を伝えた。平日午前11時台の情報番組『ひるはぴ』は，18年２月からは仙台放送局新会館のオープンスタジオから視聴者が気軽に参加・見学のできる番組として放送した。

金曜夜間では，『クローズアップ東北』で被災地の課題や現状を断続的に伝えたほか，減反政策廃止など地域経済の基盤を揺るがしかねない話題も取り上げた。このほか，人口減少率が全国で最も高い東北ならではの特集番組として『どんとこい！人口減少』や，被災地を元気づける公開音楽番組『北国からのコンサート2017夏』『さよならガレキ　ようこそビキニ～あの日から７年目の七ヶ浜～』などに加え，「東北楽天ゴールデンイーグルス」の試合を随時中継するなど多彩なソフトを編成した。

震災直後から継続している『被災地からの声』は，これまでと視聴者層が異なる週末に移設し，被災地に暮らす人の思いを伝え続けた。震災関連の定時番組としては引き続きBSプレミアムの『きらり！えん旅』を総合テレビの東北ブロックで編成。『あの日　わたしは～証言記録　東日本大震災～』のブロックでの独自編成も継続した。

東日本大震災から７年となる３月11日には，仙台放送局新会館をキーステーションに『明日へつなげよう』をおよそ６時間にわたり生放送。福島県から岩手県までを鉄道で北上していく演出で“祈りの日”の被災地の姿を全国に伝えた。さらに仙台・盛岡・福島局では午後６時台の県域のニュース・情報番組のスペシャル版を放送。地域の放送局ならではの目線で，被災地の現状を県民に向け詳細に伝えた。さらに，震災が残した傷跡を長期の視点で見ていく『NHKスペシャル』を年間５本（「帰還した町で～原発事故７年の闘い～」「“河川津波”～震災７年　知られざる脅威」「被曝（ばく）の森2018　見えてきた“汚染循環”」「誰にも言えなかった～震災の心の傷　母と子の対話」「めざした“復興”はいま…」）制作した。

国民の安心・安全を守る報道として，９月の秋田県震度５強の地震や台風18号，10月の台風21号に加え，東北地方に全国瞬時警報システム（Jアラート）が送信された北朝鮮によるミサイル発射など，大きな被害が予想される場合には，東北ブロックや各県域のテレビ・ラジオでニュースを特設し，L字型画面やデータ放送，ホームページも活用しながらきめ細かい情報の発信を行った。

10月の第48回衆議院議員選挙では，争点や課題を多角的に取り上げ，開票速報では正確・迅速に当選確実を伝えた。

**〔仙台局〕**

東日本大震災から７年が経ち，復興道路や災害公営住宅などのインフラ整備が進む一方，生活環境の急激な変化による被災者の孤立や経済的自立の問題などが顕著になってきた。仙台局ではこれらの課題に向き合い，解決策を探るとともに，震災を風化させないための情報を発信し続けた。18年２月の新会館オープンでは地域文化の発信・交流拠点となることを目指し，さまざまな取り組みを行った。

午後６時台の『てれまさむね』では，日々のニュースや暮らしに役立つ情報，「東北楽天ゴールデンイーグルス」の活躍などを伝えるとともに，復興に向けた県内の最新の動きや課題について解説を交えながら丁寧に伝えた。震災から７年となる３月11日には『てれまさむね　東日本大震災７

年～生活再建は　震災の記憶・教訓の伝承～』と題し，県内の復興や生活再建がどこまで進んだかを特集で放送したほか，日中には政府追悼式のもようなども交えながらテレビ・ラジオで“被災地のいま”を新会館の特設スタジオから全国に向けて発信した。

新会館オープンへの取り組みとして，東北各地の奇祭を紹介する『ものほん～ウワサの東北見聞録～』を新会館の機能紹介を交えながらブロックで生放送したほか，オープン前日の２月３日にはFM『今日は一日“勇気うた”三味』を全国へ向けて発信するなど，テレビ・ラジオの特集番組を積極的に活用した公開番組を展開し，“開かれた会館”をアピールした。

９月の台風18号，10月の台風21号関連報道では，深夜から早朝にかけて進路や予想される雨量を伝えるニュースを特設したほか，L字型画面を立ち上げ，交通情報などの生活に影響する情報を伝えた。

７月の仙台市長選挙では，争点を多角的に取り上げたほか，ダブル選挙となった10月の宮城県知事選挙と第48回衆議院議員選挙開票速報では，事務所からの中継などを交えながら当選確実をいち早く伝えた。

**〔秋田局〕**

夕方６時台の『ニュースこまち』の充実に重点的に取り組んだ。秋田の魅力を前面に押し出した企画や気象予報士の解説による詳細な気象情報を秋田県民に発信した。

金曜夜間については，県人口が４月に100万人を割ったことから，秋田在住の中高生が未来の秋田を議論する番組を２週連続で放送した。また，『小さな旅』『ひるブラ』などの秋田を取り扱った全国放送番組を積極的にアンコール放送した。

プロスポーツの中継では，バスケットボールBリーグ「秋田ノーザンハピネッツ」のプレーオフ中継を実施。また，サッカーJ3「ブラウブリッツ秋田」の優勝決定試合をインターローカル放送により中継するなど，県民の関心が高い試合を視聴者に届けた。

４月に投開票が行われた秋田県知事選挙では，正確かつ迅速に開票情報を伝えたほか，７月に発生した大雨災害では，被害の状況や生活情報を特設ニュースだけでなく，L字型画面やデータ放送を駆使してきめ細やかな情報発信を行った。

ラジオ番組では，『秋田駅前　喫茶こまち』を新設。ゲストへのインタビューや生活情報・天気予報を中心に聴取者に届けた。

**〔山形局〕**

夕方６時台は「山形のきょう１日をまるごとお伝えします」をコンセプトに，『やままる』にタイトルを改め，番組内での自然な会話を大切にした明るい雰囲気で伝えた。その日のメインニュースをニュースアップとして掘り下げて取材し，取材にあたった記者の解説を交えてより分かりやすく伝えた。

金曜夜間の『やまがたリアル』では，魅力的な人物，美しい自然など山形の素晴らしさや，農業をはじめ身近にある課題を徹底的な取材で深く掘り下げて放送した。

ラジオの地域情報番組『なにしったのや～？』では，地元の言葉で山形県内の話題を伝え，中継を入れたりゲストを呼んだりして多彩な内容で放送した。

年間を通じ，山形の魅力を全国・世界へ発信する「#ymgt_cool（やまがたクール）キャンペーン」を展開した。７月にNHKワールドTVの俳句番組の収録とトークイベントを実施したほか，２月の国連世界観光会議の会場で山形の美しい風景を撮影したVR（バーチャルリアリティー）動画や４K映像を上映するなど，番組やイベント，ホームページなど多角的な取り組みを行った。

**〔盛岡局〕**

東日本大震災から７年目，多様で複雑化する被災地の課題や復興の現状，人々の思いなどを地域ごとにきめ細かく取材し，夕方６時台の『おばんですいわて』を中心に継続的に伝えたほか，『NHKスペシャル』『明日へ　つなげよう』などの番組で全国発信した。

台風接近など災害のおそれがあるときは，気象解説を含む特設ニュースやL字放送をはじめ，ラジオ・インターネットなど，あらゆる手段を駆使して一人ひとりに届くよう伝え方を工夫しながら防災・減災報道に取り組んだ。10月の衆議院議員選挙では，広大な面積を要する岩手県の選挙区ごとの課題を丁寧に検証・解説するとともに，開票速報番組では正確で迅速な報道を実践した。

『おばんですいわて』は，暮らしに役立つ気象情報を強化し，防災意識の向上を図ったほか，日々のニュースを掘り下げて岩手の課題に迫った。台風10号による大雨災害から１年や震災７年の節目には，キャスターがスタジオを出て被災地から中継し，地域に寄り添う放送を展開した。

金曜夜間には，新番組の『再発見いわて』をスタート。伝統文化や豊かな自然といった岩手の魅力や地域で活躍する人，地域の課題を掘り下げて

伝えた。全国放送の『人生デザインU－29』や『ぐるっと　にっぽん』などにマルチ展開し，全国発信した。

７月には，甲子園を目指す球児たちを軸に高校野球スペシャル『ただ　ひと夏にかける！』を放送。ひと夏にかける球児たちの思いを伝えた。

災害時に役立つラジオの機能強化のために放送開始した『まじぇ５時』は，４年目を迎えた。方言を交じえながら地域に密着した話題を伝え，地域情報のネットワークを更に充実させた。

〔福島局〕

東日本大震災・原発事故から７年，避難指示解除が進む一方で，県内ではいまだに復興への課題が山積している。福島局では，夕方６時台の県域ニュース番組『はまなかあいづToday』をはじめ，『NHKスペシャル』『ETV特集』『ハートネットTV』などの全国放送番組でも福島の現状を広く発信した。

このほか緊急報道では，９月の台風18号，10月の台風21号により県内の広い範囲で影響が出た際に，特設ニュースだけでなく，災害情報ホームページでも防災情報を伝えた。また，17年度は，10月の衆院選をはじめ，郡山市･いわき市･福島市･南相馬市など多くの自治体でも首長選挙が実施され，そのつど選挙の争点を分かりやすく伝えた。

金曜夜間では，18年度に向けた番組として『ココに福あり　fMAP』を新たに制作し，「田んぼ」「温泉」といった身近なテーマを通じて福島に暮らす人たちの知られざる思いとその魅力を伝えた。

ラジオでは，16年度からスタートした平日の夕方５時台放送の『こでらんに５』が２年目に入った。17年度は郡山市の商業施設で公開生放送を実施し，そのもようを夕方６時台の『はまなかあいづToday』でも放送して幅広い世代への浸透を図った。

また，全国放送『福島から２時間出しているラジオ』を通して，福島のいまの様子を全国に発信した。

〔青森局〕

夕方６時台の『あっぷるワイド』の充実に重点的に取り組んだ。北海道新幹線開業で関心の高まる道南地方のニュースを函館局と連携して幅広く伝えたほか，気象情報では全市町村のポイント予報を行い，より詳細な情報を伝えるなど県民に寄り添った放送を目指した。

金曜夜間では，青森の仕事や自然にひかれて移住してきた若者たちにスポットを当てた番組『アオニサイ』を制作し，青森の魅力を再発見した。

『あっぷるラジオ』では，毎週の定時放送に加え，スペシャル版も年間７回放送した。明るい話題を中心に，方言解説や絵本の読み聞かせ，落語など多彩な内容を聴取者に届けた。

平均寿命が全国最下位の青森県民の意識改革の一環として展開している“脱短命”キャンペーン「元気あっぷる体操」を継続。夕方６時台のコーナーとして放送100回を迎えたことを記念したイベントも実施した。

７月から10月にかけての大雨や台風接近時には，速やかにL字型画面を立ち上げて放送を実施。テレビ・ラジオの特設ニュースのほかホームページやデータ放送にも展開し，ローカルの災害・気象情報を詳しく伝え，防災・減災報道に努めた。

## ２．地域放送番組

### （１）定時番組

**『NHKニュース　おはよう宮城』　G**

月～金　7:45～ 8:00

第１回00.4.3／宮城県域（一部東北ブロック）／県内のニュースのほか，東北各地の話題や課題を掘り下げたリポート，気象情報を伝えた。／各局タイトル：『おはよう秋田』『おはよう山形』『おはよういわて』『おはようふくしま』『おはよう青森』

**『ウイークエンド東北』　G**

土　7:30～ 8:00

第１回85.10.12／東北ブロック／東北各地のニュースに加え，郷土で力強く生きる人たちを追った「ウイークエンドFACE」，各地を訪ねてその魅力を伝える「東北小さな旅」などNHKのネットワークを生かして東北のさまざまな動きや話題を伝えた。

**『ひるはぴ』　G**

（ブロック）月～金　11:30～11:50
（各県域）　11:50～11:54

第１回12.4.3／東北ブロック，各県域／暮らしに役立つ情報や，地域に密着した話題を届ける情報番組。手軽にできる料理や東北各地の観光情報やイベント情報など，暮らしを豊かにする多彩な情報を，視聴者からのお便りを交えながら伝えた。２月６日からは新会館のオープンスタジオである「杜のスタジオ」から放送した。／各局タイトル：秋田『エキヨコこまち』，山形『やまモリ！』，盛岡『ひるっコいわて』，福島『ひるはぴ　福島』，青森『情報ランチ』

**『てれまさむね』　G**

月～金　18:10～18:59

第１回03.3.31／宮城県域／ニュースや地域の話題，気象情報をはじめ，震災関連の企画，東北地方共通の課題や暮らしに役立つ情報を積極的に取り上げた。「大好き♡東北」キャンペーンと連動したコーナーでは，東北各地の知られざる穴場を紹介した。なお，２月５日からは新会館から伝えた。／各局タイトル：秋田『ニュースこまち』，山形『やままる』，盛岡『おばんですいわて』，福島『はまなかあいづ　Today』，青森『あっぷるワイド』

**『クローズアップ東北』　G**

金　19:30～20:00

㊫土　10:55～11:25

第１回02.4.5／東北ブロック／東北の“いま”を徹底的に見つめ，地域が抱える課題や関心事，時代を先取りする人々の動きにタイムリーに迫る番組。復興の動きをつぶさに追いかけ，幅広い視点から震災後の地域の現状と課題を伝えた。震災から６年半となる９月には，２週にわたり「震災ドキュメント」を放送。また，年末には減反政策の廃止が東北に及ぼす影響について検証するテーマを２回にわたり放送した。

「いつもそばに～震災６年　母親の日々～」　仙台局／ 4. 7
「迫る野生動物の脅威～急増するイノシシとシカ～」　仙台局／ 4.21
「忘れられた被災者～台風と震災　支援制度の死角～」　仙台・盛岡局／ 4.28
「“風評被害”福島のコメはどこへ？」　福島局／ 5.12
「ほそく　ながく～復興応援バイト　私たちにできること～」　仙台局／ 5.19
「イカ不漁　現場からの報告」　青森局／ 6. 2
「“震災ニート”～生き方を探し続けて～」　仙台局／ 6.16
「震災を知る～名取北高校演劇部　挑戦の日々～」　仙台局／ 6.23
「こどもたちのSOSをつかめ～“いじめ自殺”をくい止めるために～」　仙台局／ 6.30
「どうなる大量の“除染土”～始まった再利用計画～」　福島局／ 7.21
「ふるさとが消えゆくその前に～福島・家屋解体に揺れる住民たち～」　仙台局／ 8. 4
「“復興の大動脈”　国道６号を行く」　仙台局／ 8.25
「台風10号から１年」　盛岡局／ 9. 1
「再建遠のく“働く世代”～震災６年半　いま何が～」　仙台局／ 9. 8
震災ドキュメント
「今こそ“言葉”を」　仙台局／ 9.15
「19歳　ふるさとを忘れたくない　～福島・浪江町請戸～」　福島局／ 9.22
「コンパクトで元気な街は可能か～検証・人口減少時代の都市再編～」　青森局／10. 6
「法医学者が見た東日本大震災」　仙台局／10.13
「4000人が問う原発事故」　福島局／10.20
「コメで未来を切り開け！～ポスト減反時代・新潮流を追う～」　秋田局／11.17
「スマホでみつめる　ふるさと～震災から６年　宮城・南三陸～」　仙台局／11.24
「減反廃止で変わるコメの世界」　山形局／12. 8
「直下型地震にどう備えるか～仙台平野に潜む活断層～」　仙台局／12.15
「ふるさと～開拓に生きた百歳からのメッセージ～」　仙台局／ 1. 5
「災害復興　新しい街は問いかける～三陸　津波被災地からの報告～」　盛岡局／ 1.12
「ルポ　避難解除の町はいま…～福島・浪江町　苦闘する事業者たち～」　福島局／ 1.19
「スケルトン　男たちの闘い～ピョンチャン五輪へ　半年間の記録～」　秋田局／ 1.26
「津波ピアノ～坂本龍一と東北の７年～」　仙台局／ 3. 2

**『被災地からの声』　G**

日　13:05～13:28

（後期）㊫土　9:30～ 9:53

第１回11.3.20／東北ブロック／被災者が今一番伝えたいことを直接カメラに向かって話してもらう番組。震災直後に開始した番組スタイルを継続し，被災地に暮らす人たちや他の地域へ避難している人たちの声を，被災地・石巻出身のアナウンサーが伝えた。より幅広い層に見てもらうため，放送枠を週末に移設した。

**『マイあさラジオ東北』　R1**

月～土　7:40～ 8:00

第１回15.3.30／東北ブロック／東北各地のニュースや話題，気象情報，交通情報などをコンパクトに伝える地域情報番組。聴取者による地域リポーターやコミュニティFMからの電話リポート，健康情報，週末情報などを，音楽とともに日替わりで伝えた。

**『ゴジだっちゃ！』　R1**
月～金　17:00～18:00
第１回12.4.2／宮城県域／宮城県の話題にこだわったラジオ番組。ニュースや天気予報，交通情報，地元プロスポーツの情報に加え，話題の人へのインタビューや県内全市町村の「だっちゃ通信員」が旬のふるさと情報を伝える電話リポートなど，リスナーのお便りを交えながら県内の情報を伝えた。３月には新会館にゲストを招き，公開生放送を行った。

**〔各局ラジオ番組〕　R1**

秋田**『秋田駅前　喫茶こまち』　新**
金　12:30～12:55
山形**『なにしったのや～？』**　金　12:20～12:55
盛岡**『まじぇ５時』**　月～金　17:00～18:00
福島**『こでらんに５』**　月～金　17:00～18:00
青森**『あっぷるラジオ』**　金　12:20～12:55
**『民謡をどうぞ』　R1・FM**　金　12:30～12:55
第１回54.11／東北ブロック（R1のみ除く山形，青森）／東北ならではの民謡を季節に応じたテーマで放送する東北最長寿の民謡専門のラジオ番組。1954年にスタートし，１月には放送2,800回を迎えた。

**『MONKEY MAJIKのオンバク』　FM**
土　18:00～18:50
第１回14.4.5／東北ブロック／仙台在住の実力派バンドMONKEY MAJIKをナビゲーターに，東北ゆかりのアーティストを招いてのトークや演奏，東北の未来を担うアーティストの紹介や応援など，東北６県を結んで音楽の力を伝える番組。

**（２）特集番組**

**〔東北ブロック〕**

**『みちたん～ああ！すばらしきセカイ～』　G**
仙台局　22:25～22:50
「なんとも言えん感じで13回目」　4.27
「本気と書いてマジな感じで14回目」　5.25
「ゴーイングマイウェイで15回目」　6.29
「時の過ぎゆくまんま16回目」　7.27
「爆笑！涙ポロリの17回目」　9.14
「あつ～い挑戦の18回目」　10.26
「ハンパないっす！19回目」　11.30
「ジングルベルで20回目」
12.21／20:14～20:42
「ふっくらシュワシュワ21回目」　1.25
「メイド・イン・みちのくの22回目」
3. 3／10:05～10:30
「私みちたん立ち見したわの23回目」
3.16／19:30～20:00

**『ホリデーとうほくライブ』　G**
仙台局　5. 3／18:05～18:59
**『どんとこい！人口減少～仕事がないってホント？～』　G**
仙台・秋田・盛岡・青森局　7.14／19:30～20:43
**『北国からのコンサート2017夏』　G**
仙台局　7.28／19:30～20:43
**『さよならガレキ　ようこそビキニ～あの日から７年目の七ヶ浜～』　G**
仙台局　9.29／19:30～20:43
**『2017　衆院選　開票速報』　G**
仙台局　10.22／23:55～24:00
10.23／ 0:55～ 1:00，1:55～ 2:00，
2:45～ 3:00
**『アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2017　東北地区大会』　G**
仙台局　11.23／10:05～10:59
**『ものほん～ウワサの東北見聞録～』　G**
仙台局　2. 2／19:30～20:43
**『目指せ投手王国！2017楽天　期待の若手３人衆』　G**　仙台局　12.30／11:20～11:40
**『第39回　NHK東北民謡コンクール優勝大会』　G**　仙台局　3.23／19:30～20:43
**『イブニングジャズ at NHK仙台』　FM**
仙台局　9 9／16:00～18:00
**『第39回NHK東北民謡コンクール　各県大会』　FM**　18:00～18:50
2. 7　山形，2. 8　宮城，2. 9　青森
2.13　岩手，2.14　秋田，2.15　福島

**〔県域番組〕**

**〔仙台局〕**

**『やっぺぇ！たいそう』　G・E**　／随時
**『2017衆院選　開票速報』　G**
10.22／20:25～21:00，21:50～22:00，
22:50～23:25，23:45～23:55
10.23／ 0:45～ 0:55，1:23～ 1:55
**『てれまさむね　東日本大震災７年～生活再建は　震災の記憶・教訓の伝承は～』　G**
3.11／18:50～19:00
**『キミが主役だ！NHK放送体験クラブ』　E**
11. 6～ 9，13／12:55～13:00
**『ゴジだっちゃ！特集「第17回　NHK仙台　川柳・短歌大会」』　R1**
9.30／13:05～13:55，14:05～14:55

**〔秋田局〕**

**『秋田県知事選挙ほか　開票速報』　G**
4. 9／20:55～21:00，21:49～21:50，
22:30～22:50，23:45～ 0:00

**『ウォッチA』　G**
「人口90万人台へ…あきた未来塾～考えよう！秋田でできること～」
5.12，19／19:30～20:00
**『小さな旅　アンコール「水鏡の郷　潤う～秋田県　にかほ市～」』　G**
8.25／19:30～19:55
**『2017衆院選　開票速報』　G**
10.22／20:25～20:35，20:55～21:00，21:50～22:02，22:10～22:13，22:50～23:02，23:45～23:55
10.23／ 0:20～ 0:22，0:45～ 0:55，1:45～ 2:00
**『ひるブラ　アンコール「城下町へタイムトラベル！～秋田・仙北市～」』　G**
11.24／19:30～19:54
**『インタビュー　ここから・アンコール「シンガーソングライター　高橋優」』　G**
12.15／19:30～19:53
**『CYCLE AROUND JAPAN「秋田　北国の伝統との出会い」』　G**　12.15／19:53～20:43
**『ニュースこまち2017ハイライト』　G**
12.28／18:00～19:00
**『Journeys in Japan「大館　秋田犬とともに」』　G**　12.31／10:50～11:18
**『きんよる秋田「あきた鉄道出会い旅～秋田内陸線編～」』　G**　3. 2／19:30～20:00
**〔山形局〕**
**『やまがたリアル』　G**
「“蔵王”わが人生　～魅力を伝え続けて～」
4. 7／19:30～20:00
「地域で拓（ひら）く　子どもの未来～米沢・フリースクールWith優～」
8. 4／19:30～20:00
「迫る減反廃止～生き残りかけた模索～」
12.15／19:00～20:00
「いま旬！道の駅スペシャル」
1.26／19:30～20:00
**『2017衆院選　開票速報』　G**
10.22／20:25～20:39，20:55～21:00，21:20～21:35，21:50～22:03，22:22～23:00，23:20～23:35，23:45～ 0:02
10.23／ 0:45～ 0:55，1:45～ 2:00
**〔盛岡局〕**
**『再発見いわて』　G**　金　19:30～20:00
「勇壮な舞　再び～大槌町赤浜『陸中弁天虎舞』～」
4.21
「つなぐ　～北上　青春の鬼剣舞～」　6.16
「命を守る　～大雨災害に備えて～」　8. 4
「北上高地　生命の躍動」　10.20
「動画で“ふるさと”を伝えたい　～陸前高田　次世代が描く未来～」　12.15
「ラガーマンは釜石に夢を見る」　1.26
**『ただ ひと夏にかける！　～岩手　高校野球スペシャル～』　G**　7.16／ 7:45～ 8:25
**『2017衆院選　開票速報』　G**
10.22／20:25～20:35，20:55～21:00，21:50～22:00，22:45～23:00，23:45～ 0:00
10.23／ 0:45～ 1:00，1:45～ 2:00
**『東北発☆未来塾　特別編「写真家・安田菜津紀～想（おも）いを遺（のこ）すチカラ～」』　G**　12.31／10:05～10:50
**『おばんですいわて 震災から７年　～忘れないで生きる～』　G**　3.11／18:00～19:00
**『まじぇ５時　年末スペシャル』　R1**
12.27／16:00～18:00
**〔福島局〕**
**『2017衆院選　開票速報』　G**
10.22／20:25～20:44，20:55～21:06，21:50～22:00，22:50～23:00，23:45～ 0:00，
10.23／ 0:15～ 0:26，0:45～ 1:00，1:45～ 2:01，2:45～ 3:00
**『インタビュー　ここから「福島から世界の空へ～パイロット　室屋義秀」』　G**
10.27／19:30～19:53
**『エアレース世界選手権2017「最終戦 in インディアナポリス　速報版」』　G**
10.27／19:53～20:43
**『2017福島市長選　開票速報』　G**
11.19／20:55～21:00，22:32～22:50，22:55～23:00
11.20／ 0:05～ 0:10
**『ココに福あり　fMAP』　G**
「＃１　田んぼより愛をこめて」
12.15／20:00～20:45
「＃２　温泉より愛をこめて」
3. 2／19:30～20:00
**〔青森局〕**
**『アオニサイ』　G**　19:30～20:00
「佐井村の漁師」　5.19
「十和田を盛りあげる若者」　11.17
**『NHKのど自慢 in 青森　全部見せます予選会』　G**　7. 8／10:05～10:55，15:05～16:15

**『2017衆院選　開票速報』　G**
10.22／20:25～21:00，21:50～22:00，
22:50～23:00，23:30～ 0:00
10.23／ 0:45～ 1:01，　1:45～ 2:00

**『お国ことばdeのどじまん』　G**
3. 2／19:30～20:43

**『生中継！青森ねぶた祭2017』　E**
8. 6／19:00～19:55，20:00～21:00

**『あっぷるラジオスペシャル』　R1**
「春だ！出会いだ！お花見だ！」
4.22／13:05～15:55
「愛♡ふるさと！ in十和田」
5.20／13:05～15:55
「夏直前！聞いて歌ってしゃべらへで！」
7.15／13:05～15:55
「学園祭PRタイム争奪戦」
9.16／13:05～14:55
「AOMORIの秋しゃべらへで！」
10.14／13:05～14:55
「３姉妹からの！メリークリスマス♪」
12.24／16:05～18:50
「卒業スペシャル」
3.17／13:05～15:55

**〔各局共通〕**
**『第84回NHK全国学校音楽コンクール』**
「宮城県コンクール」　E　9. 2～ 3
「秋田県コンクール」
E　8.23～24，28～31，9. 4～ 6，12
FM　8.26
「山形県コンクール」　FM　8.24～25
「岩手県コンクール」　E　9. 9
「福島県コンクール」　FM　9.16～17
「青森県コンクール」　FM　8.12
「東北ブロックコンクール」　E　9.23，10. 1

## ３．スポーツ中継

＊ブロックと記した以外は県域

**〔高校野球〕**
**第99回全国高等学校野球選手権　地区大会**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 宮城県 | 準決勝 | G・E・R1 | 7.30～31 |
| | 決勝 | G・R1 | 8. 1 |
| 秋田県 | 準決勝 | E・FM | 7.24 |
| | 決勝 | E・FM | 7.25 |
| 山形県 | 準決勝 | G・E・R1 | 7.22 |
| | 決勝 | G・R1 | 7.26 |
| 岩手県 | 準決勝 | G・E・R1 | 7.21 |
| | 決勝 | E・FM | 7.24 |
| 福島県 | 準決勝 | G・E・R1 | 7.21 |
| | 決勝 | G・E・R1 | 7.22 |
| 青森県 | 準決勝 | E・FM | 7.25 |
| | 決勝 | G・R1 | 7.27 |

**第70回秋季東北地区高等学校野球**
◇地区大会　準決勝・決勝

| | | |
|---|---|---|
| 宮城 | R1 | 9.23 |
| 秋田 | R1・FM | 9.23 |
| 山形 | R1 | 9.23 |
| 岩手 | R1 | 9.23 |
| 福島 | R1・FM | 9.24 |
| 青森 | R1 | 9.23 |

◇東北大会（ブロック）

| | | |
|---|---|---|
| 準決勝 | R1 | 10.17 |
| 決勝 | R1 | 10.18 |

**〔その他のスポーツ〕**
**第68回NHK杯東北高校ラグビー選手権－決勝－**
「秋田工」対「秋田中央」（ブロック）
E　6.18

**第53回NHK杯東北高校バレーボール選手権－女子決勝－**
「古川学園」対「利府」（ブロック）　G　6.25

**第97回天皇杯全日本サッカー選手権各県代表決定戦**
宮城県代表決定戦（仙台）
「ソニー仙台」対「仙台大学」　G　4. 9
山形県代表決定戦（山形）
「FCパラフレンチ米沢」対「山形大学医学部サッカー部」　G　4. 9
岩手県代表決定戦（盛岡）
「グルージャ盛岡」対「富士大学」　E　4. 9
福島県代表決定戦（福島）
「福島ユナイテッド」対「いわきFC」G　4. 9
青森県代表決定戦（青森）
「ヴァンラーレ八戸」対「ラインメール青森」
G　4. 9

**プロ野球（ブロック）**
「東北楽天ゴールデンイーグルス」

| | | |
|---|---|---|
| 対「日本ハム」 | G | 4.14 |
| 対「オリックス」 | G | 5. 3 |
| 対「西武」 | G | 5.26 |
| 対「DeNA」 | R1 | 6. 8 |
| 対「広島」 | G | 6. 9～10 |
| 対「オリックス」 | R1 | 6.28 |
| 対「ソフトバンク」 | R1 | 6.30 |
| 対「西武」 | G | 7. 7 |
| 対「日本ハム」 | R1 | 8.25 |
| 対「日本ハム」 | G | 8.27 |
| 対「オリックス」 | R1 | 9. 8 |

対「オリックス」　G　9.21
対「西武」　R1　10.14～16　※西武ホーム
対「ソフトバンク」　R1　10.18～20
※ソフトバンクホーム

**サッカーJ1**

「ベガルタ仙台」（仙台）
対「サンフレッチェ広島」　G　4.22
対「川崎フロンターレ」　R1　10. 8
対「横浜F・マリノス」　G　11.26

**サッカーJ2**

「モンテディオ山形」（山形）
対「愛媛FC」　G　10.29

**サッカーJ3**

「ブラウブリッツ秋田」（秋田）
対「ガイナーレ鳥取」
G　12. 3　※鳥取ホーム
「福島ユナイテッド」（福島）
対「アスルクラロ沼津」　G　8.27

**バスケットボールBリーグ**

「仙台89ERS」（仙台）
対「熊本ヴォルターズ」　G　12.24
「秋田ノーザンハピネッツ」（秋田）
対「横浜ビー・コルセアーズ」
G　5.14

**第59回NHK杯青森県卓球選手権大会**
（青森）　G　12. 3

# Ⅱ．技　術

## 1．安全安心の拠点となる設備整備の推進

仙台局の新放送会館は，約28か月の建設工事を経て５月31日竣工，６月から約８か月，大小約400件の放送設備整備工事・作業等を経て，18年２月４～５日にかけて新会館カットオーバー作業を約200人の態勢で実施，無事放送を開始した。

７月に地図情報を重ねて撮影対象を特定できる「ヘリ映像スーパー装置」の運用を開始した。９月に仙台空港にヘリポート基地が完成，６年ぶりに運用を再開した。11月にヘリポート屋上にロボカメを新たに設置，２つの滑走路が全て撮影可能になった。11月に福島・富岡FPU基地局に福島第二原発を監視する楢葉ロボカメの専用受信機を設置した。18年３月には北海道新幹線の青函トンネル入り口にロボカメを設置した。また，走行距離10万kmを超えた盛岡局CSKを更新した。

青森局と福島局では，新運行装置やNC設備導入のための会館の建築工事が進み，18年１月，青森局の新ニュース送出設備が運用開始した。

秋田・大館支局，山形・酒田支局，青森・五所川原報道室の移転対応が完了した。

## 2．報道対応

５月は宮城・栗原市と岩手・釜石市の山林火災，７月は記録的大雨による秋田・雄物川の氾濫，９月は台風18号来襲や秋田震度５強の地震など，ヘリやCSKによる現場中継，L字やアメダス画面，特設ニュース送出やラジオ上乗せなどで避難指示や防災・減災・生活に関わる情報を提供した。

10月の衆議院議員選挙は，東北各局で開票速報本部と放送席をスタジオに開設，事務所中継，開票速報システムの運用，全中脱対応など，迅速で正確な開票速報を伝えた。投開票日に重なった台風21号の通過にも各局は対応した。同日の宮城県知事選や青森の衆院補選，八戸市長選のほか，４月は秋田県知事選と秋田市長選，７月は仙台市長選，11月は福島市長選など選挙報道を行った。

18年１月，蔵王山の噴火警戒レベルが「２」に引き上げられ，火山監視用に太陽光WEBカメラを山形県上山市に設置した。

## 3．地域放送サービスの充実と地域の活性化

震災から７年，18年３月は仙台局をキーステーションとしたテレソン『特集　明日へ　つなげよう』『大切なものは何ですか』『東日本大震災７年3.11　いま、再びの海』『ラジオ深夜便』等を生放送した。盛岡・福島局も11日に向け中継や関連番組を展開。そして11日，日曜午後６時台も被災３局は約１時間のローカル枠を編成して当日の様子を伝えた。

16年の台風10号で被災した岩手・岩泉町では，５月『まじぇ５時』ラジオ公開収録や，８月『おばんですいわて』等で復興の様子を伝えた。

５月秋田のプロバスケットチームのB1残留プレーオフ，８月青森ねぶた祭をEテレで約２時間，「楽天」戦，天皇杯サッカー，高校野球など，地域の関心に応えた生中継をマルチ編成や流動対応等を交えてローカル送出した。『ゆく年くる年』では，テレビは山形・南陽市の熊野大社から，ラジオは岩手･大槌町の小槌神社から生中継を行った。

18年２月の仙台局新会館開局特番・公開イベントでは，『ものほん』生放送を皮切りに，『今日は一日“勇気うた”三昧』FM約10時間生放送，『#ジューダイ』『J－MELO』『春風亭昇太のレコード道楽』『らじらー！』などに対応，新会館をPRした。

### ４．放送ネットワークの強化

仙台局の非常用送信車（Eカー）は，毎月定例で運用訓練を行っている。秋田局に配備されたミニEカーは，日本海側の電波確保のため，隣接県との合同訓練を行い，緊急時の対応を強化した。

９月盛岡・新山TV基幹局の予備送信アンテナ整備，10月盛岡・宮古ラジオ放送機２台化，11月秋田・東成瀬TV放送機２台化，18年３月は福島・信夫丘ラジオ基幹放送所の給電２系統化などを進めてきた。また，震災で被災した宮城県のNHK共聴75施設は，17年度末までに復旧（廃止含む）のめどがつき，老朽化した東北地方のNHK共聴49施設では光化大規模改修を実施した。

### ５．視聴者対応活動など

スーパーハイビジョン（SHV）の普及を目的に，４～５月弘前市，５～６，11月に仙台市，７月酒田市，８月大館市，18年２月盛岡市など，各地で受信公開を行った。山形局では，会館ロビーの８Kシアターリニューアルと４Kシアターを新設，山形県との共催「#ymgt_coolキャンペーン」４K独自コンテンツのプロモーションビデオを２月山形市で開催した国連世界観光会議で行った。青森局では地元で人気の大相撲中継に合わせ，22.2chで視聴できる広いロビースタジオで受信公開した。仙台局新会館に国内最大クラスの280インチSHV上映設備を整備，12月『紅白歌合戦』や18年２月『ピョンチャンオリンピック』などで大勢の来場者を迎え，その魅力を伝えた。

『のど自慢』予選会（５月，山形・河北町／６月，青森市／８月，大館市／11月，奥州市）では，時差再生・フォトサービス，カメラマン体験や舞台裏見学，受信相談などを実施，10月の山形局会館公開では，技術職員による「８Kルーブル美術館」ロケのトークショーを行った。

## Ⅲ．視聴者

### １．広　報

#### （１）仙台放送局新放送会館のオープン

仙台局の新放送会館が２月４日にオープンした。震災からの復興や地域の活性化に貢献する開かれた会館を目指し，１・２階に視聴者公開スペース「定禅寺メディアステーション」を開設した。

１階には，「280インチスーパーハイビジョン」「展示ギャラリー」を設けた。２階には，東日本大震災の教訓を伝えていくために，発災後72時間分の総合テレビの映像視聴などができる「東日本大震災メモリアル」，VRで震災を体験する「VR映像体験」，震災関連番組を上映する「3.11シアター」を設置。また，番組制作のもようを公開するガラス張りの「杜のスタジオ」を開設した。

オープン初日は2,155人の来場者を迎え，「やっぺぇとあそびまショー」，『＃ジューダイ』公開収録などを開催。その後も毎週のように公開番組やイベントを行い，オープンから１か月で１万5,000人が来場した。

#### （２）地域放送と連動した広報活動

仙台局では夕方６時台の『てれまさむね』の気象コーナーに出演し人気を集めている仙台局キャラクター“やっぺぇ”を活用した広報活動を行なった。「やっぺぇ！たいそう」では，幼稚園・学校・企業などでロケを行い，ミニ番組などで放送した。17年度は，宮城県の名物や四季を元気いっぱい紹介した新しいテーマ曲「やっぺぇ！がんばっぺぇ！」を制作し，放送やイベントで紹介した。このほか，やっぺぇのステージショーを県内各地で実施し，年間通して子供から大人まで約5,400人と交流した。

山形局では『連続テレビ小説』「ひよっこ」と連動した広報活動を展開した。ドラマに出演した山形県出身の峯田和伸さんのインタビューを午後６時台『やままる』で放送した後，山形局のホームページで公開した。

盛岡局では，岩手の魅力を視聴者から募集してメッセージで伝える「好きなんです、いわて」に取り組み，寄せられた動画を放送とホームページで紹介した。

福島局では，県内で頑張る若者を取り上げ，復興を後押しする「Fのモト」キャンペーンに取り組んだ。

青森局では，冬の路面凍結などによる交通事故や歩行中の転倒など，豪雪地の青森で事故やけがを防ぐため，雪に対する正しい知識を分かりやすくまとめた「あおもりワンポイント防災」を企画し，ミニ番組や夕方６時台の『あっぷるワイド』で放送した。

#### （３）視聴者とのふれあい活動

秋田局では，８月26日に大仙市で行われた「大曲の花火」のBSプレミアムでの中継を秋田局ロビーの大画面で公開した。

山形局では，「会館公開2017　ふれあいひろば」（9.30～10.1）を開催。『連続テレビ小説』「ひよっこ」のトークショーや，山形局のラジオ番組

『なにしったのや～？』の公開収録などを行い，２日間で3,017人が来場した。

福島局では，会館公開「NHK夏フェス～遊びつくせ！～」(8.19～20）を開催し，ステージショーなどに2,272人が来場した。

青森局では，「脱短命キャンペーン」で展開している「元気あっぷる体操」の放送100回を記念して，イベント「春の大感シャモリ祭」を３月18日に開催。多彩な内容で子どもから大人まで2,000人と交流した。

**（４）国際放送の広報活動**

山形局では，SNSを通じて山形の美しい自然や風景を世界に発信する「#ymgt_cool（やまがたクール）キャンペーン」を立ち上げ，投稿された写真をNHKワールドTVの「HAIKU MASTERS」で紹介した。また，松尾芭蕉が俳句を詠んだことで有名な山寺を舞台に，山形が誇る自然や歴史，俳句文化の魅力を幅広い世代に発信することを目指したトークイベントを実施（7.17）し，外国人を含む150人が参加した。

**（５）スーパーハイビジョン**

仙台局では，新会館に設置した280インチスーパーハイビジョンでオープン前の12月31日に「紅白歌合戦パブリックビューイング」を開催し，200人が来場した。２月のピョンチャンオリンピックでは「８K受信公開」(2.9～25）を行い，8,561人が視聴した。仙台市出身の羽生結弦選手が金メダルを獲得した２月17日は，500人が集まった。

盛岡局では，ピョンチャンオリンピックの受信公開（2.9～10）をJR盛岡駅で行い，1,500人が来場した。また，各放送局でも年間を通してスーパーハイビジョンの受信公開を各放送会館などで開催した。

## ２．イベント事業

地域の活性化と被災地復興を後押しするイベント等を東北各地で176本実施し，宮城・東北の魅力を掘り起こして国内外への発信に取り組んだ。

**（１）復興を応援する活動**

**①七ヶ浜スタートラインライブ**

（七ヶ浜町，8.13　4,096人）

東日本大震災で大きな被害を受けた七ヶ浜町で，住民と一緒に町の重要な観光資源である菖蒲田海水浴場の再開するタイミングに併せて音楽イベントを開催した。七ヶ浜の復興を紹介する展示イベントのほか，海岸の地元フェスと連動したステージも実施。

**②NHK公開復興サポート～明日へ～**

（福島・南相馬市，5.6，７番組，11イベント，5,147人来場）

「被災地のみなさんに笑顔を届ける」ことを目的に，原発事故の影響で出されていた避難指示が一部地域を除いて解除され，さらなる復興に向けて歩み始めている福島県南相馬市で実施した。

**③被災地での取り組み**

被災３県の仙台・福島・盛岡局では，復興支援を目的に公開番組やイベントを実施した。

・『民謡魂　ふるさとの唄』（12.3，宮城･岩沼市），『NHKのど自慢』（3.11，宮城・栗原市）ほか

また，11月25～28日の「世界防災フォーラム／防災ダボス会議@仙台2017」に，地域の一員として参画してプレナリーセッションを開催した。災害発生時における防災情報の在り方を，発信する側と受信する側の双方の立場で議論するとともに，平常時の防災情報・防災啓発について，行政やマスコミはどのような情報を発信すれば市民に意識改革や備えを進めてもらえるのかを，来場者とともに考えた。

・「NHKシンポジウム『命を守る“防災情報”』」（11.26，宮城・仙台市）

**（２）地域活性化に貢献する公開番組等の実施**

地域のニーズに合わせた公開番組やイベントなどを実施して視聴者サービスを行った。

・「北国からのコンサート」（7.1，秋田市），「NHK交響楽団演奏会東北公演」（8.24，秋田市／8.25，盛岡市／8.26，弘前市／8.27，仙台市）ほか

**（３）コンクール等**

**①第84回NHK全国学校音楽コンクール**

各県コンクールと東北ブロックコンクール（9.9～10，名取市）を実施。東北６県で小学校180校，中学校199校，高等学校40校が参加。東北代表に郡山市立朝日が丘小学校，郡山市立郡山第二中学校，会津若松市立第四中学校，山形県立鶴岡北高等学校，福島県立安積黎明高等学校。

**②第64回NHK杯全国高校放送コンテスト**

６月に各県大会を開催。アナウンス，朗読，ドキュメント（テレビ・ラジオ），創作ドラマ（テレビ・ラジオ）の６部門に東北６県で129校が参加。

**③第34回NHK杯中学校放送コンテスト**

７月に各県大会を開催。アナウンス・朗読・テレビ番組・ラジオ番組の４部門に東北６県で72校が参加。

## ３．営　業

17年度は３か年経営計画の最終年にあたり，営

業改革の推進による受信料の公平負担に向けた取り組みを徹底して，「支払率80％」「衛星契約割合51％」および「営業経費率の抑制」を柱とした活動を展開した。

東北ブロックでは，訪問要員の充実を図るため，各局が法人委託事業者の拡大に重点を置いた取り組みを行った結果，17年度末において，公開競争入札・公募型企画競争法人は２社で３地区，エリア型法人は23社で30地区の運用を行うまでになった。

職員活動では，法人委託事業者の開発・育成，事業所対策，民事対策を推し進めるとともに，年度末には衛星および口座勧奨DMを実施するなど，業績確保にこだわった活動を展開した。

さらに，放送をはじめ他部門との連携を強化し，「ターゲット80」によるイベント・公開番組との連動のほか，法人委託事業者を対象にした番組知識向上研修や新放送会館見学の実施等，受信料制度の理解促進活動にも全局体制で取り組んだ。

また11月には，NHK営業サービス東北支社とともに新放送会館への移転を完了し，協業体制のより一層の強化を図った。

営業諸目標については，東北ブロックとして６年連続となる全営業目標を達成し，17年度末の東北地方の放送受信契約数は324万4,335件，衛星契約数は174万3,620件となり，対前年比での放送受信契約数は16年度より３万8,731件，衛星契約数は５万2,709件の増加となった。なお，営業収納額の達成率は100.6％となった。

# 関東甲信越

## Ⅰ．放　送

### １．放送の概要

**①関東甲信越全体**

約4,800万人が暮らす関東甲信越地域において，東京の本部と９県の各放送局が取材・制作したニュース・番組を発信，多様な情報を提供した。

17年度は，事件・事故や政治・選挙，それに災害や防災に関わる数多くのニュース・番組を放送した他，2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けたさまざまな動きを積極的に伝えた。

東京都の小池知事の都政運営では，築地市場の豊洲への移転や東京大会に向けたさまざまな動きを継続的に伝え，都議会議員選挙（７月）や衆議院選挙（10月）は，『クローズアップ現代＋』『金曜イチから』や首都圏ネットワークで多角的に発信した。緊急報道では，草津白根山の噴火災害（１月）のほか，伊豆半島沖の米イージス艦衝突事故（６月），東名高速進路妨害事件逮捕（10月），埼玉県上尾市の市長・議長の逮捕（10月），神奈川県座間市で９人の遺体が見つかった事件（10月），群馬県上野村のヘリ墜落事故（11月），成人式の晴れ着トラブル（１月）などで迅速に対応した。この他，上野動物園のパンダの赤ちゃん「シャンシャン」誕生（６月）やピョンチャンパラリンピックで５つのメダルを獲得した村岡桃佳選手の地元・埼玉県の盛り上がり（３月）など地域の話題についても丁寧に伝えた。

**②各放送局別**

**〔長野局〕**

10月の衆議院議員選挙と長野市長選挙では，開票速報などで正確・迅速な報道を行った。地震や台風・大雨の際，特設ニュースやL字放送で県内に向けてきめ細かな情報発信を行ったほか，７月からはLアラートの放送での運用を開始し，自治体が発する避難情報をホームページ，データ放送などで伝えた。

年間を通じて信州の魅力を紹介する「Wonderful 信州！」キャンペーンを展開。７月に信州の山の魅力を紹介する番組を制作し，英語版を国際放送『NHK WORLD TV』で発信したほか，地域番組の『イブニング信州』『ひるとく』などで，信州の魅力的な食や人，温泉などを集中的に紹介した。

８月の『NHKスペシャル』，１月の『BS1スペシャル』で放送した旧日本軍の細菌戦部隊「731部隊」の素材などを基に，信州出身の元隊員・遺族の証言をまとめた番組を制作。２月，地域番組の『知るしん。』で伝えた。

幕末の志士に影響を与えた信州の偉人・佐久間象山の生涯から現代に生きる知恵を探る番組を８月に制作。『先人たちの底力　知恵泉（ちえいず）』で放送したあと，『知るしん。』でも紹介し，多くの視聴者から支持を得た。

大相撲の幕内上位で活躍する信州出身の力士・御嶽海を特集する番組を７月と２月の『知るしん。』で放送。各場所前の意気込みを夕方の地域情報番組で紹介するなど，分厚く伝えた。

**〔新潟局〕**

７月から９月にかけて相次いだ大雨・台風に際しては，ローカル特設ニュース・データ放送・L字・ホームページなどを通じて気象・災害情報を伝えた。

10月の衆議院議員選挙では，候補者それぞれの主張を伝えて投票の判断材料を視聴者に提供するとともに，開票速報特番では県内６選挙区の当確情報を迅速かつ正確に伝えた。

『新潟ニュース610』と『金よう夜きらっと新潟』で，９月に医師の過労自殺問題，12月には柏崎刈羽原発の再稼働に対する立地自治体の人々の思い，そして１月と２月にはインバウンドによる地域活性化への動きと課題について２回シリーズで放送した。

１月の大雪時には，ニュースで気象・災害情報を伝えるとともに，大雪が原因で発生したJRの列車閉じ込めについて，想定外の事態となった原因と今後の課題を明らかにする番組を『金よう夜きらっと新潟』で放送した。

地域の課題解決のアイデアを視聴者から募り，地域番組を制作する新企画。10月のイベントでの提案を基に新潟の若者とともにドラマを制作，12月に『使えるテレビ　ザ・ディレクソン』の「独立国新潟」を放送した。

『新潟ニュース610』で，12月に長岡，３月に南魚沼でキャラバンを行い，視聴者と直接ふれあうとともに地域の魅力を伝えた。

**〔甲府局〕**

10月の衆議院議員選挙では，山梨２区で自民党系の２候補が保守系無所属どうしで争う分裂選挙となるなど注目を集めたが，開票速報特番では，解説を交えて詳しく伝えた。

災害報道では，７月の台風３号から衆議院議員選挙と重なった10月の台風21号までの台風，１月と２月の大雪の際など，テレビ画面にL字型に字幕を流すL字放送をいち早く開始，特設ニュースなどと併せて情報をきめ細かく伝えた。

平日夕方のニュース情報番組を11年ぶりにリニューアルし，新番組『Newsかいドキ』をスタートさせた。NHKスクープBOXの投稿映像を活用したり，県内全27市町村を回って地域の話題を取り上げたりするなど内容の充実を図った。

『ヤマナシQUEST』では，地域の課題を掘り下げて放送。５月には，果樹栽培農家に多い農業事故の現状と解決策を放送，６月には，国の医療費削減による「病院から自宅へ」という方針の中で在宅医療や介護の現状と課題を放送した。12月には，中央道・笹子トンネル事故から５年の節目に，遺族の思い，捜査の状況，老朽化が進むインフラの安全管理など多角的に取材し伝えた。

スポーツでは，山梨県出身の大相撲力士として30年ぶりに幕内昇進を果たした竜電について，地域のニュースで企画や毎日の取組を放送するなど詳しく伝えたほか，サッカーJ1の「ヴァンフォーレ甲府」，女子バスケットボールWリーグの「山梨クィーンビーズ」などを継続的に放送し，地域のスポーツを応援した。

甲府局開局80年記念として，12月に甲府局ハートプラザで「かいラジフェスタ2017」を実施。ラジオの公開生放送と連動して，山梨県にゆかりのあるシンガーソングライター・池田綾子さんのミニライブなどを伝えた。３月には，テレビの公開収録番組『ヤマナシQUEST』「今夜は笑って！山梨がイチバン」を73分の特番として放送した。

**〔横浜局〕**

16年７月に起きた戦後最悪とされる相模原市の知的障害者施設の殺傷事件を踏まえ各部局と連携して専用サイト「19のいのち」を開設，風化を防ぎ，障害者への理解を深める取り組みを始めた。また，取材の過程で分かった事件の詳しい状況や被告の心理状態を全国ニュースや『クローズアップ現代＋』などで伝えた。さらに月１回のシリーズ企画「あすへの一歩」を立ち上げ，障害者の社会参加を見つめるリポートを発信した。

また，横須賀を拠点とするアメリカ第７艦隊のイージス艦の静岡県沖での衝突事故を伝えた。

秋の衆議院議員選挙は台風の通過と重なったが県内18選挙区の当確判定を迅速かつ正確に行った。

**〔前橋局〕**

６月から始まった尾瀬国立公園の総合学術調査

に併せ，尾瀬ヶ原の生態系の変化や環境保全の在り方についてニュースや番組で特集したほか，10月の衆議院議員選挙では県内の開票速報を正確かつ迅速に伝えた。また，災害報道では県内を襲った台風21号による被害の情報をニュース番組やデータ放送などできめ細かく発信した。１月の草津白根山噴火について，１人が死亡，11人が重軽傷を負った被害の状況や地元草津町の様子などを企画やリポートなどにより詳しく報道した。

〔水戸局〕

茨城県が舞台となった『連続テレビ小説』「ひよっこ」に関連する特番やリポートを放送した。また，茨城県知事選挙や衆議院議員選挙などの政見放送・選挙報道に取り組んだほか，継続して関東・東北豪雨や東日本大震災の被災地を取材して現状を伝えた。

『茨城ニュース　いば６』では，横綱の稀勢の里や大関の高安を始め，サッカー「鹿島アントラーズ」「水戸ホーリーホック」，バスケットボール「茨城ロボッツ」などの情報をきめ細かく伝え，県域放送の意義や県内唯一のテレビ放送局としての存在感を示した。

〔千葉局〕

松戸市の女児殺害事件や台風等の緊急報道では中継も交えて状況を詳しく伝えた。東日本大震災から７年の３月11日に「震災とラジオ」をテーマに地元FM局と初の同時生放送を実施した。千葉市長選（５月），衆院選（10月）は迅速に当確を伝えたほか，ツイッターによる開票速報には通常より多くの反響があった。東京五輪・パラリンピックのプロジェクトを発足させ関連のニュースや企画を増やした。FMでサッカー，バスケットボールの地元チームの応援中継やパラスポーツイベントの公開放送を行った。

〔宇都宮局〕

８人が死亡した那須雪崩事故について，継続的に取材し番組を制作した。10月の衆院選では正確・迅速な選挙報道を実施した。日光東照宮を守る漆職人や渡良瀬川の自然と暮らしを見つめた番組などの全国放送番組に加え，県域番組では，難病患者の実話を基にアニメ番組を県内の学生などの技術で制作，「栃木」がBリーグ初代王者に輝いたことを記念する番組などを積極的に制作した。

〔さいたま局〕

10月の豊田真由子元衆議院議員による秘書暴行事件の書類送検や上尾市の市長と市議会議長らによる汚職事件など重要な事件・事故で特報を連発した。『首都圏ネットワーク』での企画シリーズ「超単身時代」などを主導した。５月のさいたま市長選挙と10月の衆議院選挙で全局態勢を構築し，迅速かつ正確な開票速報を実施した。

４月にさいたま市で開催された世界盆栽大会では，海外ロケを含めた企画・番組を７本制作し盆栽の魅力を国内外に発信した。２月に放送した『越谷サイコー～埼玉発地域ドラマ～』に向けてインターネットと連動させた多彩な関連企画を放送した。県域FMでは，地域の魅力を集中的に紹介する「FM特集ウィーク」を16年度に引き続き展開。地域ドラマのプロモーションと連動し，５月の「マイホーム＆タウン物語」，２月の「越谷サイコー」のほか，10月に県内のスポーツ選手を応援する「さいたマッスル」，１月にNACK5とコラボした「ダイスキ埼玉ウイーク」の各事業を計４回実施した。

## ２．地域放送番組

### （１）定時番組

〔ブロック〕

**『ひるまえほっと』　G**

月～金　11:05～11:54

第１回13.4.3／関東地域のみ／関東地方の旬の話題や暮らしに役立つ情報を伝える地域情報番組。月曜は１都６県すべての放送局，火曜から木曜は２局ずつ関東各局と結んで，地域のフレッシュな話題を伝えた。東京からは，生活情報など視聴者の関心が高いテーマを掘り下げるコーナー「@ほっと」を中心に放送した。また，2020年東京パラリンピックに向けた月１回のコーナー「武井壮が挑む！パラスポーツ」を新設。真剣勝負を通して競技の魅力を紹介，ピョンチャンパラリンピックに出場したパラアイスホッケー日本代表の挑戦も伝えた。毎週金曜には旬の魚・野菜・花の情報を伝える「いま旬☆市場」を放送。加えて移転を巡って揺れる築地市場を継続取材し魚河岸文化を支える仲卸の姿を紹介し続けた。おいしい料理を手軽に作る方法を紹介する「かんたんごはん」を放送した。／キャスター：武内陶子アナ／首都圏放送センター

**『首都圏ネットワーク』　G**

月～金　18:10～18:59

第１回97.4.1／関東ブロック（水戸局を除く）／関東地方の視聴者に向けて，その日のニュースと生活情報，首都圏が抱える課題，気象情報などを幅広く伝えるニュース情報番組。

７月の都議会議員選挙では築地移転など都政の課題を検証するとともに小池知事支持勢力が議席

を伸ばし，都政が今後どのように動いていくのか解説を交えて詳細に伝えた。また，10月の衆議院選挙でも小池知事の動向が注目を集めたが，告示日には関東１都６県の全選挙区の候補者を紹介したほか，注目選挙区の構図を含め争点を解説した。首都圏が抱える課題については「シェア（共有）」をキーワードに社会の変化を探る企画や地方銀行の生き残り策，さらに「外国人労働者100万人時代」「超単身時代」など，あらゆる分野に切り込んだ。10月からは2020年の東京五輪・パラリンピックに向けたシリーズをスタート。競技場建設計画やボランティアの確保，選手育成の課題など多角的な視点で企画を放送した。ピョンチャンオリンピック・パラリンピックに関しては都知事や都議会が行った現地視察をリポートし，大会運営など東京オリンピック・パラリンピックの課題を提示した。

台風や大雨，大雪の際は中継や解説を交えて最新情報を伝えるとともに予想される交通機関の影響などを伝えた。さらに都心など雪に慣れていない地域の人たちのために「雪道での歩き方」を解説したVTRを放送した。また，猛暑が続いた夏は，連日，熱中症の予防策をあらゆる角度から伝えた。視聴者が今，知りたいことは何か？　アンテナを広く張って取材を展開する「東京遊軍」の取り組みも継続した。九州北部豪雨災害の際はボランティアなど現地支援の方法や都内で豪雨災害が起きた場合の避難所の受け入れ態勢など「災害はいつどこで起きるか分からない」ということを念頭に置き放送した。このほか「野菜価格の高騰」や「広がるスニーカー通勤！」などといったテーマで東京のきめ細かい情報を発信した。詐欺の被害を減らす目的で始めた「私はだまされない」も継続。きょうまさに詐欺の電話が集中している地域を示し「詐欺警報」として伝え注意喚起した。／キャスター：山田大樹・合原明子アナ／首都圏放送センター

**『金曜イチから』　G**

金　19:30～20:00
㊫土　10:55～11:25

第１回17.3.17／17年度から始まった『金曜イチから』では，暮らしに身近な話題から事件･事故，自然災害に至るまで，いち早く視聴者と一緒に考えていくテーマを取り上げた。「東京都議会議員選挙」では，注目選挙区や都議会の役割など，都議選の見方を伝えた。１月の「草津白根山の噴火」では，多くの火山が存在する関東甲信越で予期せぬ噴火にどう備えるかを取り上げるなど，首都圏に暮らす人たちが直面する課題を発信した。／キャスター：松田利仁亜アナ／首都圏放送センター

**『金曜イチからスペシャル』　G**

（最終）金　19:30～20:43
㊫（最終）土　10:05～11:18

第１回17.4.28／関東甲信越ブロック／関東甲信越の視聴者に，金曜夜73分というワイドな枠で「地域に密着したテーマ」を「親しみやすい演出」で伝えた。インバウンドに沸く関東の穴場スポットや多様化する住まいの最新事情，2020年に向け熱を帯びるパラスポーツの魅力，豊洲に移転する築地市場の粋な世界，さらには関東甲信越の旬の食材や文化を訪ねる旅など，多彩なラインアップで地域サービスの向上を目指した。（年７本）／首都圏放送センター

**『首都圏ニュース845』　G**

月～金　20:45～21:00

第１回96.4.1／関東ブロック（水戸局を除く）／きょう一日の首都圏のニュースや話題をまとめてコンパクトに伝える15分番組。帰宅したサラリーマン向けに「プロ野球」速報を新設。気象情報については，花粉症情報や熱中症情報など生活情報も交えてたっぷりと時間を取って伝えた。／キャスター：高井正智アナ／首都圏放送センター

**〔長野局〕**

**『ひるとく』　G**

月～金　11:45～12:00

昼前のひとときにちょっと得した気分になる情報を届けようという番組。信州のイベントや食，音楽など，さまざまな話題を紹介。17年度は，県内の旬の食材とそれを使った料理などを紹介するコーナーを新設した。

**『イブニング信州』　G**

月～金　18:10～18:59

県内で起きたさまざまなニュースや話題を伝える夕方の地域情報番組。９月の御嶽山噴火３年・県防災ヘリ事故半年，１月の軽井沢バス事故２年といった大災害・事故の節目に，遺族の思いや地域の影響・捜査の進捗（しんちょく）状況など，多角的な報道を展開した。また，18年が長野オリンピック・パラリンピック開催20年になることを捉え，大会の遺産（レガシー）が地元にどのように息づいているかを多角度から検証するシリーズを放送。各方面から高い評価を得た。２月のピョンチャンオリンピックで，信州ゆかりの選手の活躍，地元の応援の様子などを分厚く伝えたほか，郷土出身の力士・御嶽海の取組を詳細に紹介するなど，スポーツ

の話題もさまざまな角度から取り上げた。さらに，９月の衆議院議員選挙をはじめとする各種選挙，全国的にも珍しい取り組みとして11月から始まった喬木村の夜間・休日議会など，地域の関心の高いニュースを分かりやすく，深く伝えた。

**『知るしん。』　G**

金　19:30〜20:00ほか

放送開始11年目になる金曜夜の番組。旧日本陸軍の細菌戦部隊「731部隊」の元隊員・家族の証言など，深い取材に基づく特集を伝えたほか，信州の自然や郷土出身の力士・御嶽海の活躍など，さまざまなジャンルの番組を発信した。祭りの花火を集落総出で作っている地区を訪ねた11月の番組や，老舗旅館の女将が推薦する信州の名湯を取り上げた12月の番組など，郷土の魅力を紹介した。

**『信州845』　G**

月〜金　20:45〜21:00

信州のきょう１日が分かるローカルニュース。

**『ゆる〜り信州』　R1**

月〜金　16:55〜18:00

くつろいだ雰囲気の中で，信州の旬の話題を紹介するとともに，防災・減災に役立つ情報を伝えようと15年４月に立ち上げたラジオ番組。地域で防災活動を行っている人・団体を定期的に取り上げ，11月は「地震」と２月は「雪害」をテーマに２時間の特集番組を制作した。

**『ニュース』　R1**

月〜金　18:50〜19:00

長野県のきょう１日を伝えるラジオのニュース。

**〔新潟局〕**

**『お昼はじょんのび　くらし情報便』　G**

月〜金　11:40〜12:00

青果・鮮魚・花の市場情報，英会話，体操や視聴者投稿の川柳コーナーなど食・健康・趣味などの生活に密着した情報を紹介したほか，展覧会や祭りなどイベントのお知らせを伝えた。

**『新潟ニュース610』　G**

月〜金　18:10〜19:00

県内で起きたニュースや話題を中継やリポート，スタジオ解説などでさまざまな角度から分かりやすく伝えた。インタビュー，スポーツ，旅，ケーブルテレビ便りなどの企画コーナーを継続した。また，衆議院選挙や原発再稼動に向けた動きなど県民の関心の高いニュースを丁寧に伝えた。16年度と同様，懐かしい過去の映像と音楽で新潟の昔と今を見つめる「新潟ヘリテージ」を放送し，年度末にはアンコール総選挙を行った。

**『金よう夜きらっと新潟』　G**

金　19:30〜19:58
㊐水　11:05〜11:33

原発再稼動の検証や外国人観光客をターゲットに地域活性化に取り組むドキュメンタリー番組。大雪により立往生したJR信越線の背景や，研修医の過労死から医師の働き方を検証した番組，外国人の視点から新潟の魅力を掘り下げる番組，魅力的な生き方をしている新潟在住の人に焦点を当てた番組，新潟の恵まれた自然・文化を伝える紀行番組など，地域に根ざした幅広いテーマの番組を制作した。

**『新潟ニュース845』　G**

月〜金　20:45〜21:00

新潟県内の１日の動きが分かるニュースや気象情報を伝えた。

**『にいがた　ゆうどきラジオ』　R1**

（最終）金　16:55〜17:58

大学教授など防災分野の専門家に聞く「おしえて！防災せんせい」や，各地の旬な情報を電話インタビューで伝えるコーナーなど，生活に役立つ知識を新潟にゆかりのあるゲストを招いて音楽とともに伝えた。

**〔甲府局〕**

**『かいなび』　G**

月〜金　11:45〜12:00

甲斐の国の生活ナビゲーションから名付けた『かいなび』。簡単な料理の作り方に旬の食材，各地の話題や役に立つ写真の撮り方など生活密着型の情報番組。夕方のニュース情報番組とも連動し，地域情報を発掘・発信した。

**『Newsかいドキ』　新　G**

月〜金　18:10〜19:00

山梨県（甲斐）の“いま”を掘り下げ，ライブ感とともに伝えるニュース情報番組。県内ニュースや動きをリポート，解説，中継など多角的に伝えるとともに，「NHKスクープBOX」に投稿された映像も積極的に活用した。また，リニア中央新幹線開業に向けた動きや課題を伝える特集「リニアまで10年」，さまざまな詐欺への防止を呼びかける「ちょっと待て！それは詐欺」，アナウンサーやキャスターが県内全27市町村の話題を取材する「ぐるっと　やまなし　いってみ隊」，NHKが保管する過去のフィルムやビデオから山梨県の歴史を振り返る「あの日の山梨」などのコーナーを放送した。山梨県出身の大相撲力士として30年ぶりに幕内昇進を果たした甲府市出身の竜電，サッカーJ1の「ヴァンフォーレ甲府」，女子バスケッ

トボールWリーグの「山梨クィーンビーズ」のほか，東京パラリンピックを目指す陸上・走り高跳びの鈴木徹選手についても継続的に伝えた。

**『ニュース山梨845』　G**

月～金　20:45～21:00

山梨県内の１日のニュースや気象情報をコンパクトに伝えた。

**『ヤマナシQUEST』　G**

（第１）金　19:30～20:00

地域の課題を取材し解決の糸口を探るものや，地域の魅力や価値を掘り下げて発信するものなど８本放送した。５月には，果樹栽培農家の多い山梨県で農作業中の事故が全国的にも際立っている現状と解決策を取材した「どう減らす“農業事故”」，６月には，医療費削減のため「病院から自宅へ」という国の方針の中，山梨県では退院できる患者の約７割が家族による支援が困難などの理由で自宅に帰れない実態を追った「“超高齢社会”どうする？在宅医療・介護」，中央道・笹子トンネル事故から５年の12月には，遺族の思い，捜査の状況，老朽化が進むインフラの安全管理など多角的に取材した「教訓は生かされたか」を放送した。農作物の獣害に悩む地域で中学生が試行錯誤しながらサツマイモを作る体験学習を継続取材した「けもの撃退！大作戦」。月１回，『Newsかいドキ』で放送した総集編を12月に放送した。また，開局80年記念として公開収録した「今夜は笑って！山梨がイチバン」を73分の特番として３月に放送した。

**『ニュース・天気予報・おしらせ』　R1**

月～金　18:50～19:00

県内の１日のニュースのまとめと気象情報，防災メモなどを伝えた。

**『かいラジ』　R1**

（最終）金　17:00～17:55

防災に役立つ情報をはじめ，観光情報，地域活性化の取り組みなど，山梨の明日を考えるヒントとなるラジオ番組。毎回，リクエスト音楽や，テーマに対するお便りなどリスナーとつながる放送で，年間６本放送した。

**〔横浜局〕**

**『横浜サウンド☆クルーズ』　FM**

月～金　18:00～19:00

神奈川ゆかりのアーティストをゲストに音楽情報，地域情報などを幅広く発信するトーク番組。毎月最終水曜に横浜放送会館で行っているジャズライブ公開生放送には，毎回300人以上のリスナーが参加。新設のJポップライブも４回開催した。７月には３日間，鎌倉・由比ヶ浜に出張スタジオを開設，公開生ライブや地域で活動する人たちの取り組みなどを放送した。また，中継コーナーでは，Bリーグの県内ダービーが行われる試合会場からファンたちの熱気を伝えるなど，県内各地の“今”を伝えた。

**〔前橋局〕**

**『ほっとぐんま640』　G**

月～金　18:40～19:00

第１回12.4.2／県内のニュースを中心に，身近な情報をきめ細かく伝える，生活に役立つニュース情報番組。「好きです。群馬」をキャッチフレーズに群馬の魅力を発掘・紹介した。また，12月には中継「冬のキャラバン」（太田市，みどり市）を実施した。

**『ふれあい歌謡ステージ』　FM**

7.13，8.23，9.21／14:00～16:00

日本を代表する温泉地の渋川市伊香保と草津町，尾瀬の玄関口の片品村で開催された歌謡曲コンサートを収録・放送した。

**〔水戸局〕**

**『いばっチャオ！』　G**

月～金　11:40～12:00

第１回15.3.30／料理や健康など暮らしに役立つ生活情報に，リポートや中継をふんだんに交えて伝える公開生放送番組。特に「いばらキッチン」「いばカル」「おでかけしチャオ！」など生活に役立つ情報を紹介した。また，学校単位で見学に訪れる小学生たちの学校自慢などを生き生きと伝えた。

**『茨城ニュース　いば６』　G**

月～金　18:10～19:00

第１回15.3.30／その日の茨城県のニュースを中心に，徹底した取材と多角的な視点でその背景や原因を追求するとともに，問題点や解決策を探っていくニュース情報番組。17年度は，茨城県が舞台となった『連続テレビ小説』「ひよっこ」に関連した特集，リポートを放送した。

**『茨城ニュース845』　G**

月～金　20:45～21:00

第１回04.10.1／茨城県のその日の出来事を，気象情報と併せてコンパクトに伝えた。

**『いばラジカル』　FM**

（年10回）土　11:00～11:50

第１回15.4.11／「いばら」き愛を「じ」っくり「か」た「る」ラジオ。通称「いばラジカル」。茨城ゆかりのゲストを招いて，熱いトークを繰り広げた。また，防災コーナーを設け，FM放送が

災害時に迅速かつ有益な情報を提供できるメディアであるという周知も図った。

〔千葉局〕

**『ひるどき情報ちば』　FM**

月～金　11:00～12:00

音楽とともに暮らしに役立つ情報や地域の魅力を伝える番組。県内のニュースを記者が詳しく解説する「ニュースアップちば」，各地の神社の知られざる魅力を紹介する「神社旅」，アナウンサーが自転車で県内を巡り地域の魅力を伝える「自転車旅」など多彩なコーナーを届けた。10月から週１回ロビーに面したスタジオにゲストを招き放送したほか，年末スペシャルとして「ひるどき川柳」の公開生放送を実施しリスナーとの交流を図った。

〔宇都宮局〕

**『とちぎ640』　G**

月～金　18:40～19:00

第１回12.4.2／関心の高い事件・事故をはじめ，その日の出来事をとことん掘り下げ分かりやすく伝える県域ニュース番組。毎週月・金曜の「スポーツ情報」では県内のプロスポーツチームの話題を中心に取り上げた。火曜の「とちぎ情報」では地域の話題や暮らしに直結する情報を紹介した。このほか，山々をはじめ県内の豊かな自然の魅力や楽しみ方を紹介する「トレナビ！」や，私達の身近にあるモノを製造している県内の工場に潜入・紹介する企画「とちぎ再発見ニドミ」をシリーズで伝えた。

**『ときめきとちぎ』　G**

金　11:30～12:00

第１回12.4.6／週末のお出かけ情報や地元食材を生かした料理や健康づくりなど，暮らしに役立つ多彩な情報を伝える地域情報番組。地域の人たちがスタジオ出演をして地元のイベントを紹介するコーナーでは，県内全25市町が参加し，自治体や地域団体との関係を強化した。

〔さいたま局〕

**『日刊！さいたま～ず』　FM**

月～木　18:00～18:50

埼玉にゆかりのあるゲストを迎え，暮らしの知恵やイベント情報などを伝えるとともに，特定のテーマや地域の話題を掘り下げる集中編成を年４回行った。また「防災ワンポイント」のコーナーを新設し災害への備えを啓発した。

**『週刊☆サッカー王国』　FM**

金　18:00～18:50

「浦和レッズ」と「大宮アルディージャ」の試合分析や展望を軸に，コメンテーターの解説と聴取者からの投稿メールを交えてサッカー情報を伝えた。

**（２）特集・特別番組**

〔長野局〕

**『山の信州　夏旅スペシャル』　G**

7.28／20:00～20:43

**『知るしん。信州を知るテレビ』「撮るしん。10周年ありがとうスペシャル！」　G**

12. 1／20:00～20:59

〔新潟局〕

**『新潟ニュース610　長岡キャラバン』　G**

12. 4／18:10～18:59

**『金よう夜きらっと新潟』「原発のまちで　いま何が～柏崎刈羽原発　運転停止から５年～」　G**

12.15／19:30～19:58

**『新潟ニュース610　南魚沼キャラバン』　G**

3.16／18:10～18:59

〔甲府局〕

**『ヤマナシQUEST』「今夜は笑って！山梨がイチバン」　G**

3. 2／19:30～20:43

**『かいラジ　12月号～NHK甲府放送局開局80年SP！』　R1**

12.16／13:05～13:55，14:05～14:55

〔横浜局〕

**『NHK横浜　スペシャルジャズライブ』　FM**

10. 7／14:00～18:00

〔前橋局〕

**『ぐんまスペシャル』　G**

「尾瀬～私たちに何ができるのか～」

7.14／19:30～20:00

「草津白根山噴火　教訓をどう生かすか」

3.16／19:30～20:00

〔水戸局〕

**『茨城スペシャル』　G**

「プロレスに生きる～夢を託したドロップキック～」

4.21／19:30～20:00

「NORAGI　CONTEST」

5.19／20:00～20:43

「『ひよっこ』の舞台　茨城“県北（ケンポク）”」

7. 7／19:30～20:00

「私たちが見つけた“昭和”～あの頃（ころ）のひよっこたち～」

8.18／19:30～20:13

「茨城の課題にどう向き合う？～茨城県知事選当選者に聞く～」
9. 1／19:30～20:00
「“若い広場”に全員集合スペシャル　～ひよっこ紀行　総集編～」
11.17／19:30～20:00
「クイズ茨城王決定戦！」
12.26／18:10～18:45

**『2017　いばスポハイライト』　G**
12.25／18:10～18:45

**〔千葉局〕**

**『千葉県少年少女オーケストラ　第21回定期演奏会』　FM**
4.16／14:00～15:30

**『若い芽のαコンサート』　FM**
7. 2／14:00～15:30

**『パラスポ！！@チバ』　FM**
8.26／11:00～11:50

**『生中継！！パラスポーツフェスタちば2017』　FM**
9. 2／11:20～11:50

**『ベイサイドジャズ2017千葉』　FM**
10. 7／11:00～11:50

**『NEXT RADIO～防災トーク＆ライブ～』　FM**
2.17／14:00～14:50

**『NHK千葉FM　×　bayfm同時生放送「震災とラジオ」』　FM**
3.11／ 9:30～11:20

**〔宇都宮局〕**

**『とちスペ』　G**
「Bリーグ初代王者　おめでとう！栃木ブレックス」
6. 2／20:00～20:45
「トライ　～難病ALSと向き合って～」
6. 9／19:30～20:33
「トレナビ！スペシャル　～コレ、本当に登るんですか？～」
10.13／20:00～20:43
「世界へ羽ばたけ！栃木の若きアスリート」
1. 5／19:30～19:57
「漆に生きる　日光東照宮　塗師　佐藤則武」
3. 2／19:30～20:15
「なぜ悲劇は起きたのか～検証･那須雪崩事故～」
3.27／19:32～20:00

**『親子で楽しむ！“うごく絵本”の朗読会』　FM**
12.25／18:00～18:50

**〔各局共通〕**

**『NHK全国学校音楽コンクール』**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 東京都 | FM | 中学校 | 8.29／14:00～16:40 |
| | | 小学校 | 8.30／14:00～15:50 |
| | | 高等学校 | 8.30／15:50～18:50 |
| 長野県 | G | 小・中学校 | 8.28～ 9. 1／18:10～19:00（『イブニング信州』内） |
| | FM | 高等学校 | 8. 4／18:00～18:50 |
| 新潟県 | FM | 小学校 | 8.27／14:00～15:00 |
| | | 高等学校 | 8.27／15:00～17:00 |
| | | 中学校 | 8.28／14:00～16:40 |
| 山梨県 | FM | | 8.28～ 9. 1／18:00～18:50 |
| 神奈川県 | FM | 小学校 | 8.28／14:00～16:13 |
| | | 中学校（１） | 8.29／14:00～16:40 |
| | | 中学校（２） | 8.30／14:00～16:40 |
| | | 高等学校 | 8.31／14:00～17:31 |
| 群馬県 | FM | | 8.24／14:00～16:40 |
| 茨城県 | FM | 小学校・高等学校 | 8.22／ 9:20～11:00 |
| | | 中学校 | 8.23／ 9:20～10:40 |
| 千葉県 | FM | 小学校（予選） | 8.21～24／10:00～11:00 |
| | | 中学校（予選） | 8.21～23／18:00～18:50 |
| | | 小・中・高等学校（本選） | |
| | | 高等学校 | 8.26／ 9:00～11:00 |
| | | 小学校 | 8.27／ 9:00～11:00 |
| | | 中学校 | 8.27／14:00～15:50 |
| 栃木県 | FM | 小・中・高等学校 | 8.21～24／18:00～18:50 |
| 埼玉県 | FM | 小・中・高等学校 | 8.30／14:00～18:00 |

## ３．スポーツ中継

**〔高校野球〕**

全国高校野球選手権大会・地区大会

| | | |
|---|---|---|
| 東京都 | 西東京大会・決勝 | G・R1／ 7.30 |
| | 東東京大会・決勝 | G・R1／ 7.29 |
| 長野県 | 準決勝 | G・E・R1／ 7.22 |
| | 決勝 | E・FM／ 7.24 |
| 新潟県 | 準決勝 | G・E・R1／ 7.22 |
| | 決勝 | G・R1／ 7.26 |
| 山梨県 | 準決勝 | G・E・R1／ 7.22 |
| | 決勝 | E・R1／ 7.23 |
| 神奈川県 | 準決勝 | FM／ 7.28 |
| | 決勝 | FM／ 7.29 |

| | | |
|---|---|---|
| 群馬県 | 準決勝 | FM／ 7.26 |
| | 決勝 | G・FM／ 7.27 |
| 茨城県 | 準決勝 | FM／ 7.25 |
| | 決勝 | G・FM／ 7.27 |
| 千葉県 | 準決勝 | FM／ 7.24 |
| | 決勝 | G・FM／ 7.25 |
| 栃木県 | 準決勝 | FM／ 7.22 |
| | 決勝 | G・FM／ 7.23 |
| 埼玉県 | 準決勝 | FM／ 7.24 |
| | 決勝 | G・FM／ 7.27 |

秋季高校野球・県大会

| | | |
|---|---|---|
| 長野県 | 決勝 | R1／10. 1 |
| 新潟県 | 準決勝 | R1・FM／ 9.23 |
| | 決勝 | R1／ 9.24 |
| 山梨県 | 準決勝 | R1／ 9.30 |
| 茨城県 | 準決勝 | FM／ 9.30 |
| | 決勝 | FM／10. 1 |

秋季高校野球・関東地区大会

準決勝　横浜・水戸・千葉局　FM／10.27

決勝　横浜・水戸・千葉局　FM／10.28

**〔サッカー〕**

サッカーJ1リーグ

| | | |
|---|---|---|
| 「甲府」×「新潟」 | 新潟・甲府局 | G／ 4.16 |
| 「新潟」×「札幌」 | 新潟局 | G／ 5.20 |
| 「柏」×「鹿島」 | 千葉局 | FM／ 7. 2 |
| 「甲府」×「神戸」 | 甲府局 | G／10.29 |
| 「新潟」×「甲府」 | 新潟・甲府局 | G／11.18 |

サッカーJ2リーグ

| | | |
|---|---|---|
| 「水戸」×「群馬」 | 水戸・前橋局 | G／ 9.24 |
| 「新潟」×「松本」 | 新潟局 | G／ 3. 3 |

第97回天皇杯全日本サッカー選手権　地区大会

| | | | |
|---|---|---|---|
| 長野県 | 決勝 | 長野局 | E／ 4. 8 |
| 新潟県 | 決勝 | 新潟局 | E／ 4. 9 |
| 山梨県 | 決勝 | 甲府局 | G／ 7.31 |
| 茨城県 | 決勝 | 水戸局 | G／ 4. 9 |
| 山梨県 | 決勝 | 甲府局 | E／ 1.29 |

**〔バスケットボール〕**

Bリーグ

「千葉」×「東京」　千葉局　FM／ 2.17

B2リーグ

「茨城」×「愛媛」　水戸局　G／12. 9

**〔プロ野球〕**

「横浜DeNA」×「巨人」　横浜局　FM／ 4. 5

「横浜DeNA」×「オリックス」　横浜局　FM／ 6.17

「横浜DeNA」×「ヤクルト」　横浜局　FM／ 9. 5

# Ⅱ．技　術

**〔長野局〕**

５月19日，飯山市で土砂崩れが発生，現場に太陽光発電と無線ブロードバンドを用いたロボットカメラを設置し，NHKニュース防災アプリなどでライブ映像を24時間配信した。６月25日，県南部で震度５強の地震が発生，木曽町へCSKやニュースカー，名古屋局ヘリが出動し中継および伝送を実施，９月まで木曽福島FPU基地局に無線ブロードバンドを用いたロボットカメラを設置した。

10月23日，台風21号により中継放送所７か所が同時に停電，軽井沢中継放送所では，83時間に及ぶ長時間の停電となりリース発電機により電源を確保した。10月，戸倉上山田FM，11月，飯田TV，大鹿FM中継放送所の放送機を更新，大町市葛のNHK共聴光化改修工事を完了，受信点を変更し冬期の保守を軽減し安定性を高めた。

８月のNHK合唱音楽コンクール小・中学校の県大会は，ENGカメラで収録しダイジェストで放送した。10月22日の衆院選開票速報では，CSやFPUの伝送設備に加え光IP回線を設け，合計９か所の生中継態勢を整えた。10月29日，長野市長選では光IP回線を用いたスルー伝送回線を構築した。

12月１日，10年目を迎えた双方向データ番組「撮るしん。SP」は，過去最大3,642人の参加者数を記録し，PCとスマホによる参加が増加した。また，県内で初のNHKワールドTVの再放送をテレビ松本ケーブルビジョンが開始した。１月１日放送の『2018年新春！ニッポン“にぎわい”リレー！』では，小布施町から綱渡りに似たスポーツ，スラックラインの話題を全国に中継した。更新されたNHK-民放素材交換サービスを利用し，ピョンチャン五輪メダリストのパレードのもようを県内民放へ配信した。２月，長野五輪20周年事業としてピョンチャン五輪SHV受信公開を長野駅で実施した。期間中１万7,000人を超える来場者が訪れた。

11月19日，全国に先駆けてニュース送出設備を更新した。報道設備であるため円滑に設備と運用を移行する必要があり，動作確認と修正を重ね無事に完成した。11月，CS受信アンテナを更新，融雪装置付き2.4mのカセグレン方式で水平偏波

受信も可能となった。11月１日，美ヶ原連絡無線基地局のUHF連絡無線を更新した。築20年を超えた長野放送会館の電源，空調，消防設備などのインフラ設備の老朽化更新を実施した。

〔新潟局〕

地域の安全と安心を守る情報拠点として，災害による障害発生時でも放送を継続できるように放送ネットワーク設備の機能強化を図った。弥彦山テレビFM基幹放送所では，FM放送機の完全二重化更新工事やテレビ予備送信アンテナを整備した。また，塩沢テレビ中継局では，固定回線化整備工事やNHK共聴施設のフェージング障害対策を推進して，安定した放送電波を確保した。

津波発生時の浸水被害からCSKを守るための高台退避用の車庫が８月に完成。災害時における情報発信機能の維持に努めた。

新潟市の玄関口である新潟駅万代口側のホテル屋上にロボットカメラを設置。大雨や台風による交通への影響を伝えるニュースで活用した。

７月の度重なる豪雨被害では，河川が氾濫して県内各地で土砂崩れが発生。１月は数十年に一度の寒波による大雪で，信越線の立往生や佐渡島での大規模断水が発生。機動力があるIP中継をはじめCSK中継やヘリ取材など，それぞれの特徴を生かして迅速で的確な災害報道を行った。

新潟局独自の４K制作によるニュース企画「新潟ヘリテージ」のイベントでは，８K受信公開用のモニターを利用して，SHVの魅力を伝えるVTRの上映やSHVに関する技術的な解説を実施するなど，SHVの本放送開始に向けた普及促進活動を行った。加えて，ピョンチャンオリンピック放送に併せた８K受信公開を上越ケーブルビジョンと協力して，CATVのイベントホールで開催した。

CS活動の取り組みとして，放送体験クラブや公開番組に連動したフォトサービスを実施したほか，年末には番組作りに協力した人々のメッセージを収録してスポット番組を制作，『2017ありがとうスポット』として放送した。

〔甲府局〕

安心安全の情報拠点として，富士山噴火に備えたロボットカメラの整備では17年度は「三ッ峠ロボカメ」をロボモニシステムに接続して東京で24時間収録監視できる体制を整えた。放送網の強化として，坊ヶ峯テレビ／FM基幹放送所の発電機更新と地下タンク増量工事により非常時でも10日以上の電源確保・電波確保を可能とした。放送電波の安定確保に向けては，丹波山テレビ中継局と富士吉田ラジオ中継局の放送機２台化更新を実施した。NHK共同受信施設の大規模改修FTTH化工事を３施設にて完了し安定で良質な受信環境の整備に努めた。放送設備の整備では，ニュース送出設備の基幹部分（電子台本・静止画・動画）の更新により，16年度整備のファイルベースシステムとのファイルを使ったデータ交換の親和性が向上し，より迅速なニュース制作を可能とした。18年12月１日の４K･８K本放送開始に向けた普及活動として「山梨テクノICTメッセ2017」（11月）にてスーパーハイビジョン（以下SHV）受信展示を開催すると同時にSHVに関する「放送新技術セミナー」を開催し，県内の電気店や電気工事店，CATV局へのSHV理解促進と普及に取り組んだ。甲府局１階ハートプラザ内のSHV受信システムを活用してピョンチャン五輪の受信公開に重点的に取り組み，日本人アスリートの活躍など迫力ある映像と圧倒的な臨場感の音声とともに，SHVの魅力を体感してもらった。CS活動としては「NHKのど自慢」ふれあい隊活動や放送体験クラブ，「かいラジフェスタ2017」などで放送の裏側を見たり実際に番組制作を体験，新たな技術にも直接触れるなどして視聴者満足度向上に貢献した。

〔横浜局〕

毎年10月に行っている「横濱JAZZプロムナード」４時間公開FM生放送では，衆議院選挙政見放送収録日程と重なったが，通常使用している汎用スタジオ・副調を使用せず，公開スペースと音声中継車と，FM副調を利用するなどスペースを工夫することにより公演を中止・延期することなく実施し視聴者サービスに貢献した。

設備整備では，箱根大涌谷噴火口を見渡せる位置にロボットカメラ（通常カメラ，高感度カメラ，遠赤外線カメラ）と取り付け用のやぐらを整備し，災害ニュース報道での使用に備えた。また，局内アート送出サーバーを更新し，従来の作業場所付近にあった機器をラック室にまとめすっきりとしたシステムとした。

放送設備の信頼性向上を図るため，県内最大規模のテレビ中継局である平塚局の放送機を最新型の14形放送機に更新した。また，老朽化したNHK共同受信施設について，17年度は５施設の光化更新工事を実施し，県内86施設のうち41施設で光化が完了した。

放送ネットワーク強じん化の一環として，これまで夏場を中心に電波が不安定になることのあった仙石原テレビ中継局の受信アンテナを増設し放

送の安定化を実現した。

FM公開番組の会場でSHVの展示を行い，多くの来訪者にSHVの魅力を体感してもらい，SHVの認知度を高めた。

〔前橋局〕

迅速な防災・減災報道対応に備え，群馬県と協議を重ねLアラートの開始に向け，機材等の準備を進め，運用を８月から開始した。噴火警戒レベル対象となった「日光白根山」に火山監視用のウェブカメラを設置し監視態勢を強化するとともに，昼前の気象情報でも映像を使用し地域情報発信でも活用した。９月の『おはよう日本』祝日特集では，可搬型CSPを使用し17年ぶりの尾瀬からの生中継を行い，自然豊かな尾瀬の今を全国に発信した。

送信設備では，県内で最も重要な放送所「前橋TV（二ッ岳）基幹局」の送信機更新工事を行い，信頼性向上を図った。老朽したNHK共同受信施設の光ファイバーによる改修（FTTH化）を10施設実施した。スーパーハイビジョン放送の18年12月の本放送開始に向けて，９月にのど自慢予選会会場にて８K試験放送展示を行うとともに，１月には家電販売店・電気工事店対象セミナーを開催した。

〔水戸局〕

８月の県知事選挙や10月の衆議院議員選挙で開票速報を実施。７月には高校野球県大会（水戸市民球場），９月にはJ2リーグ（ケーズデンキスタジアム水戸），12月にはB2リーグ（池の川さくらアリーナ）の試合を生中継した。スポーツ中継では，４Kとハイビジョンの一体制作でスーパーハイビジョン（SHV）にも取り組んだ。『茨城ニュース　いば６』や年末ハイライトでは，双方向連動データ放送を活用し新しい技術を導入した番組制作を実施。また，公開番組・地域イベントと連動したCS活動や自治体訪問などを通し県域放送受信率の向上に尽力した。

地震，台風などの緊急時に中継・特設ニュースをはじめ，L字放送など，きめ細かい情報を迅速に発信し「安全・安心」を届ける公共放送の使命を果たした。『連続テレビ小説』「ひよっこ」の放送に併せ，ドラマの舞台となった大子町に季節天カメを設営し全国に発信した。新運行装置更新工事は，据え付け工事を終え１月にカットオーバーし運用を開始した。会館の空調工事は98日間にわたる更新工事を実施。20年に１度の大がかりな工事を無事完了。スタジオ照明は全てLED化し大幅な省エネに貢献。日立FPU基地局や会館天カメの更新を完了した。

日立神峰中継局では14年度の自家発電装置の導入に伴い，標準BFを短時間BFにて更新した。常陸鹿島中継局では自家発始動用蓄電池を更新しそれぞれ停電時の電波の安定運用を確保した。会館設備では運行装置更新のためSTL変調器盤を新たなラック室に移設し，伝送信号の品質を確保した。鉾田市で発生している混信障害への対策としてギャップフィラー局を開局した。

〔千葉局〕

松戸女児殺害事件などの緊急報道では衛星伝送車のほか，IP伝送機器も活用し迅速･的確に対応。台風３号，21号の減災報道では館山市から中継を実施した。千葉市長選（５月），衆院選（10月）では告示・投開票日の中継および開票速報を実施した。

テレビ回線を更新整備し，映像の素材送りに加え，素材受けや素材のファイル交換が可能となり，迅速な報道や番組制作態勢の充実が図られた。

テレビ中継局間伝送回線（佐原局-下総光局，鴨川局-鴨川宮局）の安定化のための調査分析を進め，対策手法を確定させた。下総光局では19年度に対策を実施する方向で進めることとなった。

災害時のFM-STL回線の障害に備えて，ワイドバンド送受信機の活用を想定した会館-三山FM基幹局間の空中線設備を整備した。

三山FM基幹局において，20年ぶりの局舎大規模補修を実施した。

NHK共聴85施設のうち，６施設の光化更新を実施しこれまでに41施設で光化が完了した。

いすみ地区DD混信について，NHK共聴３施設の受信点移設対策が終了し，個別受信対策，ギャップフィラー改修対策と併せ２か年の対策計画を完了させた。

定期点検の確実な実施と基本事項の徹底により人為的な放送事故ゼロ13年継続を達成した。

〔宇都宮局〕

『ときめきとちぎ』や『とちぎ640』といった定時番組のほか，『2017衆院選　開票速報』（10.22）や『とちスペ　栃木ブレックス優勝特番』（6.2），『とちスペ　栃木の若きアスリート』（1.5），『さわやか自然百景』「栃木　那須　春から夏」（8.20），『名曲アルバム』「八木節」などの番組制作に技術部として取り組んだ。『とちスペ』の「トライ　～難病ALSと向き合って～」や「漆に生きる」などのMAについては，自局で実施した。

「那須雪崩事故から１か月」（4.27）では現地

から，「台風21号最接近」（10.23）や「関東大雪」（1.22）では会館前から中継を実施した。

季節移動天気カメラにより「宇都宮市の桜」「市貝町の芝ざくら」「日光市霧降高原のニッコウキスゲ」「野木町のひまわり」「日光市竜頭の滝」の魅力を県内外に紹介した。

番組設備関連では，会館の天気カメラおよびFPU基地局の更新，アート送出サーバーおよび電子文字発生装置の更新，全国テレビ回線更新などを実施した。送信設備関連では，羽黒山FM基幹局の受配電盤更新およびUPS整備，会館テレビ非常用送信機の整備，足利FM中継局の屋根防水層更新などを実施した。NHK共同受信施設の光化では「御神楽」「湯西川上」「湯西川下」の３施設を完了した。また，会館鉄塔の塗装を13年ぶりに全面補修した。

SHV普及活動では，放送新技術セミナーを開催し（10.26），県内の電器店や電気工事店，CATV事業者など関係業界の技術者117人が参加した。また，ピョンチャン五輪期間中には栃木県庁でのSHVパブリックビューイング（2.16～25）に対応した。

技術開発では，新技術開発枠で「４K･８Kレンジアシストフォーカスコントローラ」，域内改善研究枠で「置くだけ全天周型お天気カメラUTOM（アトム）２」に取り組んだ。

小山高専からのインターンシップ受け入れ（8.21～25）や今市工業高校（6.27）と栃木工業高校（7.13）への出前授業を実施し，NHKへの理解促進を図った。

安定送出と電波確保に取り組み，人為による放送事故ゼロ７年継続を達成した。

〔さいたま局〕

機能強化関連で，本部回線センターと協力し，堂平FPU基地局でのヘリ受信訓練を毎月実施した。技術職員のスキルアップとともに堂平FPU基地局のヘリ受信可能範囲を把握することで大規模災害時の準備を進めた。４月には非常災害対策総合訓練を実施し，首都直下地震を想定した実働訓練を行い災害への対応を再確認した。

『越谷サイコー～埼玉発地域ドラマ～』関連で，地元FMラジオ局・NACK5との共同番組，越谷市の旧大野邸からFMローカル中継を放送した。秩父市から『NHKのど自慢』，和光市から『夏期巡回ラジオ体操』，FMローカル番組『日刊！さいたま～ず』の中継など地域放送サービスも実施した。

５月のさいたま市長選挙，10月の第48回衆議院議員選挙では，政見放送や開票速報を正確・迅速に実施した。

８Kスーパーハイビジョン試験放送の受信公開は，常設公開を行っているさいたま局ロビーのほか局外にも持ち出し，５月には浦和コルソで大相撲５月場所，２月には越谷レイクタウンでピョンチャン五輪の受信公開を実施した。

NHK共同受信施設の大規模改修工事は，５施設の光化改修工事が完了した。

# Ⅲ．視聴者

## １．広　報

〔長野局〕

17年度は，「Wonderful信州！」を年間テーマに信州の魅力を精力的に発信した。特に「A Peak at Nagano」を掲げた国際放送での集中編成（８月）では，同時期にシンガポールで広報活動を展開し，信州の魅力を現地に広めた。国内でも，各種イベントの他，JR東日本等と連携し県内主要駅やホテル等で広報資材を配布，PR展開をした。

16年度に引き続き『知るしん。信州を知るテレビ』「撮るしん。スペシャル2017」で選ばれた12枚の写真で壁掛けカレンダーを作成，視聴者に抽選でプレゼントし，「撮るしん。展」の実施と併せ幅広い認知につなげた。

局内見学は幼稚園・小学生等の団体が54件，2,177人。一般の団体は７件，302人だった。

〔新潟局〕

企画編成部では若手職員とスタッフが「広報プロジェクト」を立ち上げ，県域番組の『新潟ニュース610』『金よう夜きらっと新潟』の戦略的広報を展開，新たな視聴者の獲得に取り組んだ。内容は①Twitterの活用，②番組ポスターの作成，③ラッピングバスの運行。Twitterについては，キャスターのショート動画の配信を定期的に行い，若者へのアプローチに有効なツールであることを証明した。ポスターは，県内の主要な駅や新潟大学の最寄り駅の構内に掲載すると同時に，サイネージや電照掲示板に応用した。ラッピングバスは，県内で最も乗降者数が多い新潟市内の路線を１年間にわたり運行する。

〔甲府局〕

BS普及のため，BSプレミアムでの『大河ドラマアンコール』「風林火山」，『連続テレビ小説』「花子とアン」の放送PRを重点的に行った。甲府駅

前の立地を生かし会館に巨大横断幕を掲出し，県内最大の「信玄公祭り」（４月）では甲府局キャラクターがパレードに参加して放送PRを行った。また，公開番組の収録会場では，年間を通してポスター掲示を行った。

『Newsかいドキ』では，山梨県に関わるBS番組を紹介する「ハヤミミ」コーナーを継続し，山梨県で収録した『チャリダー★快汗！サイクルクリニック』（BS1）をPRした。

ピョンチャンオリンピック・パラリンピックでは，８K受信公開のPRのため，放送会館周りに横断幕を掲出し，また，甲府駅には当日の受信公開スケジュールを日替わりで掲示した。受信公開会場のハートプラザには18日間で748人の来場者があった。

甲府局ホームページでのPRも展開し，多角的に広報施策を実施した。

**〔横浜局〕**

横浜局で，FM県域放送『横浜サウンド☆クルーズ』の放送やニュース動画の一部，地域ドラマページを公開するなど，音声配信，動画配信のサービスを提供した。この地域情報ライブラリーを充実させることで県内情報を全国に発信した。また，FM番組と連動させた「１万人とつながろうプロジェクト」,「子育て応援キャンペーン」等で，県民により寄り添った広報を展開した。

**〔前橋局〕**

17年の『大河ドラマ』「おんな城主　直虎」の主人公・直虎が後見として育てる井伊直政は，徳川四天王の１人として家康の天下取りを支え，後に初代高崎城主（群馬県高崎市）を務める人物である。ゆかりあるご当地でもあることから，『大河ドラマ』の世界をパネルなどで紹介する「全国巡回展」や直虎・直政をテーマにした専門家による講演会も高崎市で実施し，積極的に番組PRを行った。また，17年度から始まった尾瀬総合学術調査に併せ，前橋局が20年以上前から継続してきた「わたしの尾瀬」フォトコンテスト・写真展の取り組みをニュースや番組と連動させて紹介したほか，３年に１度群馬県で行われる尾瀬サミットの開催に併せ特別写真展を企画するなど，県や地元・片品村とも協力して魅力あふれる尾瀬を積極的にPRした。

**〔水戸局〕**

茨城県が舞台の，17年度前期『連続テレビ小説』「ひよっこ」の開始に併せて，全局態勢で広報活動を展開した。

水戸駅では，中央コンコースに放送開始直前から１か月間，フラッグ広告やアドピラーで「ひよっこ」開始を盛り上げた。また，水戸駅に加えて土浦駅・石岡駅ではサイネージネットワーク広告を掲出した。

16年度から続けていたバス車内放送では，４月から「ひよっこ」茨城編に出演する６人のキャストに月替わりで登場してもらい，「ひよっこ」と「水戸放送局」のPRアナウンスを行った。

５月には，高校生と若手農家がタッグを組み，オシャレで機能性抜群な野良着を披露する独自イベント「NORAGI CONTEST」を開催し，県域番組『茨城スペシャル』にも展開した。イベント終了後，出演者全員で記念撮影。その写真をゲストのSNSで発信してもらい，更なる盛り上がりを図るとともに，放送の視聴誘導につなげた。

「ひよっこ」ご当地サイトでは，『茨城ニュース　いば６』のコーナーで放送した「はばたけひよっこ」の動画を掲載し，「NORAGI CONTEST」や「連続テレビ小説『ひよっこ』ファン感謝祭　最終回をいっしょに見よう！！」のイベントのもようを紹介する等，２週間に１回の更新を続け，通算17万人を超えるアクセスにつなげた。また，17年度はTwitterでの情報発信にも努めた。

**〔千葉局〕**

県域のFM周波数を広く知ってもらうため，キャッチコピーを局内公募で選定し，ロゴを製作，数種類の広報資材の他，旗や名刺など多角的に展開した。

ピョンチャン五輪・パラリンピックの期間中には，会館窓に大型のシールを掲出し，８Kスーパーハイビジョンの受信公開をPR。フィギュアスケートをはじめ，大勢の来館者があり，本放送に向け，認知度は着実に高まった。

**〔宇都宮局〕**

栃木県内の文星芸術大学と協力して制作したアニメ「トライ　～難病ALSと向き合って～」について，同大学にて学生・マスコミを招いた完成試写会を実施した。また，Bリーグイベントではふだんリーチしづらい層をイベントに呼び込むべく，参加者を募るFacebook広告を出稿した。さらに，スーパーハイビジョン（SHV）のPRで，県と協力し，県庁舎にてピョンチャンオリンピックSHV受信公開を実施した。ほか，栃木県関連番組をまとめたPRチラシを随時制作し，地域の放送局として宇都宮局の情報発信を行った。

**〔さいたま局〕**

東京2020に向けて盛り上がる“スポーツ王国”

埼玉県にあって，さいたま局は県内スポーツを応援するキャンペーン「さいたマッスル」を通年で実施。インターネットと独自コンテンツを連動させることで，県民への機運醸成を図り地域社会への貢献を行った。また，安全・安心ラジオの普及を目的に県内FM局・NACK5と連携したイベント事業「埼玉ラジオフェス」を実施。NHKと民放FM局が地域の防災力向上のため関係強化に取り組んだ。

## ２．イベント事業

**〔長野局〕**

『NHKのど自慢』をはじめ６本の全国放送公開番組を実施したほか，信州の魅力を発信する「Wonderful信州！」の一環として葛飾北斎ゆかりの小布施町でイベントを開催。また「撮るしん。展」を銀座NAGANO（東京都）や県内の図書館・美術館等で実施し，信州の魅力を県内外に発信した。「第19回長野マラソン」(4.16)，「第22回長野県サッカー選手権大会・決勝戦」(4.8）などで地域に根ざしたスポーツイベントと連動した視聴者活動を行った。

**〔新潟局〕**

全国放送公開番組として，『民謡魂　ふるさとの唄』（村上市），『NHKのど自慢』（柏崎市），『真打ち競演』（新発田市），『ラジオ深夜便のつどい』（聖龍町）のほか，新潟県では初開催となり，4,500人が来場した『第56回1000万人ラジオ体操・みんなの体操祭』（長岡市）を実施した。

また，視聴者とともに新たなNHKコンテンツを開発する企画「NHKディレクソン」(10.1，新潟市）を地方で初開催し，特設ホームページでイベントのもようを動画で配信したほか，４K映像の魅力とSHVの本放送に向けた取り組みを紹介する企画「初の４K制作『新潟ヘリテージ』上映会」(10.3，新潟市）を実施し，地域のオピニオンリーダーを含む120人が来場した。

**〔甲府局〕**

全国放送公開番組は，『ハートネットTV　めざせ！いきいき長寿』(5.13, 大月市)，『上方演芸会』(6.9，甲州市)，『夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会』(7.27, 市川三郷町)，『民謡をたずねて』(8.25, 富士川町)，『古楽の楽しみ』(9.9, 山梨市)，『NHKのど自慢』(11.26，韮崎市）の６本に加えて，甲府市で有料の『歌謡チャリティーコンサート』(10.13）を実施した。

甲府局開局80年の取り組みとしては，12月16日にR1地域放送『かいラジ』の公開生放送を軸としたイベント「かいラジフェスタ～放送の原点から未来へ～」を甲府局ハートプラザで開催した。８K特別コンテンツの上映やトークショーも行い，550人の来場者を集めた。また，甲府局独自公開収録番組『今夜は笑って！山梨がイチバン』(2.17, 甲府市）を開催し，650人の観客を集めた。

２月には山梨県立美術館で甲府局独自絵画コンクール「NHKギャラリー賞絵画展」を実施し，子どもの絵画2,000点の応募があり，期間中4,000人の入場者があった。

その他，受信料支払者限定の「ガラピコぷ～小劇場」(6.24，南アルプス市)，ハートプラザでは「大河ドラマ『おんな城主直虎』全国巡回展」(５月)，「ぼくの絵わたしの絵展」(８月)，「歳末・海外たすけあい」(12月)，「NHK放送体験クラブ」(１月）を実施。年間を通して，幼児から高齢者まで幅広い年代の視聴者層を対象にしたイベントを展開した。

**〔横浜局〕**

全国放送公開番組は『新･BS日本のうた』(6.15, 秦野市／10.19, 横須賀市)，『キャンパス寄席』(7.1, 横浜市神奈川区)，『NHKのど自慢』(7.23，南足柄市)，『夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会』(8.29，茅ヶ崎市)，『みんなDEどーもくん！』(12.3, 相模原市)，『ふるさと自慢うた自慢』(1.26, 愛川町）などテレビ・ラジオを含めた計９本を県内で実施した。さらに『山本周五郎朗読会』や『NHK横浜スペシャルジャズライブ』『BEACH LIVE in由比ガ浜』『スペシャルジャズライブin相模原』『スペシャルJ-POPライブ』など県域FM公開番組を17本実施した。

現代アートの国際展「ヨコハマトリエンナーレ」(8.4～11.5）と連携し，「ヨコトリLiVE～島と星座とガラパゴス～」(9.1，横浜市西区)，「ヨコトリDANCE」(10.1，横浜市西区）の２本の独自イベントを関連企画として実施し，多くの若者と接触する機会を得た。

その他，受信料支払者限定の「ガラピコぷ～小劇場」を２本，ケーブル事業者との共催イベント「CATVキャラバン」５本を営業部・センターと連携し，視聴者サービスの充実を図った。

また，東京オリンピック・セーリング会場となる藤沢市などと共催で「体感！セーリングの魅力in江の島」(8.27，藤沢市）を実施。３年後に控えたオリンピック開催に向けての機運醸成に努めた。

**〔前橋局〕**

全国放送番組の公開収録として，『新・BS日本

のうた』（4.13，渋川市），『俳句王国がゆく』（6.3，千代田町），『おかあさんといっしょファミリーコンサート』（7.8，桐生市），『夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会』(8.21, 草津町),『NHKのど自慢』（10.1，太田市），『ふるさと自慢うた自慢』（11.3，玉村町），『きらクラ！』（1.28，大泉町）を実施した。

また『ふれあい歌謡ステージ』（7.3，渋川市／8.1，草津町／9.8，片品村），「ふるさとの食　にっぽんの食　群馬県フェスティバル」（10.14～15，前橋市），「尾瀬サミット写真展」（8.30～31，片品村），「第22回わたしの尾瀬写真展」（12.15～20，高崎市／1.12～17，前橋市）を実施した。

このほか『大河ドラマ』関連イベントとして，「大河ドラマ『おんな城主　直虎』全国巡回展」（8.5～6，高崎市），「NHK公開セミナー『おんな城主　直虎』」（10.21，高崎市）などを実施した。

〔水戸局〕

全国放送公開番組では,『NHKのど自慢』（3.25，牛久市）や『みいつけた！』（10.8，つくば市）など，計５本を実施した。

茨城県が舞台となった『連続テレビ小説』「ひよっこ」関連のイベント「NORAGI CONTEST」（5.14，水戸市）では，県内の７つの農家と高校生がタッグを組み，おしゃれで働きやすい農作業着を制作し，コンテストを行った。そのほか「連続テレビ小説『ひよっこ』ファン感謝祭　最終回をいっしょに見よう！！」（9.30，高萩市），「土曜スタジオパーク」（4.15，常陸大宮市），「大学セミナー」（5.31，つくば市）なども実施した。

また「ふるさとの食　にっぽんの食」（10.28～29，土浦市）では，子どもたちを対象とした茨城の食を楽しみながら学んでもらう「食リンピック」を開催。さらに「なっとうどーもくん」クイズ大会やカメラマン体験, 中継車公開などを行い，食育の推進や茨城県の魅力の向上を図った。

〔千葉局〕

全国放送公開番組は『NHKのど自慢』（6.11，流山市），『民謡魂　ふるさとの唄』（1.21，旭市）など計11本を実施した。

県内６つのFM局が連携し３年目の取り組みとなる「FMラジオ共同キャンペーン千葉　NEXT RADIO」（２～３月）では防災をテーマにさまざまな特集番組・イベントを展開し，ラジオの有用性とその魅力を広く発信した。参加６局で災害時連携を目的とした防災プロジェクトを設立したほか，民間FM5局と個別に非常災害時のニュース利用に関する覚書を締結した。

パラスポーツ（障害者スポーツ）の魅力を発信するイベント「パラスポーツフェスタちば2017」（9.2，千葉市）を千葉県・千葉市と共催で実施したほか，「パラリンピアンがやってきた！子どもたちとの交流教室」（7.6，千葉市／12.14，市川市），「パラスポーツ絵画コンクール」（約800点の作品を成田空港他で展示）を展開し若い世代の関心を高めた。

〔宇都宮局〕

『歌う！SHOW学校』（4.28，那須塩原市），『夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会』（8.1，芳賀町),『新・BS日本のうた』（10.12, 鹿沼市),『NHKのど自慢』（1.28，宇都宮市）等，テレビ・ラジオ合わせ６本の全国放送公開番組を実施した。

「NHKこども音楽クラブ」（5.9，上三川町），「NHK障害者スポーツチャレンジひろば」(10.28，栃木市）を実施した。

また，局独自のイベントとして12月３日には栃木県在住の絵本作家の作品をアニメ化した朗読イベント「親子で楽しむ！“うごく絵本”の朗読会」を実施。多くの親子連れでにぎわった。同イベントはFM（栃木県域）で放送した。

〔さいたま局〕

全国放送公開番組は『歌う！SHOW学校』（4.12，東松山市），『新・BS日本のうた』（6.22，加須市），『NHKのど自慢』（10.29，秩父市）など11本を実施した。

教育・こどもイベントとして「ガラピコぷ～小劇場」２本（5.20，ふじみ野市／11.18，さいたま市），「おかあさんといっしょファミリーコンサート」（3.3，川越市）などを実施したほか，スポーツイベントとして「NHKジュニアラグビー教室」（7.8，熊谷市），ケーブル事業者との共催イベントとして「CATVキャラバン」（9.4，所沢市など）など４本を実施した。

さらに「埼玉ラジオフェス」（1.28）を開催し，同イベントは県域FMで生放送した。

## ３．営　業

関越ブロックでは, 経営計画最終年度にあたり，支払率と衛星契約割合の達成に向けて，域内17局・センターと連携し，公募型企画競争方式等による契約・収納業務の外部法人委託の更なる拡大を進めた。17年度は，水戸・宇都宮局で契約締結を行った。

また，多様な戦力の確保や非訪問型の施策を効果的に実施する等，業績確保に資するあらゆる活

動を展開した。

併せて法人委託を中心とした訪問員に対するマナーアップとクレーム抑止を最優先の課題と位置づけ，より実効的な指導・育成施策を展開した。

要員不足により16年を大きく下回る業績進捗（しんちょく）となったが，下半期には要員も充足されたことで，16局・センターで全目標達成ができた。関越ブロック計でも，３年ぶりに全目標達成を果たした。

民事手続きについては，支払督促申立てによる未収者対策，放送受信契約締結拒否者に対する民事訴訟の提起，判決・支払督促確定者に対する強制執行を継続して実施した。また，民事調停の活用も行い，未契約や未収者対策について大きな成果を上げた。

危機管理については，啓もう・研修・監査等を実施することによって営業系セキュリティーガイドラインと個人情報保護の徹底を図るとともに，事件・事故の未然防止に向けて「NHK倫理・行動憲章」に基づくコンプライアンスの徹底を図った。

# 中　　部

## Ⅰ．放　送

### １．放送の概要

#### （１）人々の命と暮らしを守る正確で迅速な報道

大きな被害が想定されている南海トラフ巨大地震や集中豪雨など，自然災害への関心が高まる中，インターネットなどデジタルメディアも駆使して，防災・減災につながる情報を発信した。

愛知県犬山市，岐阜県美濃市などで多発した豪雨や台風など大雨による被害を受け，中部各局と連携した防災特集『ナビゲーションスペシャル』「身近に危機が！“異常豪雨”」（G，9.1）を放送した。頻発する異常豪雨の最新研究と自治体の取り組みを多角的に取り上げ，予測の難しい局地的被害への備えを専門家の解説を交えて伝えた。また，金曜夜７時台の『ナビゲーション』「石碑は警告する～南海トラフ大津波　先人たちの記録～」（9.8）では，三重県に残る石碑や伝承から先人の津波への警告を読み解いて防災につなげた。

大雨など大きな影響を及ぼした台風５号については，各局の地域向け定時ニュースのほか，随時特設ニュースでも大雨による河川の氾濫，土砂災害などへの警戒を呼びかけた。逆L字やデータ放送，インターネットを活用し，きめ細かな情報提供に努めた。また，10月22日の「第48回衆議院選挙」中に中部地方に最接近した台風21号の最新情報を開票速報とともに随時伝えた。

２月初旬から中旬にかけて，この冬最大の寒気が日本に流れ込み記録的な大雪となった。北陸地方を中心に，鉄道や道路，航空などの交通機関に多大な影響を及ぼした。大雪による被害や交通機関への影響，除雪をはじめとする市町村の対応などの情報について，逆L字をはじめ随時特設ニュースで伝えた。

４年目を迎えた，平日午後５時台のラジオ第１の東海３県向け生放送番組『夕刊　ゴジらじ』は，公開生放送も行い，地域ラジオならではのふれあいを深めるとともに，災害時の情報源として「万一のときのラジオ」の定着を目指した。また，金沢局は『じわもんラジオ』，静岡局は『しず☆ラジ！』，福井局は『情報たら福』，富山局は『ラジオ富山人』をそれぞれラジオ第１の平日午後５時台で県域放送した。

### （２）地域のさまざまな問題に向き合い，解決に向けた糸口を考える番組の発信

東名バス事故の一報を全国の特設ニュースで伝えたほか，『ナビゲーション』「徹底追跡！『車が飛んだ』高速事故」（6.16）では，独自取材映像を交えて事故を検証した。

２年目を迎えた中部７局共同キャンペーン“にっぽんまんなかブランド”では，“地域の宝”を世界に売り込む戦略を探り，豊かな農産品・伝統工芸品から工業製品まで優れた品質を生み出す東海・北陸地方のモノづくりを応援した。各局の夕方６時台や午前７時台のニュース・情報番組で取り組みを集中的に伝えるとともに，『ナビゲーション』とも連動し，「にっぽんまんなかブランド『世界の胃袋をつかめ！』」（6.23）で，東海・北陸の豊かな海の幸を世界へ発信する取り組みを紹介した。また「にっぽんまんなかブランド『成功のカギはローカライズ』」（6.30）では，中国の巨大市場で成功するために必要なものは何かを探った。文化も労働意識も異なる中国での成功の秘けつを，現地に適応した東海・北陸の企業の実例をヒントに考察した。

『ナビゲーション』「東芝ショック　四日市工場売却の波紋」（4.7）では，三重県に拠点を置く半導体事業の売却について取材し，培われてきた技術や地域の雇用など地域経済に与える影響について伝えたほか，「自動車新時代　スズキの戦略は」（11.24）では国内の新車販売台数で業界３位のスズキの鈴木会長のインタビューを伝え，世界で急速に注目が集まっている電気自動車への大変革にどう立ち向かおうとしているのかを追った。そのほか，『ナビゲーション』では，地域における待機児童，医療や介護，働き方改革などの問題について，「急増！もう一つの待機児童～安心して働けない女性たち～」（4.21），「残業、減らせますか？　現場報告“働き方改革”」（4.28），「ともに生きる　～がん患者が集う美容室～」（5.12），「みんなと学びたい～どう支える？“医療的ケア児”の教育～」（7.7），「とても敏感な子　『HSC』とは何か」（7.28），「認知症でも　笑顔のままで」（9.22），「子宮移植の衝撃～不妊治療最前線～」（1.12）で伝えたほか，現代の世相やIoT，食糧問題，人口減少，身近に潜む事故の危険など現代社会が生み出すさまざまな課題について，「職業“YouTuber”　～動画サイトの光と影～」（5.26），「お寺が消えてゆく　～困窮にあえぐ　過疎地の僧侶たち～」（8.4），「“モッタイナイ”をどう生かす～広がる食糧支援～」（8.25），「残留孤児孤立する老後」（10.6），「IoTで米作りが変わる」（10.13），「ドローン墜落　～誰が安全を守るのか～」（12.8），「つながりの中で生きる」（1.5），「急増する民泊～過熱ブームの裏側で～」（1.19），「どうする？先祖の墓　～過熱する“墓じまいビジネス”～」（1.26）などで放送し，『ニュースウオッチ９』や『NHKニュース７』『NHKニュース　おはよう日本』など，随時全国にリポート企画を発信した。

さらに，人間とは何か，また，人間の生き方に向き合ったドキュメンタリーとして，「ヒトってなんだろう　～霊長類研究が解き明かした謎～」（7.21），「仲代達矢　命と向き合う」（11.3），「100キロを歩き抜く！」（11.17），「家族写真に愛を込めて」（2.2）などを放送した。“急増する中高年ひきこもり”をテーマに「たそがれ同居　～急増！働けない独身中高年～」（12.15），「働けない独身中高年～“たそがれ同居”の果てに～」（3.16）で２回にわたり，雇用環境の厳しさにさらされてきた中高年の今を密着ルポで描き，問題解決への糸口を探った。

国内最多の原子力発電所が立地する福井局では，夕方６時台のニュース・情報番組で原子力防災のシリーズ企画を随時放送したほか，『ナビゲーション』「検証　原発避難計画～“再稼働時代”の陰で～」（9.15）で，万一の事故に備えるための「避難計画」に課題があることを指摘し，大飯原発を例に検証した。

富山局では，年間キャンペーン「ともに、輝く」を実施し，『日曜Tube』「多様性一家が問う！ニンゲン界は今　幸せですか？」（10.22）を放送したほか，Eテレの『ハートネットTV』やイベント等へも展開した。

戦前，旧満州に入植しロシア兵を相手に「接待」を強いられた岐阜県の女性たちの史実に焦点を当てた『ETV特集』「告白～満蒙開拓団の女たち～」（E，8.5）を制作し，知られざる実態と貴重な証言を伝えた。

### （３）各地の魅力を全国・世界に向けて発信

日曜午後１時台の『日曜Tube』では，中部地方の「人間」「風土」「文化」「産業」の魅力を掘り起こして再発見する番組や，過去の『金とく』などのアンコールも編成した。主なシリーズ企画として，「おもてなし中部」では中部各県を外国人が訪ね，『金とく』「おもてなし中部2017スペシャル」（4.28）で放送し，以降は『日曜Tube』として「おもてなし中部　in　愛知　常滑市」（5.28），「（同）in　福井　敦賀市」（8.27），「（同）

in岐阜　養老町」(10.8)，「(同) in　静岡　沼津市」(11.12)，「(同) in　三重　熊野市」(12.17)，「(同) in　富山市」(2.4) で，外国人の視点から中部各地の意外な新観光スポットを発掘し，その魅力をホームページや国際放送で全国・海外向けにも発信した。ラジオ特集番組とも連動し，『おもてなしラジオ　～“サムライワールド”へようこそ！～』(R1，7.1) では，岐阜市の「アクティブG」から公開生放送で信長入城450年の節目となる岐阜の魅力を紹介した。

また「ショートストーリーズ」では，山間の集落で昔ながらの炭焼きを続ける親子や，名古屋市に暮らす鉛筆画家の日々を通して生きる意味について考える「＃９　まさくんの炭焼き―愛知・設楽町―」「＃10　それでも、絵が描きたい。―名古屋―」(4.16) や，岐阜県の長良川でアユを追い続ける川漁師の姿と富山に生きる若き女性神主のひと夏の成長を描いた「＃11　川に生きる・岐阜　長良川」「＃12　神主を継いで･富山」(7.30)，岐阜県の笠松競馬場で馬とともに輝きたいと努力する若き騎手と人前で落語をすることが生きがいと語るサラリーマンに密着した「＃13　馬と輝く」「＃14　落語と生きて」(12.10)，40歳でプロサッカー選手を目指す男性と山間の集落の駐在所で暮らす警察官夫婦と住民たちのふれあいに密着した「＃15“オールドルーキー”をめざして　～岐阜～」「＃16　二人の駐在所だより～富山～」(3.21) などのドキュメンタリーを放送した。

第５シリーズとなった「中部ネイチャーシリーズ」は，９月29日と10月20日に中部各地の自然の魅力を４Kカメラで撮影し，73分の長尺で『金とく』として放送した。シリーズの放送を前に，これまで撮影した中部の絶景をバックに珠玉の演奏を紹介する『NHKネイチャーコンサート』(G，9.24) を放送した。シリーズ本編では，雪と水が作り出した絶景を訪ね，険しく美しい景観に隠された大自然の物語を紹介した『金とく　中部ネイチャーシリーズ』「槍・穂高と白山　～雪と水がつくる絶景をたずねて～」(9.29) の山シリーズ，中部地方の北と南に広がる海の生き物たちが作り出す絶景を紹介しながら，絶滅危惧種のアカシュモクザメの姿を捉えた「伊豆半島と能登半島　～潮流が生んだ奇跡の絶景旅～」(10.20) の海シリーズの２番組を放送した。全編で字幕放送を実施した。また，シリーズは『躍動する大自然　奇跡の絶景ストーリー』というタイトルで再構成しBS1で11月22日から「北アルプス　槍・穂高連峰」(11.22)，「霊峰・白山～開山1300年　神秘の自然をたずねて～」(11.23)，「南伊豆・神子元島～黒潮と火山が生んだ驚異の海～」(11.24)，「能登半島の海～“究極の日本海”の水中旅～」(11.25) の４本を全国発信したほか，４K･８K試験放送にも展開した。

そのほか，『金とく』では，中部地方に存在する不思議な境界線を探り，中部の奥深さと豊かさを堪能するバラエティー「中部　境界線ワンダーランド」(7.28) を放送したほか，中部７県の視聴者がデータ放送やスマホで参加した「クイズバトル　７×７」(3.2) では，地元の意外な話題をクイズで紹介した。さらに，「追跡　巨大沈没船～若狭湾・隠された秘密～」(8.25)，「禅　心が安らぐ神秘の世界」(12.15)，「そして“カワイイ”が生まれた～内藤ルネ　光と影～」(1.26) など多彩な番組を放送した。

特集番組として，大相撲名古屋場所60年にあたり，SNSを活用した「はっけよい！ボイメン」(G，7.5)，“すもう女子”に向けたラジオ公開番組『とことん！大相撲名古屋場所　どす恋カフェ』(R1，7.16) などを放送した。

金沢，福井，富山の北陸３局では，北陸の今を生きる人々に焦点を当て，共通のテーマ設定を元につづるショートドキュメンタリーシリーズ『北陸３STORIES　＃４「時をこえて」』(G，11.25) や，『北陸スペシャル』「北陸お米伝説～知られざる“銀シャリ”の世界～」(G，3.25) では，日本有数の米どころである北陸各県の米の魅力を紹介した。

**（４）視聴者の幅広い関心に応える多彩な番組**

『真夜中のスーパーカー～愛知発地域ドラマ～』(BSP，3.28) を盛り上げる特集番組として，世界の名車とドラマの見どころを紹介する『愛知発地域ドラマ“真夜中のスーパーカー”放送直前SP「レトロなクルマに恋して！」』(G，3.20) を放送したほか，「もっと！愛知キャンペーン」を展開し，舞台となった愛知県の関連番組を多数アンコール放送した。

また，名古屋市栄のフィリピン人街に潜入した『体感ドキュメント　日本の異国にホームステイ！』「フィリピン人街@名古屋栄」(G，7.22) では，在留フィリピン人の日本で暮らすことの思いや人生模様を描いた。

愛知県出身の藤井聡太棋士について，節目ごとに『ほっとイブニング』などで取り上げ，30年ぶりの連勝記録更新の目前には，『クローズアップ現代＋』「14歳棋士・知られざる偉業への道～歴代最多28連勝・藤井聡太～」(G，6.21) を制作し

て，地元の反応も伝えた。その後も継続取材し，『NHKスペシャル』（G，7.8，10.8），『BS1スペシャル』（BS1，12.24）へと展開し全国発信した。

ドラマでは，野球に青春を燃やした４兄弟の物語を描いた『土曜ドラマスペシャル』「1942年のプレイボール」（G，8.12）を制作した。『ドラマ10』「マチ工場のオンナ」（G，11.24～12.29，全７回）では，愛知のものづくりの現場を訪ねるミニ番組『ドラマ10をさらに楽しめる！「マチ工場のオトコ」』も放送した。ラジオドラマでは，『FMシアター』「断崖のふたり」「100円の新世界」「よい宵の祭り」「さよならサリバン先生」「不惑検定」，『青春アドベンチャー』「ハリネズミの願い」「メゾン・ド・関ヶ原」を制作した。

また，アスリートと身近にふれあい，競技の面白さを体感するイベント「Nスポ！2017in名古屋」に併せて，『Nスポ！ラジオ～きょうは名古屋でスポーツフェスタ～』（R1，10.9）を全国放送したほか，『スポーツCHUBU』「ピョンチャンで輝け！東海北陸のアスリートたち」（R1，1.11）では，地元選手のオリンピック・パラリンピックに懸ける思いを紹介した。また『日曜Tube』では，津市のスポーツ施設「サオリーナ」を舞台に三重県出身の吉田沙保里選手がオリンピック・パラリンピックを盛り上げる「サオリ祭東京まで1000日！吉田沙保里スポーツフェス」（G，12.10）を放送した。

富山県で開催された全国植樹祭の式典行事のもようを『第68回　全国植樹祭　とやま2017』（G，5.28）で生中継で伝え，富山県の豊かな文化や伝統などを紹介した。『大河ドラマ「おんな城主直虎」コンサート～戦う花・直虎の愛～』（G，6.10）では，地元・浜松でコンサートを開催し，ドラマの名場面や出演者のトークを交え生演奏で届けた。

若者向けの音楽ライブ番組『Uta-Tube』では，10月に愛知県立大学で公開収録を行い，ゲストが現役大学生からの質問に直接答えるなどした。また『Uta-Tube』に出演したゲストが『紅白歌合戦』初出場を決めたことを受け，「紅白初出場SP　～三浦大知＆SHISHAMO～」（G，11.23）を放送したほか，６年間の総集編「プレミアムスペシャル～お得なイイ歌、６年間の名曲大放出～」（BSP，2.4）を全国に向けて発信した。

### （５）地元選手の活躍などスポーツ番組の充実

スポーツでは，プロ野球やJリーグ，高校野球など関心の高いスポーツ中継のほか，初めて日本で開催されるラグビーW杯を控え，盛り上がりをみせる『ラグビー　トップリーグ「トヨタ自動車」対「NTTドコモ」』（E，12.9）を生中継で放送した。また，J1復帰をかけたプレーオフの準決勝「名古屋グランパス」対「ジェフ千葉」（Gサブチャンネル，11.26），決勝「名古屋グランパス」対「アビスパ福岡」（Gサブチャンネル，12.3）の生中継を急きょ決定した。

フィギュアスケートの浅田真央選手が引退を発表した４日後に放送した『ナビゲーション』「浅田真央　愛され続けた21年の軌跡」（G，4.14），重度の知的障害がある陸上の若手アスリートに密着した「走る　～知的障害・陸上短距離　川上春菜～」（6.9），サッカーJ１の「ジュビロ磐田」に所属する中村俊輔選手の姿を通して，同世代から多くの共感を集める背景をひもとく「中村俊輔39歳　～広がる共感～」（7.14）など東海・北陸ゆかりのアスリートたちの思いや素顔に迫った。

１月４日に急逝した星野仙一さんの追悼番組『ありがとう　星野仙一さん　～“闘将”がのこした言葉～』（G，1.13）を急きょ放送したほか，リーグ優勝の中日監督時代に密着した『NHK特集』「勝利へのさい配～ベンチの中日・星野監督～」（G，3.3）を枠付けしてアンコール放送した。また，ピョンチャン五輪で名古屋出身の宇野昌磨選手が銀メダルを獲得したことを受け，メダルまでの道のりを振り返る特別番組『最高の舞台でつかんだ銀メダル～フィギュアスケート・宇野昌磨～』（G，3.4）を放送した。

データ放送や双方向機能，マルチ編成，パソコン・携帯電話・タブレット端末の利用など，デジタル放送の特性を生かした放送サービスを定時番組や特集番組で展開し，情報発信の回路の充実に努めた。『金とく』「クイズバトル　７×７」（3.2）では，番組ゲストと視聴者が解答者として参加する双方向機能を使ったクイズ形式の番組を放送し，連動データ放送のさらなる定着を図った。プロ野球「中日」戦では，双方向機能を活用した応援で視聴者が参加感を味わえる取り組みを行った。『Uta-Tube』「祝200回SP　きょうは生で感謝まつり！」（6.17）では，ツイッターとデータ放送を活用し，リクエストを受け付け，視聴者の生の声をリアルタイムで伝えた。

## ２．地域放送番組

### （１）定時番組

**『NHKニュース　おはよう東海』　G**

月～金　7:45～ 8:00

第１回93.4.5／東海３県ブロック／愛知・岐阜・

三重の最新ニュースや気象・交通情報など，お出かけ前に役立つ情報を伝える報道情報番組。リポートや中継は注目のニュースや人，季節の話題を掘り下げるなど，多彩な情報を提供した。／各局タイトル：金沢『おはよう石川』，静岡『おはよう静岡』，福井『おはよう福井』，富山『おはよう富山』

**『さらさらサラダ』　G**

月～金　11:30～12:00

第１回03.4.3『情報フレッシュ便　さらさらサラダ』（東海３県ブロック）としてスタート／中部ブロック（一部各局単）／放送15年目を迎え，中部７県に向けて新鮮な情報を届けた。話題のゲストのスタジオ生トーク，料理・園芸・子育てなど暮らしをランクアップする情報，気になる地域の話題，週末にお薦めの中部７県の行楽情報など，プラザウェーブ21からの公開生放送で届けた。／各局タイトル：静岡『ひる・しず』，津『みえ～るくん情報』，岐阜『みのひだ情報局』

**『ほっとイブニング』　G**

月～金　18:10～18:59

第１回01.4.2／東海３県ブロック（18:30～59は津・岐阜単）／HOTなニュースやほっとできる話題など，東海３県の１日をまるごと伝えるニュース・情報番組。地域経済の動きや安心・安全を脅かす事件・事故，暮らしに役立つ情報などを届けた。ニュースの背景に迫るリポートや現場からの生中継，そして工夫を凝らしたスタジオ解説も交えながら，分かりやすく伝えた。／各局タイトル：津『ほっとイブニングみえ』，岐阜『ほっとイブニングぎふ』，金沢『かがのとイブニング』，静岡『たっぷり静岡』，福井『ニュースザウルスふくい』，富山『ニュース　富山人』

**『ナビゲーション』　G**

金　19:30～19:55
㊫日　8:00～ 8:25

第１回93.4.11／中部ブロック／中部地方の社会問題や注目のトレンドをいち早く，深く，分かりやすく掘り下げ，地域の“気になる”をタイムリーに伝える情報番組。中部地方が誇る製造業の最新の動きから，南海トラフ巨大地震・津波などの防災，医療，話題のアスリート・文化人まで，視聴者が知りたいテーマをドキュメンタリーと解説者のトークを交え，真相・背景に迫った。

**『金とく』　G**

金　19:56～20:39
㊫日　13:05～13:48

第１回06.4.7／中部ブロック／12年目を迎えた『金とく』は，中部地方の自然や文化，歴史や暮らしをより深く描く企画や，新たな地域の魅力を発掘する企画など，視聴者の「見たい！」「知りたい！」「行ってみたい！」に応える情報を届けた。

**『ウイークエンド中部』　G**

土　7:30～ 8:00

第１回85.4.6／中部ブロック／『ウイークエンド中部』愛称“ういちゅ～”は，最新のニュースのほか，週末を楽しむための情報を届ける情報番組。お出かけ情報や中部７県の朝の表情を伝える生中継，視聴者から寄せられた川柳の中から，秀作を選び紹介する「ういちゅ～川柳」や週末に食べたくなる料理を家族で楽しむコーナーなどの企画も届けた。

**『Uta-Tube』　G**

土　10:55～11:15

第１回12.4.19／中部ブロック／一流アーティストのライブを中部７県に届ける本格ライブ音楽番組。トークコーナーでは，街角からの質問や日頃持ち歩いているアイテムの紹介など，アーティストの素顔も紹介した。リアルタイムで番組を見た視聴者向けに，アーティストの裏話やお宝写真も発信する連動データ放送も展開した。

**『東海ピックアップ』　G**

日　18:42～18:45

第１回11.4.9／東海３県ブロック／東海３県向けの広報番組。土曜昼から移設し時間も３分に凝縮して，名古屋・津・岐阜局のオススメ番組，イベント情報，取り組みについて，番組ディレクターやアナウンサー，イベント担当者が舞台裏やエピソードを交えて紹介した。

**『日曜Tube』　G**

日　13:05～13:48

第１回16.4.24／中部ブロック／地元に根を張り懸命に生きる人々の物語を紡ぎだすドキュメンタリー「ショートストーリーズ」や，外国人の視点から中部地方の意外な新観光スポットを発掘し，その魅力を全国・世界に発信する「おもてなし中部」などを放送した。

**『東海北陸あさラジオ』　R1**

月～土　7:40～ 8:00

第１回15.3.30／中部ブロック（一部各局単）／中部地方の詳しい天気の解説や交通情報のほか，日替わりの特集コーナーで，暮らしに役立つ情報を伝える朝の情報番組。防災や法律，経済など，第一線の専門家の解説や動物園・水族館からの話題，観光などの行楽情報，俳句や短歌の投稿を紹

介する文芸サロンコーナーなどを届けた。

**『夕刊　ゴジらじ』　R1**

月～金　17:00～17:55

第１回13.4.1／東海３県ブロック／暮らしの知恵や知っておきたい防災の知識，注目のイベントなど，地域に密着した情報を厳選して届ける夕方の情報番組。演歌，ポップス，クラシックなど幅広い分野のゲストを招いたトーク＆音楽情報コーナーなどを届けた。

**（２）特集番組**

**〔中部ブロック〕**

**『金とく』　G**

「おもてなし中部2017スペシャル」
名古屋局　4.28／19:55～20:43

「中部　境界線ワンダーランド」
名古屋・津局　7.28／19:56～20:41

「追跡　巨大沈没船～若狭湾･隠された秘密～」
福井・名古屋局　8.25／19:56～20:39

「禅　心が安らぐ神秘の世界」
福井局　12.15／19:56～20:39

「そして“カワイイ”が生まれた～内藤ルネ光と影～」
名古屋局　1.26／19:56～20:39

「クイズバトル　７×７」
中部各局　3. 2／19:30～20:43

**『大相撲名古屋場所60年スペシャル番組』「はっけよい！ボイメン」　G**

名古屋局　7. 5／22:25～23:04

**『ナビゲーションスペシャル』「身近に危機が！“異常豪雨”」　G**

名古屋局　9. 1／19:30～20:45

**『NHKネイチャーコンサート～扶桑文化会館（愛知県）で収録～』　G**

名古屋局　9.24／13:05～13:50

**『金とく　中部ネイチャーシリーズ』　G**

「槍・穂高と白山　～雪と水がつくる絶景をたずねて～」
名古屋・金沢局　9.29／19:30～20:43

「伊豆半島と能登半島　～潮流が生んだ奇跡の絶景旅～」
名古屋・静岡局　10.20／19:30～20:43

**『アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2017　東海北陸地区大会』　G**

名古屋局　11.23／10:05～10:59

**『Uta-Tube』「紅白初出場SP　～三浦大知＆SHISHAMO」　G**

名古屋局　11.23／18:05～18:43

**『NHKナゴヤニューイヤーコンサート2018～クラシック　和×洋～』　G**

名古屋局　1. 8／16:45～17:58

**『ありがとう　星野仙一さん　～“闘将”がのこした言葉～』　G**

名古屋局　1.13／11:25～11:54

**『最高の舞台でつかんだ銀メダル～フィギュアスケート・宇野昌磨～』　G**

名古屋局　3. 4／ 8:00～ 8:25

**『おもてなしラジオ　～“サムライワールド”へようこそ！～』　R1**

名古屋局　7. 1／13:05～13:55，14:05～14:55

**『とことん！大相撲名古屋場所　どす恋カフェ』　R1**　名古屋局　7.16／15:05～15:55

**『オーディオ・ドキュメント』「23歳のICレコーダー　～ヒロシマを巡る旅～」　R1**

名古屋局　8. 6／16:05～16:55

**『スポーツCHUBU』「ピョンチャンで輝け！東海北陸のアスリートたち」　R1**

名古屋局　1.11／20:05～20:55，21:05～21:55

**〔東海３県ブロック〕**

**『NHK名古屋青少年交響楽団　60周年記念　定期演奏会　第52回　定期演奏会』　E**

名古屋局　8.13／15:30～16:30

**『NHK名古屋児童劇団公演』「オズの魔法使い」　E**　名古屋局　8.26／12:00～13:00

**『2017衆院選　開票速報　東海』　G・R1・FM**　10.22

**『夕刊　ゴジらじ』「2017年末スペシャル」　R1**　名古屋局　12.27／16:05～17:55

**〔北陸ブロック〕**

**『北陸スペシャル』　G**

「第64回日本伝統工芸展　金沢展」
金沢・富山局　10.27／22:50～23:15
金沢・富山・福井局　10.29／ 8:00～ 8:25

「北陸お米伝説～知られざる“銀シャリ”の世界～」
金沢・福井・富山局　3.25／ 8:00～ 8:43

**『北陸３STORIES　＃４「時をこえて」』　G**

金沢・福井・富山局　11.25／ 8:45～ 9:28
金沢・福井・富山局　11.28／ 0:25～ 1:08

**〔石川県域〕**

**『かがのとイブニング』「年末スペシャル」　G**

12.22／18:10～19:00

**『2017衆院選　開票速報』　G・R1・FM**

10.22

**『石川県知事選挙　開票速報』　G・R1**　3.11

〔静岡県域〕

『静岡スペシャル』　G　19:30〜19:55

「ふたりで作る“希望のケーキ”」　5.26

「家族になるということ〜里親　それぞれの思い見つめて〜」　7.21

「夏休みってなんだっけ？〜大幅短縮で吉田町は…〜」　9.15

「“高校生ホテルへようこそ”〜熱海おもてなし奮闘記〜」　11.17

「待ってろプロ野球！鈴木博志20歳」　1. 5

「静岡の食を世界に売り込め！」　2. 2

「“二刀流”山本篤選手の挑戦　〜パラリンピック　結果速報〜」　3.16

『静岡県知事選　開票速報』　G・R1　6.25

『2017衆院選　開票速報』　G・R1・FM　10.22

『しず☆ラジ！』　新　R1　17:00〜17:55ほか　5.12，11.30，12.22，1.31，2.23

〔福井県域〕

『ちりとてちんでわろてんか　〜小浜・第10回全国女性落語大会〜』　G　11.24／18:10〜18:35

『杉田玄白のメッセージ　〜新納慎也・痛快小浜紀行〜』　G　12.28／18:10〜18:35

『ほやほやみつけ隊　総集編』　G　3.30／12:20〜12:40

『2017衆院選　開票速報』　G・R1・FM　10.22

『情報たら福　〜いこっさ！きこっさ！〜』「福井で考えるLGBT」　R1　5.13／ 9:05〜 9:55

〔富山県域〕

『NHKハートフォーラム』「ともに、輝く。〜多様性のある社会へ〜」　G　1.26／19:56〜20:39

『富山イドバタトーク！　ちょっこし不満　しゃべらんが？』　G

第１弾　3.26／ 0:30〜 1:13

第２弾　4. 1／ 0:35〜 1:18

『ラジオ富山人　２周年感謝祭　音楽ライブもあるよ！公開生放送スペシャル』　R1　3. 9／16:05〜16:55，17:00〜17:55

〔三重県域〕

『ラジカセ　〜三重発地域ドラマ〜』（再）　G　10.22／16:10〜17:09

『サオリ祭　東京まで1000日！吉田沙保里スポーツフェス』　G　11. 3／20:00〜20:43

『みえDE川柳』　FM　18:00〜18:50　4.28，5.26，6.30，7.28，8.25，9.29，10.27，11.24，12.22，1.26，3.23

〔岐阜県域〕

『ぎふスペシャル』　G

「笑う岐阜に福来る〜第15回全日本学生落語選手権　策伝大賞〜」　3.17／10:05〜10:48

「岐阜のギモンを解き明かせ！」　3.18／ 8:00〜 8:25

『ラジオぎふスペシャル』　FM

「あなたのまちで　岐阜オンステージ」(川辺町)

（前編）　6.22／18:00〜18:50

（後編）　6.23／18:00〜18:50

「あなたのまちで　岐阜オンステージ」(郡上市)

（前編）　2.22／18:00〜18:50

（後編）　2.23／18:00〜18:50

『みのひだ情報局』「ラジオとっておきスペシャル」　FM　6.30／12:20〜12:55

〔各局共通〕

『Nコン2017東海北陸　第84回NHK全国学校音楽コンクール』

（中部ブロック）

東海北陸ブロックコンクール　E　9.23／14:00〜16:20

（東海３県ブロック）

愛知県コンクール　E　9.10／15:00〜17:00

岐阜県コンクール　E　8.27／15:30〜17:00

（県域）

石川県コンクール　E　8.27／15:30〜17:00

静岡県コンクール　FM　8.25／ 9:20〜11:00

富山県コンクール　FM　8.29／14:00〜16:00

三重県コンクール　E　9. 2／12:30〜14:45

## ３．スポーツ中継

〔高校野球〕

第99回全国高校野球選手権大会

| | | |
|---|---|---|
| 愛知県 | 準決勝 | G・E・R1／ 7.28 |
| | 決勝 | G・E・R1／ 7.29 |
| 石川県 | 準決勝 | G・E・R1／ 7.28 |
| | 決勝 | G・R1／ 7.29 |
| 静岡県 | 準決勝 | E／ 7.25 |
| | 決勝 | G・R1／ 7.26 |
| 福井県 | 準決勝 | G・E・R1／ 7.26 |
| | 決勝 | G・E・R1・FM／ 7.27 |
| 富山県 | 準決勝 | G・E・R1／ 7.28 |
| | 決勝 | G・R1／ 7.29 |

岐阜県　準決勝　G・FM／ 7.26
　　決勝　G・FM／ 7.27
三重県　準決勝　E・FM／ 7.25
　　決勝　G・FM／ 7.26

第70回秋季東海地区高等学校野球大会
（東海４）準決勝　R1／10.30
　　決勝　R1／10.31
静岡県　決勝　R1／10. 7
三重県　決勝　FM／ 9.30

第137回北信越地区高等学校野球各県予選
石川県　決勝　R1／ 9.30
福井県　準決勝　R1／ 9.23
　　決勝　R1・FM／ 9.24

第137回北信越地区高等学校野球大会
（金沢・福井・富山）準決勝　R1・FM／10.21

**〔その他のスポーツ〕**

**プロ野球**

（中部ブロック・中国ブロック）
「中日」対「広島」　G／ 5.19〈マルチ編成〉
（中部ブロック）
「中日」対「楽天」　G／ 6. 2〈マルチ編成〉
（東海３県・北海道ブロック）
「中日」対「日本ハム」　G／ 6.15〈マルチ編成〉
（東海３）
「中日」対「ヤクルト」　R1／ 4.27
「中日」対「DeNA」　R1／ 5.11
「中日」対「DeNA」　R1／ 8.31
（東海３・中国ブロック）
「中日」対「広島」　R1／ 9. 8

**Jリーグ**

「名古屋グランパス」対「ザスパクサツ群馬」
（東海３）　G／10.29〈マルチ編成〉
「名古屋グランパス」対「ジェフ千葉」
（東海３）　G／11.11

J1昇格プレーオフ　準決勝
「名古屋グランパス」対「ジェフ千葉」
（東海３）　G／11.26〈マルチ編成〉

J1昇格プレーオフ　決勝
「名古屋グランパス」対「アビスパ福岡」
（東海３）　G／12. 3〈マルチ編成〉
「ジュビロ磐田」対「柏レイソル」
（静岡県域）　G／ 5.20

**J2リーグ**

「FC岐阜」対「名古屋グランパス」
（岐阜県域）　G／10. 1

**J3リーグ**

「福島ユナイテッド」対「アスルクラロ沼津」
（福島・静岡県域）　G／10.22

**第97回天皇杯サッカー選手権**

愛知県代表決定戦　E／ 4. 8
石川・静岡・福井・三重・岐阜県代表決定戦
　　G／ 4. 9

**Bリーグ**

「富山グラウジーズ」対「横浜ビー・コルセアーズ」（富山県域）　G／ 4. 1

**ラグビー　トップリーグ**

「トヨタ自動車」対「NTTドコモ」（東海３）
　　E／12. 9

**第42回　日本ハンドボールリーグ　女子**

「北國銀行」対「ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング」（石川県域）　E／ 1.20
「三重バイオレットアイリス」対「広島メイプルレッズ」（三重県域）　G／ 1.27

# Ⅱ．技　術

## １．スーパーハイビジョン普及に向けた取り組み

７月９～23日の大相撲名古屋場所を８K制作し，４K･８K試験放送で生中継したほか，名古屋局T１スタジオにも８Kライブ映像を引き込み，トークショーと連動したパブリックビューイングを実施した。10月１～14日，津市にオープンした新スポーツ施設「サオリーナ」で８K公開を実施し，延べ2,000人を超える来場者に向けてリオ五輪の総集編を上映した。９月29日～10月１日にハーモニーホールふくい（福井県立音楽堂）で行われた「８Kクラシックシアターinふくい」では，350インチ大画面と22.2マルチチャンネル音響でクラシック音楽のコンサートを上演し，延べ900人近くが来場した。

18年12月に開始される４K･８K本放送を視聴するための受信環境整備を推進するため，電気店や工事店などの関連業界向けに講習会を実施した。名古屋市（6.15），高山市（6.21），豊橋市（10.4），小牧市（3.1）では，電気店や工事店などの関連業界向けに，テレビ受信向上委員会と連携したセミナーを実施した。また，愛知県電機商業組合６支部の総会に出向き，約100の加盟店に４K･８K放送の普及に向けて技術動向等の情報提供を行った。

## ２．緊急・災害報道の取り組み

### （１）事件事故・自然災害関連

津波や液状化現象による鍋田ラジオ放送所の被

災を想定した曽我屋ラジオ予備送信機の起動訓練を，岐阜局と合同で実施した（7.6）。

８月20日に南海トラフ地震を想定した愛知県・春日井市の総合防災訓練に参加し，TV中継局の被災を想定して訓練会場（春日井市朝宮公園）で非常用送信車からTV電波を発射する訓練を実施した。域内各局でも同様の訓練が行われ，非常用送信車の派遣と訓練実施の支援を行った（8.27，福井県／9.3，石川県／9.30，富山県／11.5，三重県）。

11月から気象庁が「南海トラフ地震に関する情報」の運用を開始し，東海地震のみに着目した情報が発表されなくなったことに伴い，緊急警報試験信号放送の映像･音声信号の内容を差し替えた。

**（２）選挙関連**

４月23日の名古屋市長選挙では，緊急パックによる中継のほか，会見場からCSKによる中継を行った。また，NC-Bフロアに選挙システムを構築した。

衆議院の解散に伴い10月22日に行われた総選挙では，公示期間中に予定されていた工事や作業のスケジュールを調整した上で，事前の放送所点検，電力会社やNTTに対する放送確保の協力依頼など，万全の体制で放送の安定送出と電波確保に努めた。投開票当日は選挙事務所からの中継に加え，台風21号の接近に伴う災害報道と合わせての対応となった。

**（３）その他**

５月24～25日に行われた「Lアラート全国総合訓練」では，各自治体の訓練に東海・北陸全局が参加した。訓練では実際にデータ放送画面を送出し，災害時に報道や編成と連携して迅速に情報を提供するための手順を確認した。

10月から北陸３局の記者宿泊勤務を金沢局へ集約するにあたり，地震・津波および気象に関する北陸向けの速報スーパーを名古屋から実施するため，速報設備の地域設定を変更した。

## ３．番組制作技術の取り組み

**（１）スポーツ中継**

４月11～16日に日本ガイシアリーナで行われた第93回日本選手権水泳競技大会を中継した。映像ではレールカメラや水中ハイスピードカメラなど14台のカメラを効果的に配置し，音声ではターゲットサウンドシステムを取り入れて競技音を際立たせた。

７月の大相撲名古屋場所の中継ではワイヤレスカメラやハイスピードカメラを使用したほか，ターゲットサウンドシステムを使用して土俵上の力士がぶつかり合う音をクリアに捉えた。

**（２）ドラマ制作**

『土曜ドラマスペシャル』「1942年のプレイボール」は名古屋出身で戦前から戦後にかけ日本のプロ野球で活躍した「野口４兄弟」の史実を基に制作し，半田球場で行ったロケでは，VFX技術を駆使して42年当時の後楽園球場を再現した。

『ドラマ10』「マチ工場のオンナ」（全７回）の制作において，音声ではブームマイクでの集音に立ち返り，台詞（せりふ）だけでなく現場全体の雰囲気を集音し，役者の生きた芝居を引き出した。

『真夜中のスーパーカー～愛知発地域ドラマ～』では，ものづくりの尊さをテーマに，愛知の主要産業「自動車」開発の物語を４Kで制作した。また，本ドラマPR用のVRコンテンツを360°４K映像と立体音響で制作し，11月からの県内各地のイベントのほかNHK VRやYouTubeにも展開して，若年層をはじめ幅広い視聴者に番組をPRした。

**（３）スーパーハイビジョン制作**

中部地域の豊かな自然を紹介する『金とく　中部ネイチャーシリーズ』で，山編「槍･穂高」「白山」，海編「能登」「伊豆」の計４本を４K制作した。

大相撲名古屋場所での初の８K制作では，のぼりと体育館を絡めた外観カメラや支度部屋カメラの導入のほか，８K信号のCS伝送など，今後を見据えたさまざまな取り組みを行った。福井県で行われたVリーグ中継で，生放送では初めてとなる４K・HDRと２K・SDRの一体化制作を行った。

『名曲アルバム』初の４K制作として400年の伝統を誇る夏の風物詩「岐阜・郡上八幡徹夜踊り」を４K撮影し，そこで歌われる「郡上節」をアレンジしたメドレー曲を5.1サラウンドで録音した。

８Kコンテンツ「日本海の四季」を技術提案し，秋編「秋田･ハタハタ」，冬編「富山･寒ブリ」として，厳冬・日本海の生命の営みを高精細な映像と22.2マルチチャンネル音響で制作した。

## ４．地上デジタル放送のサービス向上

５月19日，６月15日のプロ野球「中日」戦では，広島局や札幌局と連携して番組連動データ放送とスマートフォンからのメッセージ募集のほか，ボタンの連打による応援合戦のデジタルサービスを実施した。３月２日の双方向番組『金とく』「クイズバトル　７×７」は，東海・北陸地方を題材

に中部７県の視聴者とスタジオ出演者とがタッグを組んで競い合うクイズ番組で，データ放送やスマートフォンで多数の視聴者が参加した。

### ５．放送設備の整備

**「COMPASS（新運行装置）」**

03年から運用してきた拠点局運行装置の更新整備を他の拠点局に先駆けて実施し，11月に名古屋・津・岐阜３局同時に新設備へ切り替えた。新しい運行装置では津局と岐阜局の運行装置の主要設備を名古屋局へ集約するとともに，３重化構成による耐障害性と可用性の確保のほか，保守性を高めた設計となっている。また，完プロ番組の送出を従来のVTRからファイルベース化したことにより，登録・送出業務の負担軽減が図られた。

**「ポストプロダクション設備更新」**

名古屋局では映像ポストプロダクション設備の更新に伴うファイルベース化に併せて，新たなワークフローを構築することによる作業の効率化に取り組んだ。また，名古屋局単独で４K番組の制作が行えるよう，独自に設備を追加導入し，地域発のSHVコンテンツ制作モデルを構築した。

**「鍋田R-STL迂回整備」**

名古屋局の放送会館から鍋田ラジオ放送所への信号伝送経路に，高層ビル建設による遮蔽障害が発生する問題の対策として，東山FM放送所を経由して信号を伝送する迂回工事が完了した。

**「新会館建設」**

静岡局の新会館は18年３月に運用を開始した。運行業務の要員や送受信設備の整備，中継業務やVロケ業務等で要員を派遣したほか，室間布線工事や220インチの大画面SHVシアター整備の発注を名古屋局で行うなど，総合的に支援した。

**そのほかの主な設備整備**

**名古屋局**

・HV-MTXの更新（IPビデオルータ導入）
・会館や中部国際空港国際線などのロボカメ更新
・緊急初動卓の更新
・４Kファイル伝送装置，報道用４Kカムコーダー２式，報道用４K編集機の整備

**金沢局**

・ニュースカーの更新
・簡易MAの更新

**静岡局**

・裾野市，十里木ロボカメの整備
・日本平FPU基地局の更新

**福井局**

・ニューススタジオ照明設備の更新
・同期信号分配盤の更新

**富山局**

・ニュース送出設備の更新
・会館無停電電源設備の更新

**津局**

・津・熊野，尾鷲ルートおよび伊勢，名張ルートのTV-TTL更新
・CSKの更新

**岐阜局**

・金華山FPU基地局の更新
・岐阜・高山，小坂ルートのFM-TTL更新

## Ⅲ．視聴者

### １．広　報

#### （１）マスコミ広報・番組広報

名古屋局では，広報番組『東海ピックアップ』を制作し，東海３県の放送局についての多彩な情報を紹介した。また『土曜ドラマスペシャル』「1942年のプレイボール」，『ドラマ10』「マチ工場のオンナ」，『真夜中のスーパーカー～愛知発地域ドラマ～』『Uta-Tube』『超絶　凄（すご）ワザ！』などの番組で取材会を実施し，地元や在京のマスコミに情報を提供した。

中部地方を舞台にしたドラマや番組を，各局がさまざまな手法や展開とともに地元での話題作りや周知につなげた。『ドラマ10』「マチ工場のオンナ」では，放送前から最終回までさまざまな媒体で周知広報を行うとともに，セットや出演者の等身大パネル，小道具の数々を展示するドラマ展を開催。来場者は４万人を超えた。『真夜中のスーパーカー～愛知発地域ドラマ～』（BSP，3.28）では，ロケ地での取材会・関係者試写会，スポットやミニ番組の制作のほか，ドラマ展，リーフレット制作やホームページ，YouTubeでのPRなど多面的な広報を実施した。『ブラタモリ』（G，6.10，17，11.18）の放送にあたりマスコミリリース，テレビ塔でのライティング，新聞ラテ欄のタテ読みなど多彩な取り組みを行った。

静岡局では，『大河ドラマ』「おんな城主　直虎」コンサートや特別展などを実施し関連イベントは延べ14件，総計でおよそ３万8,000人を動員。地域放送番組に出演者を迎え，ご当地サイトやSNSでも積極的に情報発信を行った。『ブラタモリ×鶴瓶の家族に乾杯　初夢スペシャル』（G，1.2）では番組に関連する各地の多彩な広報展開を行った。

福井局では福井藩オリジナルスタンドパネルを作成し，『大河ドラマ』「西郷どん」で橋本左内を演じる風間俊介さんを招いたトークショーを1,200人規模で実施した。

岐阜局では『連続テレビ小説』「半分、青い。」の放送を前に，ロケ地での取材会，スポットやミニ番組の制作のほか，リーフレットやご当地ホームページ，広報媒体を活用し，多面的に広報を展開した。

**（２）視聴者ふれあい活動**

ニュースキャスターの擬似体験などができる名古屋局の見学施設「放送体験スタジオ　わくわく」には，１年間で15万人余りが訪れた。団体見学での来館は，269件7,927人だった。

静岡局では，独自に制作した「おんな城主　直虎」フォトセット展を各地域のお祭りなどで展示したほか，衣装なども紹介するダイジェスト展を県内各地で実施し，総計およそ８万5,000人が訪れた。また，浜松支局の音楽ライブラリー閉鎖にあたり，浜松支局で『まろのSP日記　第18集～音楽のまち・浜松編～』（FM，12.31），『今日は１日“浜松アーカイブス”三味』（FM，11.3）を実施した。放送会館移転に伴うプロモーションサイトを開設，リブランディングのコンセプトなどを発表した（3.12）ほか，駅周辺に移転周知ポスターを掲出した。

各局では積極的にスーパーハイビジョンの受信公開を実施した。名古屋局では東海・北陸地方を題材にした魅力的な８Kコンテンツを集積し，特別上映会（7.24～8.5）を実施した。４月から３月までの「放送体験スタジオ　わくわく」での体感者は６万6,000人余りとなった。福井局では「８Kクラシックシアターinふくい」（9.29～10.1）をハーモニーホールふくいで実施。地方の音楽専用ホールで初めてとなる22.2chマルチチャンネル環境を整備し，延べ900人が来場した。ピョンチャン五輪に併せて，JR敦賀駅で受信公開（2.16～18）を実施し，約1,400人が訪れた。

各局でもピョンチャン五輪や大相撲に併せた受信公開時間の拡大や，「いしかわ情報システムフェア」（5.18～20），福井駅，敦賀駅，静岡駅前ビルなど集客力の高いイベントや施設で受信公開を実施した。

## ２．イベント事業

中部ブロックでは，公開番組をはじめ，公共放送キャンペーン，子ども・青少年，教育・教養，美術，音楽，スポーツなど，さまざまな分野・対象のイベントを実施し，公共放送の理解促進と地域の活性化・文化振興に努めた。イベントには約45万人が参加した。

**（１）公開番組**

『NHKのど自慢』『新・BS日本のうた』など例年実施している番組に加え，通常はNHKホールで公開生放送を行っている『うたコン』（6.20，江南市），ファミリー向け公開番組の『みんなDEどーもくん！』（1.14，春日井市）など中部で33本の全国放送公開番組を実施した。また，静岡局では『眠れない貴女（あなた）へスペシャル～あなたの街でリアル女子会・直虎のふるさと浜松編～』の公開収録（5.14，浜松市）や，NHK浜松支局の音楽ライブラリーを活用した『まろのSP日記』公開録音（11.2，浜松市），浜松支局の貴重な蓄音機でのミニ演奏会も交えた『今日は一日“浜松アーカイブス”三味』公開生放送（11.3，浜松市）を実施した。

**（２）公共放送ならではのイベント・キャンペーン**

「地域のキャンペーン（防災・環境）」「ハートプロジェクト」「ふるさとの食　にっぽんの食」のほか，地域の特色を紹介するキャンペーンとして「中部ネイチャープロジェクト」（名古屋局を中心に中部７局）など，公共放送ならではのキャンペーン・イベントを展開した。「地域のキャンペーン（防災）」として名古屋局では，防災啓発イベント「みんなで防災-BOSAI-」（5.20～21，名古屋局PW21，「NHKパパママフェスティバル」内／10.8～9，名古屋局PW21，「Nスポ2017in名古屋」内）を実施した。「ハートプロジェクト」では，「第22回NHKハート展」（9.16～10.1，静岡市／2.2～14，名古屋市）のほか，「NHK介護百人一首2017パネル展」（5.24～6.9，名古屋局PW21），「NHKハートスポーツフェスタ～パラリンピアンがやってきた！子どもたちとの交流教室」（6.11，金沢市）を開催した。

**（３）子ども・青少年イベント**

「第84回NHK全国学校音楽コンクール」「第64回NHK杯全国高校放送コンテスト」「第34回NHK杯全国中学校放送コンテスト」「キミが主役だ！NHK放送体験クラブ」を中部各局で実施した。

また，ファミリーで楽しめるステージショーとして，チャリティーコンサート「おかあさんといっしょファミリーコンサート」（1.27，津市），「いないいないばあっ！あつまれ！ワンワンわんだーらんど」（10.8，豊田市）を開催したほか，「おかあさんといっしょ宅配便『ガラピコぷ～小劇

場』」（５か所）を中部各地で実施した。さらに,「おかあさんといっしょ」の視聴者が参加するパートの収録として「『おかあさんといっしょ』スタジオ収録～親子で遊ぼう！～」（10.14，福井市）を実施した。

名古屋局では，子育て中のパパやママに育児について学んでもらおうと「NHKパパママフェスティバル」（5.20～21）を実施した。

**（４）教育・教養イベント**

学校放送番組の研究委嘱を行い，教育現場での番組利用の推進を図ったほか，教員を対象とした「NHK for School×アクティブ・ラーニング実践ワークショップ」（7.21，北名古屋市）を実施した。

教養イベントでは,「NHK公開セミナー」として「NHK大河ドラマ・おんな城主　直虎」（9.3，静岡市),「NHK大河ドラマ・西郷どん」（3.25，福井市),「コズミックフロント☆NEXT」（11.12，半田市）をテーマに実施した。

**（５）美術展・展覧会**

「ボストン美術館　パリジェンヌ展　時代を映す女性たち」（6.10～10.15，名古屋市),「『おんな城主　直虎』特別展　戦国！井伊直虎から直政へ」（8.14～10.12，静岡市),「第64回日本伝統工芸展」（10.4～9，名古屋市／10.27～11.5，金沢市),「民芸の日本－柳宗悦と『手仕事の日本』を旅する－」（2.23～3.5，名古屋市),「デザインあ展in TOYAMA」（3.21～5.20，富山市）を開催した。

**（６）音楽イベント**

正月恒例の「NHKナゴヤニューイヤーコンサート2018」（1.3, 名古屋市）のほか,『大河ドラマ』「おんな城主　直虎」のご当地である浜松市で,「おんな城主　直虎コンサート～戦う花・直虎の愛～」（5.28，浜松市）を開催した。

**（７）スポーツイベント**

名古屋局では，大相撲名古屋場所が本場所になって60年の節目のキャンペーンの一環として，８Kで大相撲中継を体感するパブリックビューイングイベント「８K（はっけ）よい！NHK場所」（7.15～17，名古屋局）や，大相撲の魅力や名古屋場所の歴史を紹介する「はっけよい！大相撲展」（7.5～23，名古屋局PW21）を実施した。また，2020東京オリンピック・パラリンピックを見据え，アスリートとふれあい，さまざまな競技を体験できる「Nスポ！2017in名古屋」（10.8～9，名古屋局PW21）を開催したほか，東海地方のアスリートをパネルで紹介する写真展「アスリートに恋して。展」（12.19～2.25，名古屋市）を継続実施した。

津局では，レスリング女子の吉田沙保里選手の地元に建設されたスポーツ施設「サオリーナ」のオープンに併せ,「サオリ祭（フェス）'17」（10.14，津市）を開催した。その他,「ラジオ体操・みんなの体操会」や「第97回天皇杯全日本サッカー選手権大会代表決定戦」を中部各地で実施したほか,「NHKジュニア水泳教室」（4.8，稲沢市),「第82回日本オープンゴルフ選手権競技・ブース出展」（10.12～15，関市）を実施した。

**（８）その他のイベント**

名古屋局では，17年度も中部ネイチャープロジェクトと連動し,「NHKネイチャーコンサート」（9.15，扶桑町）を実施した。また『真夜中のスーパーカー～愛知発地域ドラマ～』の関連企画として，ドラマのイメージイラストの塗り絵を募集して紹介するキャンペーン「カラー・ザ・スーパーカー」を11月から３月まで展開した。

静岡局では,「『おんな城主　直虎』特別展　戦国！井伊直虎から直政へ」の開催に併せ，VRを活用した「戦国ゼミナール～武士の日常生活、徹底リサーチ！～」（8.19，静岡市）や,「大河ドラマ『おんな城主　直虎』トークセッション～制作現場の裏側～」（9.24，静岡市）を実施した。

富山局では，富山県美術館の「デザインあ展in TOYAMA」の開催に併せ,「あ」をモチーフにした富山県のイメージイラストを募集して紹介するキャンペーン「わくわく！ドキドキ！とやまのあ」を12月から18年４月にわたって開催した。

岐阜局では，歌謡イベント「あなたのまちで岐阜オンステージ」（5.25, 川辺町／1.17, 郡上市）を開発展開し，学生落語の全国大会「全日本学生落語選手権　策伝大賞」（2.17～18，岐阜市）なども実施した。また『連続テレビ小説』「半分、青い。」の舞台となった多治見市で，若手作家の作品を展示する「やきものの現在（いま）　青き精神（ココロ）のカタチ」（3.23～5.27）を展開した。

## ３．営　業

17年度は，15～17年度NHK経営計画の最終年度として，営業部門では，５つの重点項目の一つに「受信料の公平負担の徹底に向け，最大限努力」を掲げ，営業改革を一層推進し，過去最高の支払率80％と衛星契約割合50％を目指した。中部ブロックにおいても，訪問による契約収納業務の営業業績を安定的に確保するため，外部法人委託による訪問要員体制を構築する目的で，広範な地